

(仮称) 大手前まちづくり交流館

(仮称) 大手前広場

管理運営基本計画



平成 28 年 12 月

佐 伯 市

目 次

| | |
|--------------------------|----|
| I. 基本理念 | |
| 1. 大手前地区の上位計画での位置づけ | 1 |
| 2. まちのにぎわい創出の中心 | 1 |
| II. 施設の概要 | |
| 1. 大手前開発基本計画の目標と施設整備 | 2 |
| 2. 設計概要 | 3 |
| 3. 複合施設を構成する施設と主な機能 | 3 |
| 4. 開発計画の方向性等と管理運営計画の基本骨子 | 4 |
| III. 管理運営計画の基本方針 | |
| 1. 基本的な考え方 | 5 |
| 2. 市民・行政・専門家の役割 | 5 |
| 3. 各施設の運営方針 | 6 |
| IV. 事業計画 | |
| 1. 基本的な考え方 | 8 |
| 2. 自主事業の基本方針 | 9 |
| 3. 貸館事業の基本方針 | 11 |
| V. 組織計画 | |
| 1. 基本的な考え方 | 12 |
| 2. 運営主体の検討 | 12 |
| 3. 市民参画・協働の検討 | 15 |
| 4. 組織体制の検討 | 17 |
| VI. 施設運営計画 | |
| 1. 基本的な考え方 | 18 |
| 2. 利用規則の検討 | 18 |
| 3. 施設利用料金の検討 | 21 |

| | |
|----------------|----|
| VII. 施設維持管理計画 | |
| 1. 基本的な考え方 | 22 |
| 2. 維持管理費の積算 | 22 |
| 3. 中長期修繕計画 | 22 |
| VIII. 収支計画 | |
| 1. 基本的な考え方 | 23 |
| 2. 収支項目 | 24 |
| 3. 収支のイメージ | 25 |
| IX. 広報宣伝計画 | |
| 1. 基本的な考え方 | 26 |
| 2. 広報宣伝計画の検討 | 27 |
| 3. 愛称募集等の検討 | 27 |
| X. 今後の流れ | |
| 1. 管理運営実施計画の策定 | 28 |
| 2. スケジュール | 28 |

資料編

I. 基本理念

1. 大手前地区の上位計画での位置づけ

『歴史・文化・人が出会う 佐伯市の交流拠点』

大手前地区は、上位計画において「まちの顔」、「佐伯の玄関」、「にぎわいや交流、憩いの場」として位置づけられています。また、佐伯藩時代から続く長い歴史があり、佐伯市の歴史・文化を担う中心的な場所です。したがって、大手前地区は、まちの中心として様々な人々が交流し、にぎわいを生み出す拠点としての役割と、文化・芸術の拠点として佐伯市が持つ様々な魅力や情報を発信する役割を担っています。

大手前地区の開発を推進することで、少子高齢化に対応したまちづくりや、自然災害のリスクへの対応など、誰もが安心できるまちづくりを目指します。

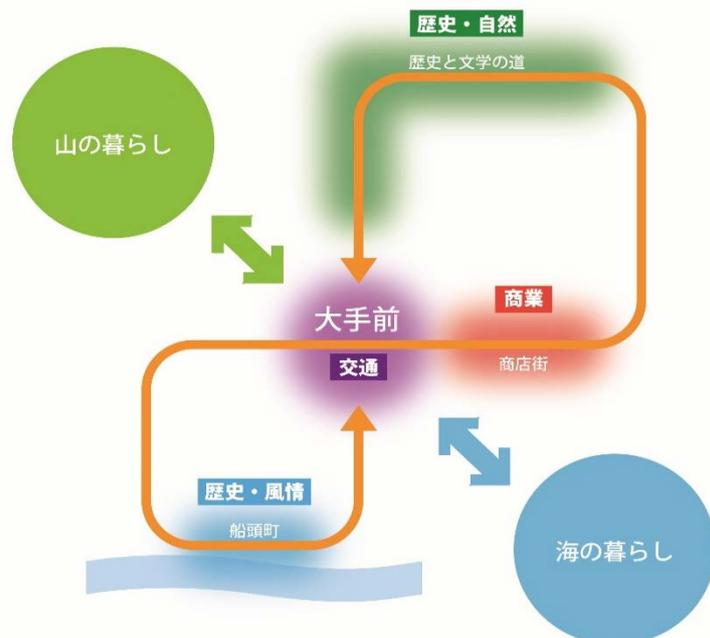
—佐伯市総合計画、佐伯市都市計画マスタープランより

2. まちのにぎわい創出の中心

『8の字回遊動線を介した豊かさの環流』

「歴史・自然」が豊かな城山・歴史と文学の道、「商業」として既存の商店街、「歴史・風情」を感じる事ができる船頭町、これらを8の字につなぐ回遊動線として位置づけます。

8の字回遊動線を介して、周辺の中心市街地に豊かさを環流し「山の暮らし」「海の暮らし」と連携して市全体で豊かさを享受し、大手前地区が中心となつてにぎわいを創出していくため、(仮称)大手前まちづくり交流館と(仮称)大手前広場を整備します。



Ⅱ. 施設の概要

1. 大手前開発基本計画の目標と施設整備

計画目標 『にぎわいの創出と市民活動の活性化』

市民活動の活性化によるにぎわいの創出を目指して、市民活動の拠点となるホールを核とした複合施設や広場の整備とともに、バス路線・タクシープールといった交通結線点としての基盤整備を行います。

また、大手前開発基本計画の目標達成に向けて、以下の2つの施設の設置目的を設定します。

○（仮称）大手前まちづくり交流館

『人々の活動を、支え・高め・広げる 複合施設』

中心市街地におけるにぎわいの創出を図るため、市民の交流の促進及び情報発信並びに市民活動の拠点となる機能を有する複合施設として、（仮称）大手前まちづくり交流館を設置します。

○（仮称）大手前広場

『ハレ（非日常）とケ（日常）で親しみがわく広場』

（仮称）大手前まちづくり交流館と一体的に活用できる（仮称）大手前広場は、様々な活動やイベントに対応できる「にぎやかな広場」や休憩や飲食のできる「落ちつける広場」とし、様々な活動をとおしてにぎわいや憩いを創出する施設として設置します。

2. 設計概要

(1) (仮称) 大手前まちづくり交流館 (複合施設)

| | |
|---------------|----------------------|
| 延床面積 | 6,329 m ² |
| 建築面積 | 3,629 m ² |
| 建物高さ | 27.00m |
| 階数 | 地上3階、地下1階 |
| 多目的ホール (大) 客席 | 806席 (最大988席) |

(2) (仮称) 大手前広場

| | |
|------|----------------------|
| 敷地面積 | 1,499 m ² |
|------|----------------------|

3. 複合施設を構成する施設と主な機能

多目的ホール (大ホール・小ホール)

- ・文化芸術振興、鑑賞・発表・創作活動
- ・各種展示会、パーティー、イベント等の開催

食育活動室 (まちなかキッチンスタジオ)

- ・まちなかキッチンスタジオ (料理教室・食育セミナー)
- ・地場産品の開発・研究

市民協働センター

- ・地域の課題解決や活性化に取り組む市民団体等の活動拠点
- ・ミーティング、資料作成、活動相談、団体同士の情報交換

子育て支援室

- ・子ども広場、子育て相談、一時預かり
- ・子ども自身の「子育て」と、パパやママの「子育て」をサポート

市民交流室 (スタジオ・会議室)

- ・音楽、ダンス、美術・書道等多様な文化芸術活動
- ・会議、講習会等の開催

図書・情報

- ・様々な活動につながる図書、食育・子育て情報誌の設置
- ・観光・イベント案内、文化芸術、市民活動の情報発信

4. 開発計画の方向性等と管理運営計画の基本骨子

基本計画の4つ(①～④)の方向性と基本設計で提案された具体的な12(A～L)の方策との整合性を持った管理運営計画の基本方針を整理します。

① 様々な人々が交流する拠点

～いつでも、だれでも気楽に集まれる憩いの場～

- A 内部を公園のようにつくる
- B 共用部に居場所を多くつくる
- C 市民参画の愛される施設づくり

市民に愛されるまちづくりの拠点

② 文化・芸術・情報発信の拠点

～演劇・音楽・美術展等の多様な活動の場、佐伯の魅力を発信する拠点～

- D あらゆる活動に対応する多機能なホール
- E 活動が見えるつくりと機能配置
- F 発表の場となる共用部広場

芸術文化創造・市民活動の拠点

③ 歴史とにぎわいのあるまち

～城山や船頭町、既存商店などを活かした、にぎわいのまち～

- G 既存ストックを活用する動線計画
- H 歴世景観・環境との調和
- I まち全体を巻き込んだイベント展開

佐伯市全域を対象とした事業展開と中心市街地の活性化

④ 誰もが安全で安心できるまち

～自然災害のリスクの高まり、少子高齢化を踏まえた安全・安心なまち～

- J インフラ途絶時も機能する
- K 子育て世代に配慮した設備の充実
- L わかりやすく使いやすいユニバーサルデザイン

誰にでもやさしい施設運営

Ⅲ. 管理運営計画の基本方針

1. 基本的な考え方

市民に愛されるまちづくりの拠点

- ・施設運営における市民ボランティア（サポーター）、事業の検討や運営を行う運営委員会の設置など、様々な形態での市民参画の機会を創出し、開かれた施設運営を行うことで、人が人を呼ぶ「まちづくり」の拠点施設を目指します。

芸術文化創造・市民活動の拠点

- ・演劇、音楽、美術等の文化芸術活動のほか、食育、子育て、まちづくり等、様々な市民活動の拠点としての施設運営を行います。

佐伯市全域を対象とした事業展開と中心市街地の活性化

- ・九州一広い面積を持つ本市のみなさんが、居住地に関わらず本施設の事業等が楽しめるよう、各地域へ出向いた事業を展開します。また、市民の「ハレの場」となる事業（発表の機会等）を集積することで、にぎわいの創出を図ります。

誰にでもやさしい施設運営

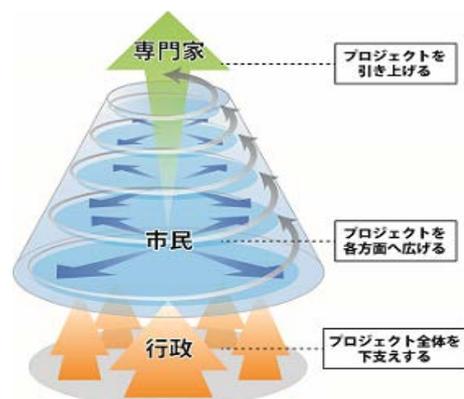
- ・施設整備のバリアフリー化だけでなく、施設管理や事業運営においてもわかりやすく親しみやすい運用を行うことで、誰もが利用しやすい集まりやすい施設運営を行います。

2. 市民・行政・専門家の役割

市民から愛される施設、市民の意欲を実現できる施設を目指し、事業計画・実施、まちづくり等、様々な面で市民参画・協働を目指します。

市民活動の活性化を図るためには、行政が市民活動を下支えすることで活動のすそ野を拡げ、専門家がそれを段階的に高めるための仕組みづくり、組織づくりが必要です。

管理運営実施計画においても引き続き、市民参画の仕組み等を検討します。



3. 各施設の運営方針

(1) 多目的ホール（大ホール・小ホール）

- プロの演奏家、劇団による公演や美術展の開催など、優れた芸術作品の鑑賞の機会を提供します。
- 市民が主体的に取り組む多彩な創作活動を支援するとともに、子どもが芸術活動に身近に触れ、体験できる機会を提供することで、文化芸術活動のすそ野を広げます。
- 多目的に利用できるホールの特性を生かし、各種発表、展示、ダンスイベントや幼児運動会など幅広い事業を展開します。

(2) 食育活動室（まちなかキッチンスタジオ）

- 「食べることは、生きること」を合い言葉に、大人から子どもまで「食」を知り、学び、使う楽しみを体感できるほか、佐伯市の山海の幸を広く発信します。
- 市民団体にとどまらず、営利を目的とした各種料理教室や、イベントのバックヤード的な役割なども含め、幅広く誰もが気軽に使える施設として提供します。
- 地場産品を活用した料理や特産品の開発を行います。

(3) 市民協働センター

- 市民協働団体の活動拠点として、市民やボランティアなどの活動をしたい人をつなぐ交流の場を創出することで、地域づくりに向けた市民の活動の活性化を図ります。
- 活動団体、事務所、行政等、関係団体のネットワークの構築を図ります。
- 各種講座の開催や相互間に学び合う機会を提供することで、市民協働団体の育成・活動促進を図ります。

(4) 子育て支援室

- 「いつも子どもが まんなか」にいるという考えを基本に地域子育て支援の充実を図るため、親子や子育て世代の交流の場づくりを推進し、子育てを楽しむための運営を行います。
- 親の就労やリフレッシュ、施設で行われるイベントへの参加等を理由に一時的に子どもを預かるサービスを提供します。
- 子どもが遊びながら感性を育み元気に育つような広場を提供します。

(5) 市民交流室（スタジオ・会議室）

- 音楽・演劇・ダンス・美術などの文化活動を容易に行える環境を整えます。
- 現在三余館で行っているような各種教室を充実させることで、気軽に文化活動に取り組める環境を目指します。

(6) 図書・情報

- 気軽に集まりやすい環境の一助となる図書を用意するとともに、交流館で行われる多種多様な活動の入口となる図書やまちづくり活動を高める図書を配置します。
- 観光や地域イベント、市民活動等の情報を集積するとともに市内外へ向けて発信します。
- 市民団体や地域活動との協働・連携、地域資源の活用を通して、歴史・文化・まちの魅力を発信します。

(7) (仮称) 大手前広場

- (仮称) 大手前まちづくり交流館と連携し、市民活動の発表機会を創出するとともに、誰もが気楽に参加できるイベント等を開催します。
- 市民が安心して憩え、自由に余暇を過ごすことができる環境を整えます。

IV. 事業計画

1. 基本的な考え方

世代を超えた交流機会の創出

- ・市民参加によるフェスティバルなど、市民がだれでも気軽に参加できる事業や施設内のフリースペースに人が集まる仕掛けを行うことで、世代を超えた交流機会を創出します。

地域の文化的資源を活用した事業展開

- ・吹奏楽や合唱、舞踊、ミュージカルなど市民による文化活動と連携を図りながら、ワークショップや鑑賞事業など様々な事業を展開することで、人々の興味「やってみたい」を促進し、活動のすそ野を広げます。
- ・次世代を担う子ども達に佐伯市の文化や活動を引き継ぎ、本施設を拠点に継続的な活動が行える環境を整備します。

施設から市全域に広がる事業展開

- ・日常的に来館することが難しい方々のために、各地域の施設、学校等への出前事業を行うことで、施設の設置目的や活動に対する興味、関心を深めます。

複合施設の特性を活かした事業展開

- ・本施設で行うあらゆる事業において、施設、機能の連携を考えた多角的な展開を行います。
- ・貸館事業においても、複数の施設を活用した展開を助言するなど、利用者に本施設の有効な使い方を提案します。

2. 自主事業の基本方針

(仮称) 大手前まちづくり交流館及び(仮称) 大手前広場において実施する自主事業の考え方について、開館前から行う「プレイベント」、施設のオープン時に行う「開館記念事業」、開館後に通常事業として行われる「通年事業」について、事業方針を設定します。

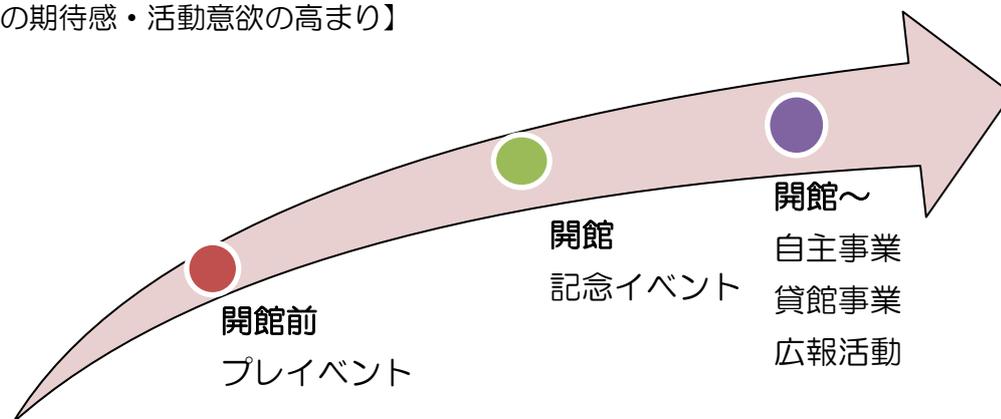
(1) プレイベント

- 施設完成前から、施設に対する関心や愛着を醸成します。
- 施設を活用するだけでなく施設運営を支える市民の発掘・育成を図ります。
- 施設運営や事業の企画・実施、広報における課題を事前に把握し、解決します。
- 市民参画・協働で行う事業や既存施設を活用した鑑賞事業やワークショップの開催等により、開館後の利用者の発掘・育成に重点を置いた事業を実施します。
- 建設予定地やその周辺地域を活用した事業を実施し、開館への期待を高めるとともに、実施後に評価を行い、改善を重ねながら開館記念事業へとつなげていくことも視野にいれて計画します。

(2) 開館記念事業

- 本施設の開館を市内外に広く発信するため、式典やオープニングイベントを実施します。
- 記念公演のほか、プレイベントからのつながりや関係性を考慮した企画を市民とともに創っていきます。
- 施設の機能・役割について認知度を高め、市民活動の活性化を促します。

【市民の期待感・活動意欲の高まり】



(3) 通年事業

通年事業は、各施設・機能が以下のような区分の事業を偏りなく提供します。事業の実施にあたっては、個別の施設・機能だけでなく、複合施設の特性を生かして連携した事業を行うことで施設全体への広がりを目指します。

【自主事業区分と内容】

| 区 分 | 内 容 |
|----------|--|
| 鑑賞事業 | 優れた芸術作品や各種公演の鑑賞機会を提供する事業 |
| 普及・育成事業 | 多種多様なワークショップに併せて、アウトリーチ活動を行うことで、各種活動の普及と次世代を担う人材及びそれらを支える人材を育成する事業 |
| 参加・交流事業 | 市民参加によるフェスティバルや国際交流イベントの開催といった参加・交流事業 |
| 地域・発信事業 | 地域に根差した伝統芸能を活用するなど、地域の魅力を発信する事業 |
| にぎわい創出事業 | 周辺商業施設等と連携したイベント等、まちづくりの拠点としての役割を担い中心市街地をはじめとするまちのにぎわいにつなげる事業 |
| 市民自主事業 | 市民が自ら企画立案し実施まで行う事業 |
| 市民提案事業 | 市民からの提案要望に基づき実施する事業 |

【連携事業】

○各施設内での活動を連携させた事業例



○施設同士を一体的に利用する事業例



○市民団体等と協働連携する事業例



3. 貸館事業の基本方針

貸館事業については、施設利用の活性化がにぎわいの創出につながるものと捉え、一つの事業と位置づけて積極的に行います。

- 地域交流を目的とする多様な事業を誘致することで、稼働率の向上を図ります。
- 利用者が利用しやすい環境整備を行うことで、リピーター増加を目指します。
- 専門スタッフの配置等による活動支援を行い、市民活動のレベルアップに寄与します。

V. 組織計画

1. 基本的な考え方

市民参画と協働による運営

- ・施設の運営や事業の企画運営に市民が主体的に関わる仕組みをつくるなど、積極的な市民参画による運営を行います。
- ・市民の意見や要望を反映させ、その成果を次年度の事業実施に生かす仕組みづくりなど施設運営の透明性を確保します。

専門性を持った人材の起用・育成

- ・多様で魅力ある自主事業を積極的に展開するための専門性とネットワークを有する人材を配置します。
- ・文化活動をはじめとした、様々な活動を行う市民や利用者に対して支援等ができる人材を育成します。

まち全体と連携した運営

- ・既存商店街やまちづくり団体等と連携して、まち全体を巻き込んだイベント等が行いやすい体制を整えます。

施設の一体的な管理運営

- ・施設が有する機能や市が行う施策も含めて、複合施設全体を一体的に管理します。
- ・複合施設の貸館窓口だけでなく、広場の利用についても窓口を一本化を図ります。

2. 運営主体の検討

(1) 組織の考え方

公の施設の管理運営の方法は、市が管理運営する「直営」か、特定の事業者を指定管理者として指定して管理運営業務を包括的に代行させる「指定管理」のいずれかから選択することとなります。

直営・指定管理者それぞれの主な特徴をまとめると、次のようになります。

【直営・指定管理者の主な特徴】

| 項目 | | 直営 | 指定管理者 |
|-----------|-----------|--|---|
| ネットワーク | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 自治体組織内での連携（教育、福祉、まちづくり等）ができる 住民、教育機関、企業メセナ等との協業が図りやすい | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の所管課が積極的にサポートしないと他分野との連携は図りにくい |
| | 芸術 | <ul style="list-style-type: none"> 地域内各種団体との協業が図りやすい | <ul style="list-style-type: none"> 芸術監督、プロデューサー等の芸術専門家ポストを設置することで、招聘、出演交渉に必要な人脈等を確保しやすい |
| 政策との連携・特徴 | | <ul style="list-style-type: none"> 中長期的な文化芸術振興計画に沿った施策をダイレクトに反映することができる | <ul style="list-style-type: none"> 貸館事業や鑑賞事業など、多くの住民の来場を促すための事業展開は優れる ソフト事業運営に特化した組織体であり、専門的かつ柔軟な対応が期待できる |
| 自主事業 | 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 見識の浅い職員が行う場合、内容の充実は難しい 専門の職員を雇用できる場合は、内容の充実、事業の継続性が確保できる 事業構築等では、外部専門家の力によるところが大きい | <ul style="list-style-type: none"> 非採算事業（育成創造支援、アウトリーチ、住民参画、ボランティア等）が積極的に行われない可能性がある 中長期的な文化事業の計画実施が難しい 指定管理者が変わっても事業の継続性を確保するには、所管の自治体職員のリードが必要 |
| | アウトリーチの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 自身で庁内調整できるため実施可能性は高い 効果的に実施できる体制づくりが必要 | <ul style="list-style-type: none"> 所管が関係各所に調整をとらないと、実施しにくい |
| 住民参加 | | <ul style="list-style-type: none"> 住民参画、連携、ボランティアの育成等が進めやすい | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の収支リスクへの影響や、運営主体が変わる可能性を勘案すると、参加を受け入れにくい 住民参画やボランティア育成など、住民が関わる事業の場合は、自治体の支援が必要 |

本施設においては、”基本的な考え方”を満たすため、また、本施設が大手前開発基本計画によるところの「文化芸術の拠点」、「人々の交流の拠点」としての役割を果たすために、市自らが牽引役となり事業を推進することが重要と捉えています。

①開館事業を通して市民と協働する体制を構築する必要性

「開館事業は市の重要施策」であることから、全ての開館事業は企画から実施まで一貫して市が担うべきと考えています。事業の企画・実施・終了後の評価までの一連の業務を、専門家のコーディネートのもと、市民及び市民団体と共に行うことで、市民協働の体制づくりが円滑に実現できることが見込まれます。

②市民参加組織のスキルアップ期間を設ける必要性

開館直後は専門家のもとで公立文化施設の運営や事業について学び、経験を積むためのスキルアップ期間を設けて、その後、指定管理者へ移行することが、施設にとっても、将来の運営者にとっても望ましいと考えられます。

③一定期間運営し、業務仕様や指定管理料設定の精度を高める必要性

1年以上は直営で運営することで、ランニングコストの実数値を把握して指定管理料を適切に設定し、詳細な業務仕様書を作成してから移行するほうが、市・指定管理者双方にとって低リスクで、円滑な移行が実現できます。

以上を踏まえ、開館後から当面の間は市の直営による管理運営を基本としながらも、サービスの向上、専門人材の確保育成、市民の活躍と雇用の場の創出の観点から、指定管理者制度の導入のほか、自主事業の運営に市民や市民公益活動団体（NPO等）に任せるといった市民協働による運営も含めて検討し、「管理運営実施計画」に反映していくこととします。

3. 市民参画・協働の検討

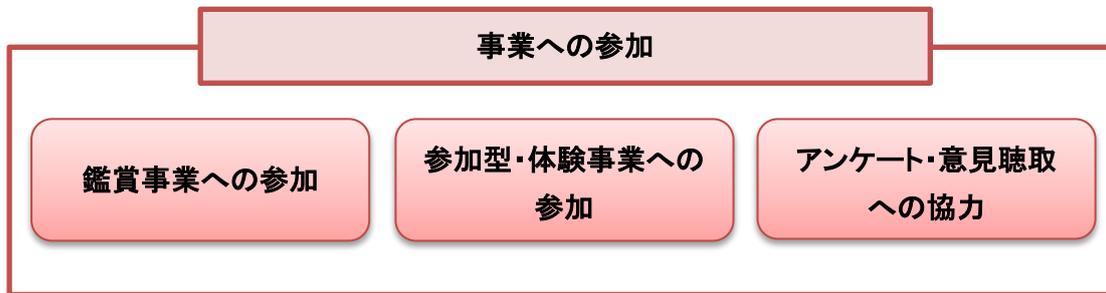
(1) 市民参画組織の検討

本施設に係る様々な市民参加や市民活動が活発化するよう、市民参画・協働による施設運営を検討します。

【市民参画・協働のイメージ図】

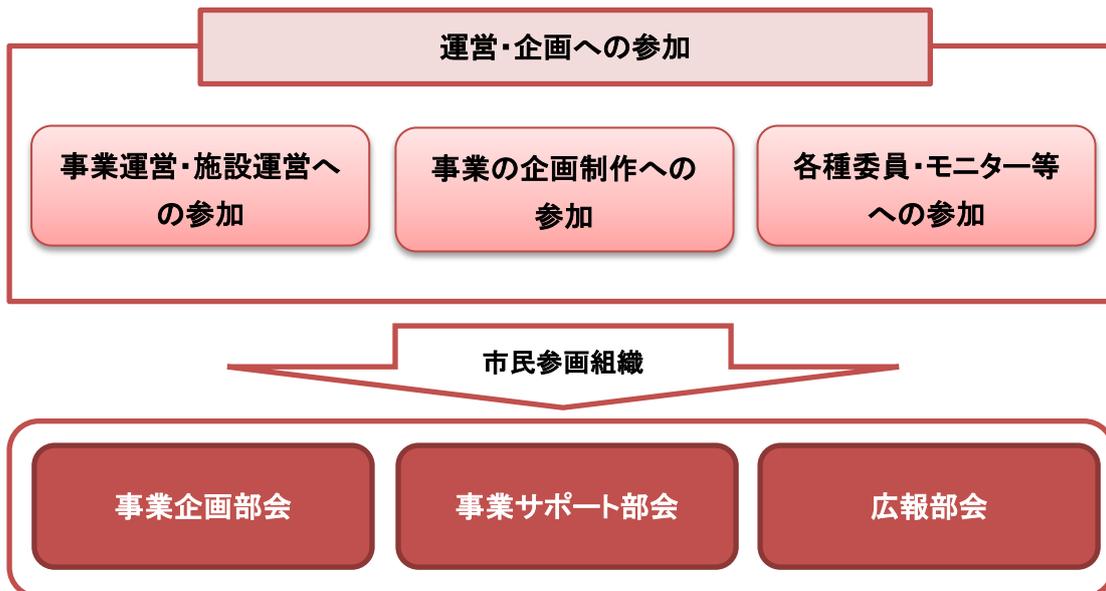
◇STEP 1

市民が事業に参加して、施設の設置目的や活動に対する興味・関心を醸成することで、「やってみたい」という気持ちを促進し、活動のすそ野を広げます。

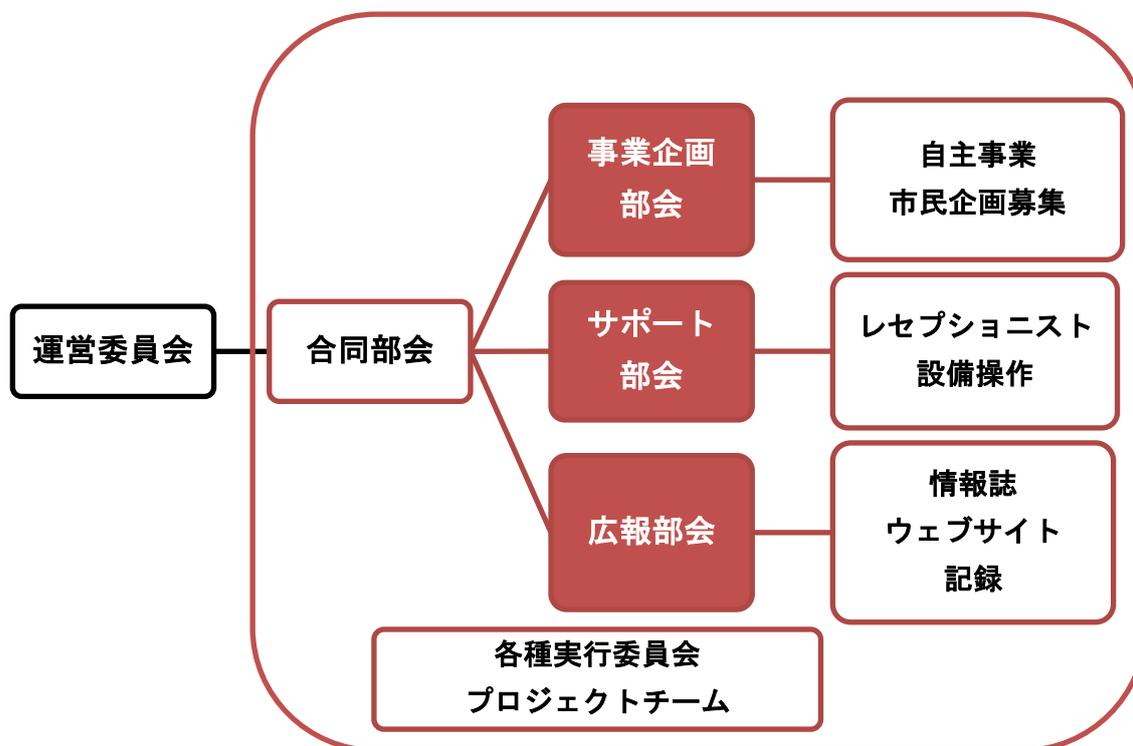


◇STEP 2

施設の活動に共感した市民が市民参画組織に加入することで、施設運営や事業企画運営に主体的に関わり、にぎわいの創出に寄与します。



【市民参画組織のイメージ図】



- 運営委員会の委員は各部会代表者、市が選定した委員等で構成し、事業や運営方針について検討します。
- 事業企画部会・サポート部会・広報部会の各部会は高校生以上の市民で構成します。
- 部会の構成等の詳細は引き続き検討します。
- 部会間の情報共有・調整・協議・合意形成は合同部会にて実施します。
- 別途、事業や各種調査を実際に行う実行委員会を市民サポーターで組織することで、より強力な市民参画・協働による施設運営を目指します。

(2) 市民参加の促進制度

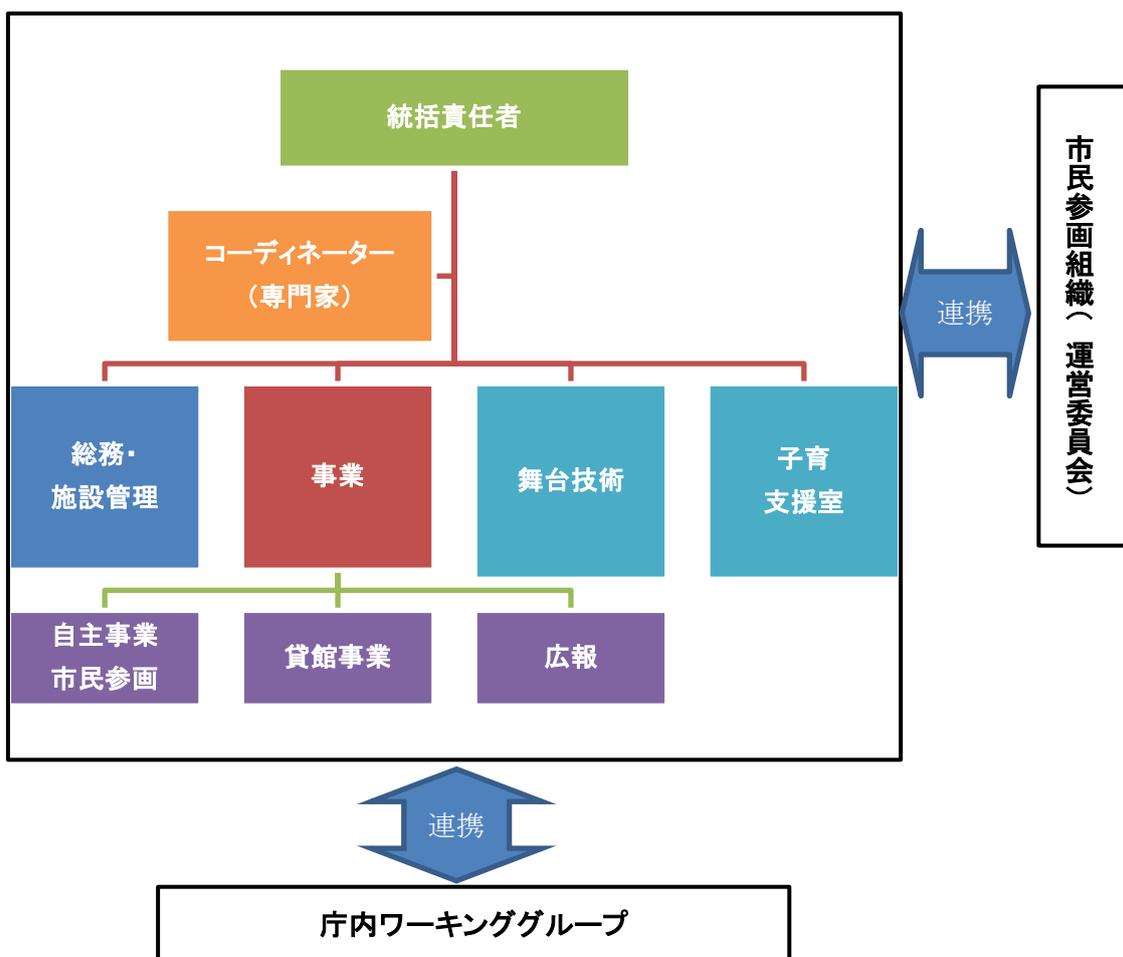
ボランティアの活動報酬として会員通貨を発行して施設の使用料やチケット料金として使える制度を構築する等、市民参画を促進する仕組み作りを検討します。

4. 組織体制の検討

組織体制の想定は以下のとおりとし、職員数等の詳細については、事業の詳細計画・開館日数・利用時間・稼働率等を今後詳細に整理していく中で具体的に検討し、管理運営実施計画に反映します。

- 自主事業を企画運営するため、ノウハウと他ホールとのネットワークを有するコーディネーター（専門家）を配置します。
- 舞台設備のオペレーターや子育て支援室の運営体制（職員配置等）については、外部委託も含めて検討します。
- 市各課の施策が実現・反映できるよう、庁内ワーキンググループを組織して連携体制を整えます。

【組織体制イメージ図】



VI. 施設運営計画

1. 基本的な考え方

利用者の利便性を優先した運営

- ・利用者の利便性を優先し、「利用しやすい」運営を目指します。
- ・施設予約システムの導入等による予約手続きの簡素化、利用規則や利用料金の明確化など、利用者が使いやすく、わかりやすい仕組みをつくりまします。
- ・多様で活発な市民活動を促進するため、施設の複合的な利用や柔軟な時間利用への対応に配慮しながら利用促進を図ります。

市民に開かれた運営

- ・事業内容や施設運営などに市民の意見や要望を反映させ、その成果を次年度に生かす仕組みをつくり、運営の透明性を確保します。
- ・事業運営への市民参画を促進するなど市民に開かれた運営を行います。

2. 利用規則の検討

本施設は多くの市民や来訪者が利用する日常的な活動・交流の場であるため、各施設機能を十分に発揮するとともに、複合施設であることのメリットを最大限に生かし、効率的かつ効果的なサービス提供ができるような施設の管理を目指します。

市民から愛される施設、利用される施設として、利用形態、活動内容等を調査・検討することで、利用規則をより具現化して設置条例等にて規定します。

(1) 開館日

バス乗降場が隣接していることに伴ってバス待合所としても利用されることや、地域の安心・安全の場、交流の場であることを考慮し、施設ごとに休館日を設定することとし、全館休館日は最小限とする方針で検討します。

(2) 開館時間

既存周辺施設の開館時間が 9:00 から 22:00 であることも踏まえ、同じ開館時間とする方針で検討します。ただし、公演に伴う準備（搬入、仕込みなど）、撤去（ばらし、搬出、清掃など）のための時間外利用については、施設の秩序が保たれ、近隣住民への迷惑が及ばない場合は、柔軟に対応する方針とします。

(3) 利用時間区分・連続利用日数

本施設では多くの市民が効率的に利用できるよう、以下の利用区分とする方針で検討します。

①多目的ホール（大・小）

一区分を3～4時間とし、各区分の間はメンテナンスのために1時間空けます。ただし区分を連続して利用する際は、メンテナンス時間も利用者が施設を利用できることとします。

午前 9時～12時

午後 13時～17時

夜間 18時～22時

使用料金設定としては、午前、午後、夜間、午前＋午後、午後＋夜間、全日の6パターンとします。

②多目的ホール以外の施設

一時間単位の時間貸しとします。

③多目的ホールの連続利用可能日数

既存周辺施設にならい原則5日とします。上限を超える利用については、運営上の支障がないよう他の利用者に配慮しながら運営主体の裁量で調整を行います。

(4) 利用申請・予約受付

利用申し込みは、利用しようとする日の属する月の1年前の月の初日から受け付けを行う方針で検討します。

市民活動団体アンケートにおいて、本施設に望むこととして最も多く多く寄せられた意見が、「施設の予約手続きが簡便であること」という手続き容易性を求めるものでした。そのため、申請方法については、施設予約システムの導入等による予約手続きの簡素化なども含めて、利用しやすい施設となるために望ましい申請方法を今後、調査・検討します。

(5) 館内ルール

公序良俗に反する行為の禁止等を規定するほか、以下の行為の制限を行うことを検討します。

① 飲食

施設内は基本的に飲食可能としますが、市民の意見や施設の特性等を考慮して、アルコール可否も含めてルール・マナーづくりを行います。

② 喫煙

館内指定喫煙所以外は全館禁煙とします。また、屋外にあっても、構内全域を禁煙とし、所定の喫煙エリアを設置します。楽屋エリアの喫煙については、別途検討を行います。

(6) 市民活動の情報発信・情報入手

市民活動団体アンケートにおいて、本施設に望むこととして「公演や展示活動、募集情報などを発信できる場があること」及び「公演や活動に関連した情報が入手しやすいこと」といった情報発信・情報入手の容易性を求める意見が多く寄せられました。

図書・情報施設や市民協働センター、共用部の活用方法を中心に、市民活動に寄与する情報の提供の仕方、共有の仕方として望ましいあり方を今後検討します。

(7) (仮称) 大手前広場

イベントで利用されていないときは一般に開放します。にぎわいや憩いの場となるよう配慮するため、公序良俗に反する行為の禁止等を規定するほか、他の利用者の迷惑となるような行為を規制するルール作りを今後検討します。

(8) 駐車場

敷地内駐車場の整備台数よりも多くの駐車場需要が見込まれるため、敷地内駐車場については、優先利用者のルール作りを検討します。

一般利用者については、周辺施設である三余館・保健福祉総合センター和楽・市役所・大分銀行佐伯支店・佐伯市立佐伯小学校などに整備されている駐車場を利用するように促す方針とします。

3. 施設利用料金の検討

(1) 利用料金

受益者負担の考え方を基本としつつ、市民活動促進のため、市民が利用しやすい料金設定とします。

利用料金設定の考え方としては、以下の考え方を想定しますが、詳細は実施計画の中で検討を行います。

| 項目 | 考え方 |
|-------------------|--|
| 冷暖房利用料 | 貸館時期に偏りが生じ、利用料金が複雑になるため、冷暖房利用料は基本利用料金に含むこととして、年間一律の施設利用料金設定とします。 |
| 時間外延長 | 柔軟に対応し、延長料金を設定します。 |
| 平日利用と土日祝日利用 | 土日祝日の利用は割増しの利用料金とすることで、平日に利用しやすい料金体系とします。 |
| 営利目的の利用 | 営利の定義・判別が困難であることから、区別しません。 |
| 入場料を徴収する場合 | 割増しの利用料金とします。入場料の金額区分による割増率を設定するかについては今後検討します。 |
| 佐伯市民の利用と佐伯市民以外の利用 | 区別しません。 |
| 多目的ホールの仕込み・リハーサル | 通常料金より割引の料金を設定します。 |
| 多目的ホールの練習利用 | 通常料金より割引の料金を設定します。 |
| 設備・備品利用料 | 利用しやすい料金設定とし、貸出時間区分は今後検討します。 |
| 駐車場・駐輪場 | 無料も含め料金体系は今後検討します。 |

(2) 減免・優遇措置

受益者負担を考慮して、原則として減免・優遇処置は行わない方針としますが、実施計画を策定する中で詳細の検討を行っていくこととします。

Ⅶ. 施設維持管理計画

1. 基本的な考え方

「予防保全」による計画的な保守・修繕

- ・「利用者の安全」、「ランニングコスト縮減」、「設備・備品の長寿命化」の3つの視点から、事後保全、修繕が極力発生しないよう、予防保全による保守修繕計画を立案し、維持管理を行います。

2. 維持管理費の積算

| No. | 項目 | 詳細 |
|------|---------|---|
| 1 | 建築物保守管理 | |
| 2 | 設備法定点検費 | 取水槽、消防設備、電気設備、等 |
| 3 | 設備維持管理費 | 空調設備保守、給排水設備保守、エレベーター保守、備品保守、移動観覧席保守、舞台機構保守、舞台音響保守、舞台照明保守、その他設備保守、衛生管理費、等 |
| 4 | 警備費 | |
| 5 | 清掃費 | |
| 6 | 水光熱費 | 電気、水道、ガス |
| 7 | 事務費 | 通信費、印刷費、消耗品費、等 |
| 8 | 修繕費 | |
| 9 | 大手前広場 | 電気、水道、植栽管理、等 |
| 10 | 駐車場 | 電気、水道、等 |
| 合計概算 | | 78,000,000 円 |

3. 中長期修繕計画

施設の設備については、使用頻度にもよりますが、早いものでは5年から10年で更新が必要なものが発生します。空調設備、電気設備、舞台機構等施設の根幹を構成する設備は更新費用も相当な額にのびります。

安全対策の視点も含め、設備が常に良好な状況を保てるよう、日常の徹底した安全点検や計画に沿った小規模修繕など、施設や設備の長寿命化の方策を検討していきます。耐用年数、更新時期、更新費用等を調査・検討するなどして機器毎に改修・更新の考え方を示すとともに、中長期的な施設保全計画を立て、計画的な修繕を立案する想定とします。

VIII. 収支計画

1. 基本的な考え方

積極的な広報活動による収入の確保

- ・ 貸館収入を重要な財源の一つと捉え、地域の文化力の向上や市民活動の活発化により、施設稼働率を上げ収入を確保します。
- ・ 多様な事業展開と稼働率向上を目指し、積極的な広報活動により、収入の確保に努めます。

助成金等の外部資金の積極的な活用

- ・ 芸術文化活動等を通じて、市民の心の充足や交流を促し、にぎわいのあるまちづくりに寄与することが、本施設に求められているということを踏まえ、費用対効果の高い運営を目指して、外部資金についても自主事業財源として積極的に活用します。

市の負担が、投資と捉えられるような運営

- ・ 施設稼働率や自主事業収入によらず、施設運営を行う上で一定の支出は発生します。将来の佐伯に向けたまちづくり、文化づくり、人づくりに寄与する施設であると認められ、収支差が赤字ではなく投資として捉えられるよう、文化芸術、情報発信の拠点、人々の交流の拠点としての機能を適正に維持していくために必要な経費の確保に努め、より多くの市民に利用、参加していただくための取り組みを推進し、質の高い運営を行います。

2. 収支項目

公立文化施設では、施設運営・維持管理に多額の費用が掛かる一方で、市民の利用しやすい利用料金、入場料等に配慮する必要があることから、支出額と同等の収入を得ることが難しい収支構造となっています。必要な出費を判断し、効率的な運営を行うことで経費削減に努め、長期的な展望を持って施設運営を維持できる収支計画を検討します。

また、自主事業については、採算が合わなくても市民活動に寄与する事業に積極的に取り組むことが公立文化施設の役割でもあります。採算を求めると収益性の高い事業のみに偏るおそれもあるため、毎年行うべき事業に関する最低基準を設け、収益が期待できない非採算事業については市が費用負担を行っていくことを検討します。

また、市の費用負担のみに依存することなく、各種助成金や、民間企業等からの寄付金等を事業活動に充てられるよう、外部資金調達を積極的に行うことを検討します。

(1) 支出項目

| 項目 | 内容 |
|--------------|---|
| 人件費 | |
| 人件費 | 施設職員給与等 |
| 維持管理費 | |
| 管理費 | 設備点検、清掃、警備などを専門業者に依頼する費用 |
| 光熱水費 | 電気、水道、ガスなどの使用料 |
| 事務費 | 通信費、消耗品費、印刷費などの費用 |
| 修繕費 | 建築・設備・備品の破損や劣化を修理・更新する費用 |
| 事業費 | |
| 出演料・委託料等 | 「出演料・委託料」出演・講演する個人・団体等に支払う費用 「音楽費」作曲料、楽器・楽譜使用料などの費用 「文芸費」台本料、演出料、舞台監督料などの費用 「舞台費」大道具費、衣裳費、照明費などの費用 |
| 広告宣伝費 | 新聞・雑誌・テレビ等に広告を出すための費用 |
| 印刷費 | チケット、ポスター、チラシ、プログラム等を印刷する費用 |
| 販売手数料 | チケット販売を他に委託した場合に支払う手数料 |
| 旅費・運搬費 | 出演者等の交通費、宿泊費、機材等の運搬費 |
| その他事務費 | 写真・ビデオ等の撮影料、ピアノ調律費、食料費など |

(2) 収入項目

| 項目 | 内容 |
|---------------|---------------------------|
| 貸館収入 | |
| 施設使用料 | 施設の使用料収入 |
| 附属設備使用料 | 各施設の設備や備品の使用料収入 |
| 自主事業収入 | |
| 入場料 | 公演等のチケット代 |
| 参加料 | 講座・ワークショップ等の普及事業の参加費 |
| 助成金 | |
| 助成金 | 国や地方公共団体、他の財団等の団体による助成金 |
| 協賛金 | 事業を支援する企業や団体、個人からの協賛金・寄付金 |
| 市負担金 | |
| 市負担金 | 上記の収入合計から、下記の支出合計を差し引いた差額 |

3. 収支のイメージ

| | | | | | | | | |
|----|--|-----------------|----------------|------------|--------|------------|------------|------------------|
| 支出 | 人件費 | 維持管理費 | | | | 事業費 | | |
| | | 管理費 | 光熱水費 | 事務費 | 修繕費 | | | |
| 内訳 | 職員給与など | 設備点検、清掃、警備などの費用 | 電気、水道、ガスなどの使用料 | 通信費、消耗品費など | 小規模修繕費 | 事業経費 | | |
| | | | | | | | | |
| 収入 | 市負担金 | | | | | 貸館収入 | 自主事業収入 | 助成金 |
| 内訳 | 運営管理に係る総経費から施設貸館料金収入および自主事業入場料収入・助成金を差し引いた金額 | | | | | 施設・備品の貸出料金 | チケット代、参加料等 | 国、民間等からの補助金、助成金等 |

○維持管理費 : 7,800 万円

○事業費 : 3,000 万円 (同財政力規模・同人口規模市からみた目標値)

Ⅷ. 広報宣伝計画

1. 基本的な考え方

様々な媒体を活用したPR

- ・開館前から現場見学会やカウントダウンイベントなどのプレイベントを行うことで、新たな施設について多くの人々に知ってもらい、様々な事業への参加を促します。
- ・施設の存在と施設で行われる事業の内容を、ウェブサイト、SNS、メール配信サービスなどのWEB媒体、広報誌などの紙媒体といった様々な媒体を通して市内外問わずPRします。

複合施設への関心を高め、利用意欲を喚起

- ・施設で行われる事業や活動団体等の情報を定期的かつ継続的に発信することで、市民活動の意欲を高めるとともに、来館、利用意欲を高めま

市民参加による情報発信

- ・運営主体自らの情報発信のみならず、市民自らが広報媒体となって口コミやSNSなどによって施設で行われる事業や取組の情報を市内外へ発信することで、施設への関心を喚起します。

2. 広報宣伝計画の検討

(1) 広報媒体

情報誌・機関誌の発行やウェブサイトなどにより、施設の情報を広く発信することで、市内外の多くの人々に施設や事業について周知し、市民活動の意欲を高めるとともに、来館・利用意欲も高めていきます。その際、世代により情報収集の主な手段（WEB 媒体、紙媒体）の違いがあることを考慮し、多様な媒体による情報展開を行います。

具体的には、以下のような媒体を活用することで、効果的に情報展開することを検討します。

- ・情報誌、機関誌
- ・ウェブサイト（ホームページ）
- ・SNS
- ・メール配信サービス
- ・市報
- ・チラシ、ポスターの作成
- ・施設案内リーフレット、年間スケジュール等の印刷物
- ・報道機関、出版社等への働きかけ
- ・友の会等の会報の発行

(2) 広報方針

①市民による情報発信

市内に限らない広域的な来館を目指していきますが、まずは市民に施設を広く周知することから重点的に取り組みます。市民参画の特性を活かして、市民同士が知り合いや周辺地域の住民を誘い込むように口コミやSNSによる情報拡散を展開することで、認知度の向上を目指します。

②事業後の広報

事業における事前の広報だけでなく、事業開催後の報告記事を積極的に発信して「面白いことをやっている」ということが伝わり広まることで、その後の来館意欲を喚起することを目指します。

3. 愛称募集等の検討

施設に対して愛着・親近感を持ってもらうとともに、知名度向上を目指し、愛称を付与することを検討します。その際、複合施設名だけではなく、大ホール・小ホール・各施設についても愛称付与の対象とすることを検討します。

愛称については一般公募し、選定する方針で検討を行っていきます。

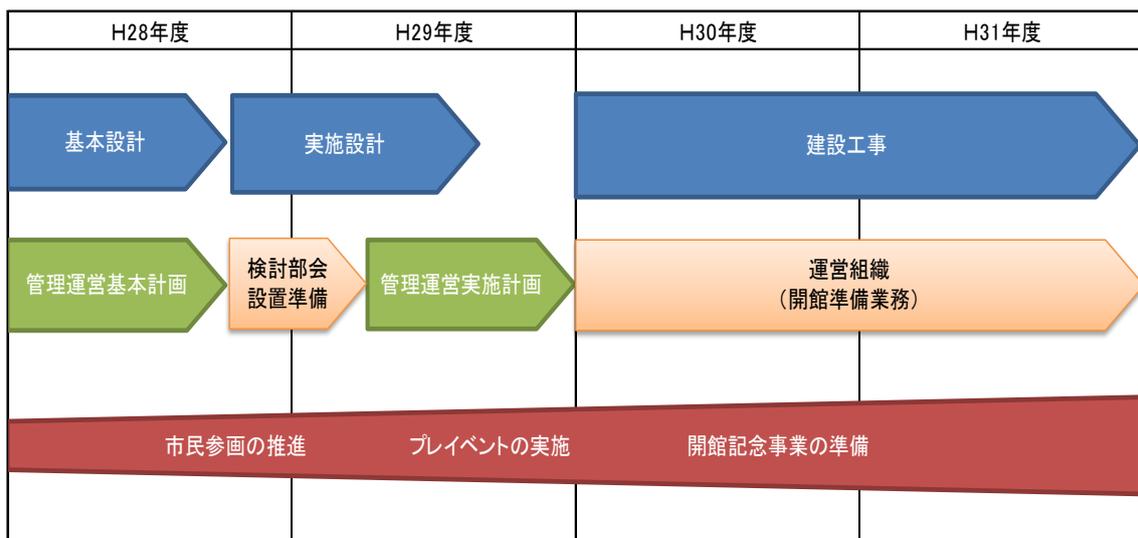
X. 今後の流れ

1. 管理運営実施計画の策定

この管理運営基本計画は、事業、運営、市民参加等について基本的な方針をまとめたものです。平成 29 年度には、管理運営基本計画を具体化した管理運営実施計画の策定を行います。

管理運営実施計画の策定にあたっては、既存施設を利用して活動している団体や高校生など市民参加を募った上で、（仮称）大手前まちづくり交流館及び（仮称）大手前広場が有する施設・機能に適した部会を設け、ワークショップ等により内容を検討します。

2. スケジュール



資料編

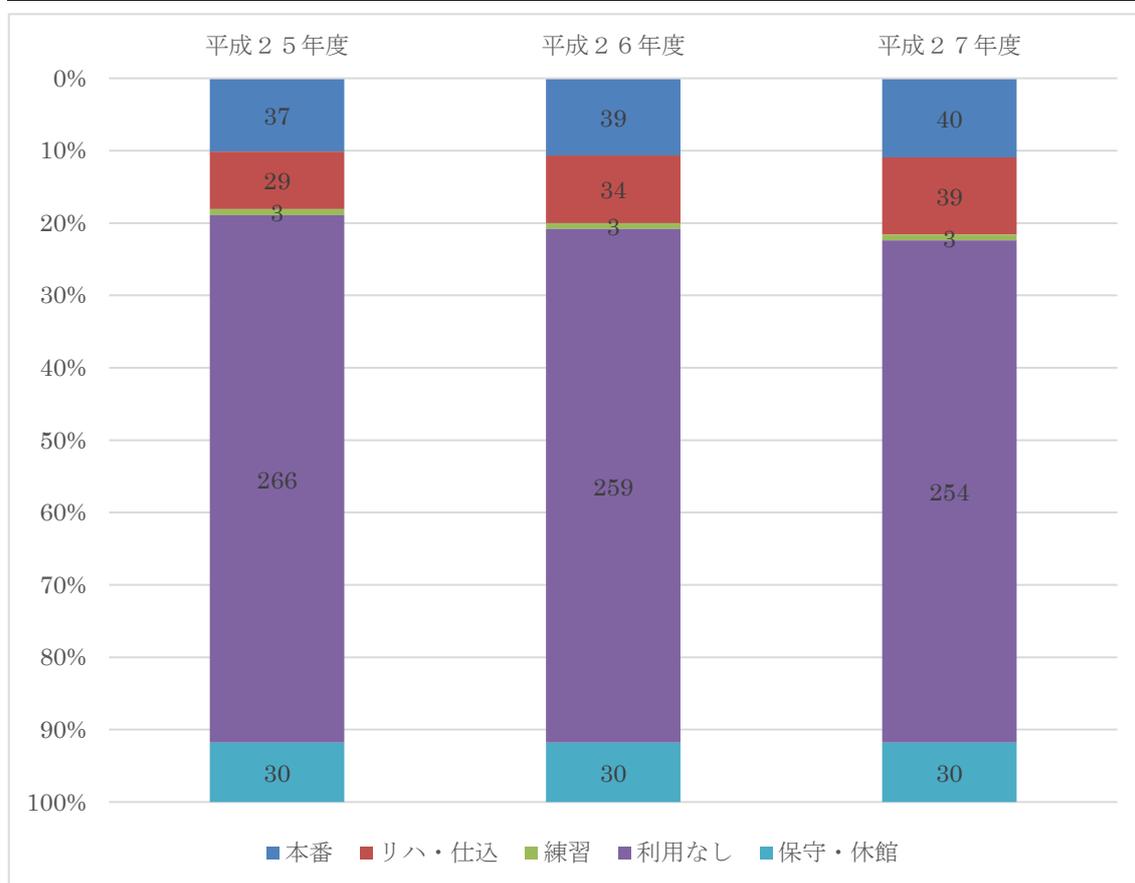
1. 既存施設運営状況調査

◇佐伯文化会館

・大ホール

【利用区分】

| 利用区分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 本番 | 37件 | 39件 | 40件 |
| リハ・仕込 | 29件 | 34件 | 39件 |
| 練習 | 3件 | 3件 | 3件 |
| 利用なし | 266件 | 259件 | 254件 |
| 保守・休館 | 30件 | 30件 | 30件 |
| 合計 | 365件 | 365件 | 366件 |



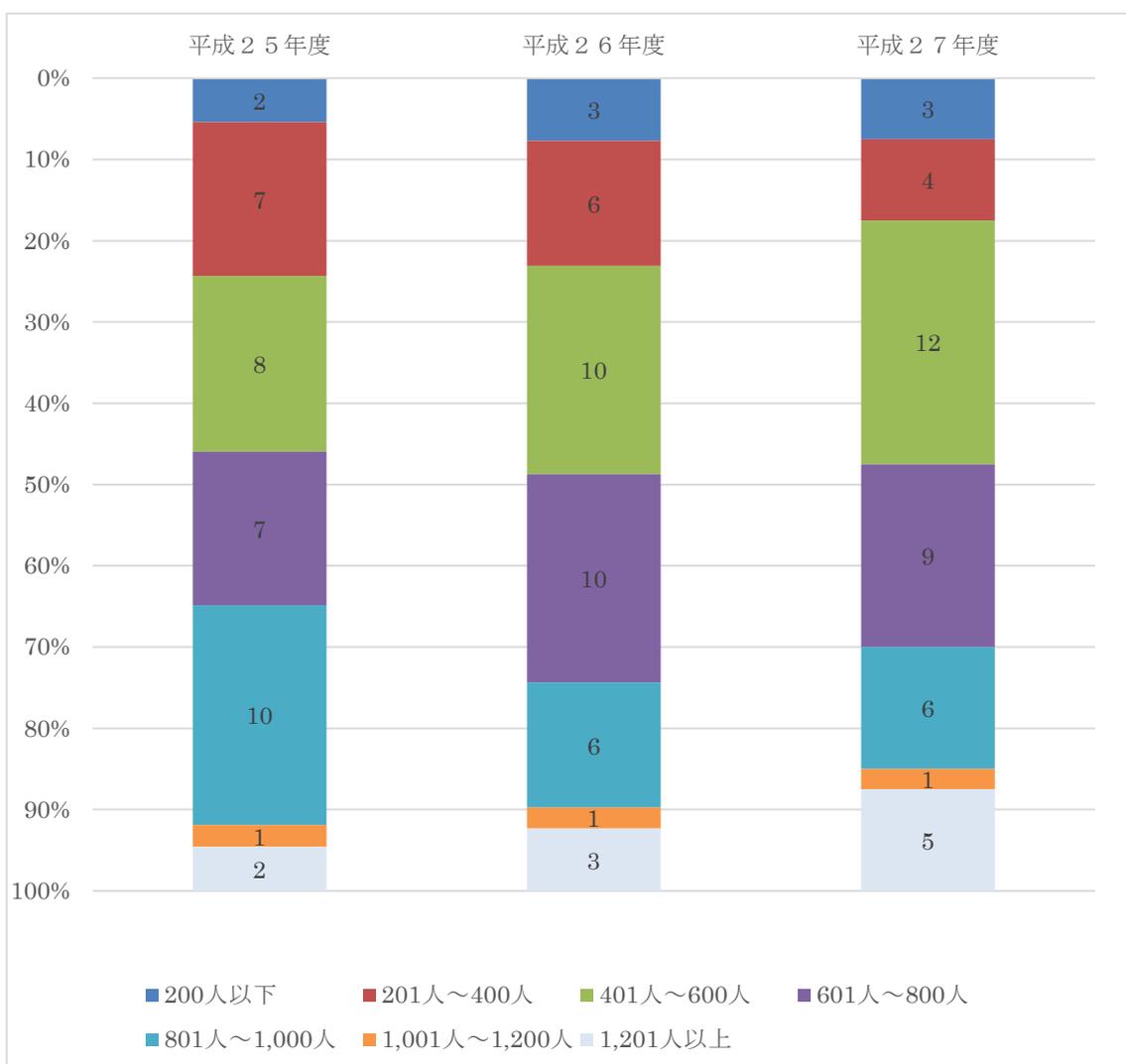
※自主事業の実施なし

【稼働率・利用人数】

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|------|---------|---------|---------|
| 稼働率 | 20.6% | 22.7% | 24.5% |
| 利用人数 | 29,789人 | 27,213人 | 30,181人 |

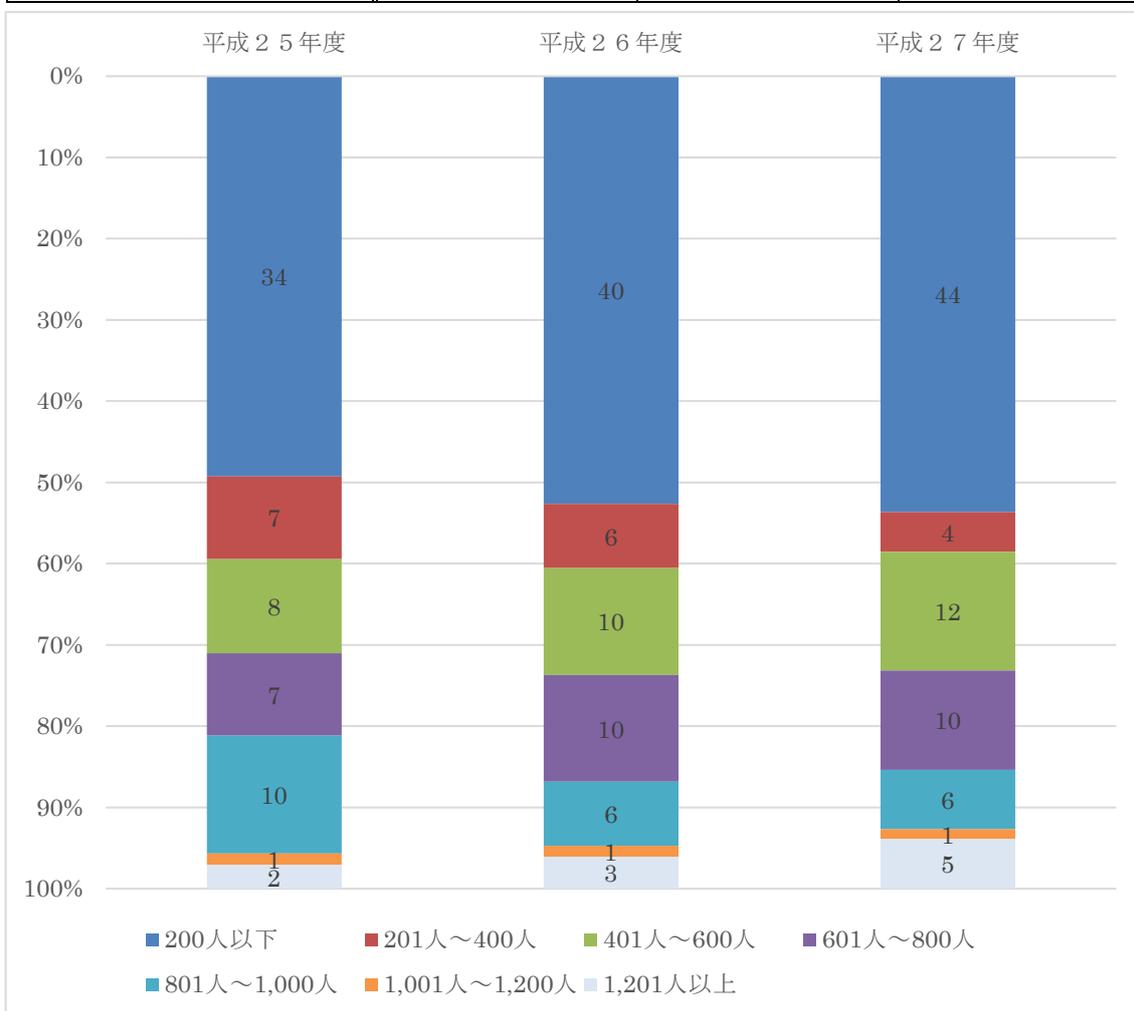
【利用人数】（本番のみ）

| 利用人数 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 200人以下 | 2件 | 3件 | 3件 |
| 201人～400人 | 7件 | 6件 | 4件 |
| 401人～600人 | 8件 | 10件 | 12件 |
| 601人～800人 | 7件 | 10件 | 9件 |
| 801人～1,000人 | 10件 | 6件 | 6件 |
| 1,001人～1,200人 | 1件 | 1件 | 1件 |
| 1,201人以上 | 2件 | 3件 | 5件 |
| 合計 | 37件 | 39件 | 40件 |



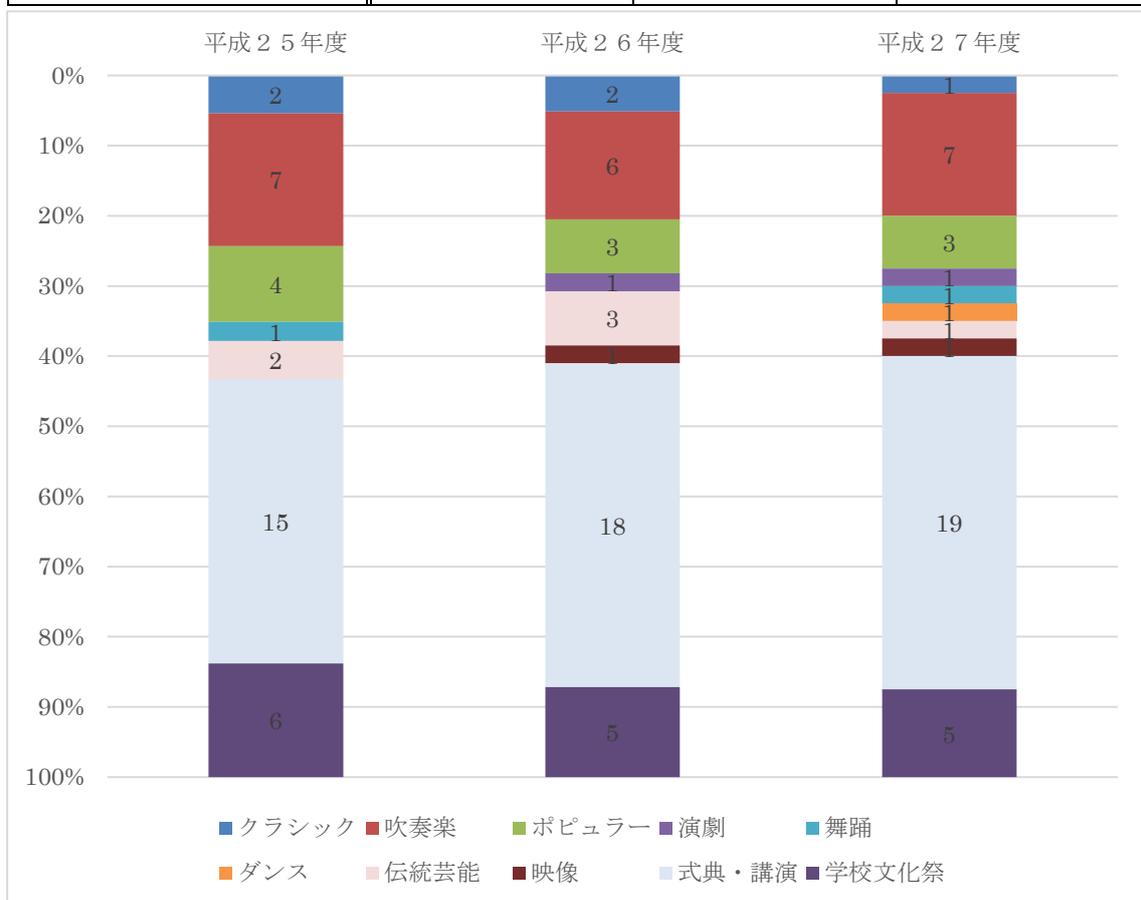
【利用人数】（仕込・リハーサル・練習含む）

| 利用人数 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 200人以下 | 34件 | 40件 | 44件 |
| 201人～400人 | 7件 | 6件 | 4件 |
| 401人～600人 | 8件 | 10件 | 12件 |
| 601人～800人 | 7件 | 10件 | 10件 |
| 801人～1,000人 | 10件 | 6件 | 6件 |
| 1,001人～1,200人 | 1件 | 1件 | 1件 |
| 1,201人以上 | 2件 | 3件 | 5件 |
| 合計 | 69件 | 76件 | 82件 |



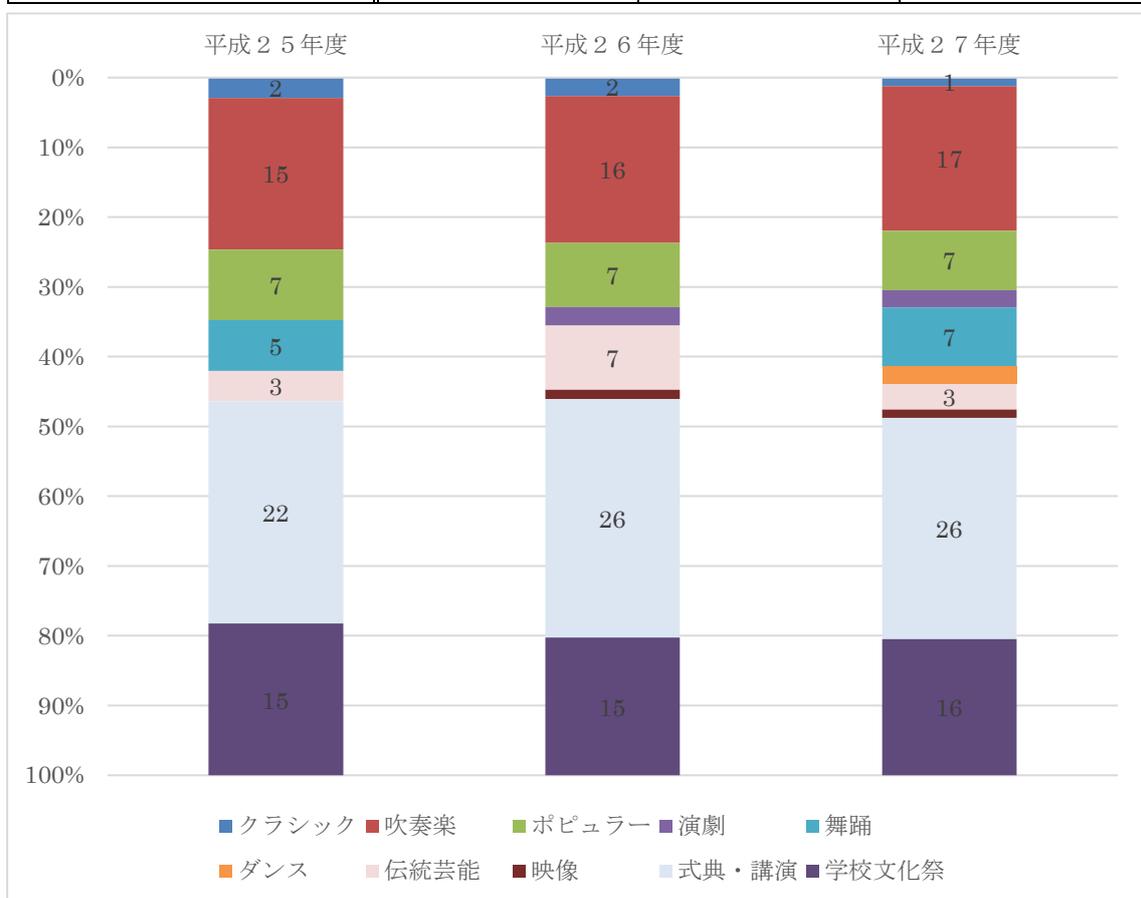
【利用ジャンル】（本番のみ）

| 利用ジャンル | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| クラシック | 2件 | 2件 | 1件 |
| 吹奏楽 | 7件 | 6件 | 7件 |
| 合唱 | 0件 | 0件 | 0件 |
| ポピュラー音楽 | 4件 | 3件 | 3件 |
| 演劇 | 0件 | 1件 | 1件 |
| 舞踊 | 1件 | 0件 | 1件 |
| ダンス | 0件 | 0件 | 1件 |
| 伝統芸能 | 2件 | 3件 | 1件 |
| 演芸 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 映像 | 0件 | 1件 | 1件 |
| 式典・講演 | 15件 | 18件 | 19件 |
| 学校文化祭 | 6件 | 5件 | 5件 |
| 美術 | 0件 | 0件 | 0件 |
| その他 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 合計 | 37件 | 39件 | 40件 |



【利用ジャンル】（仕込・リハーサル・練習含む）

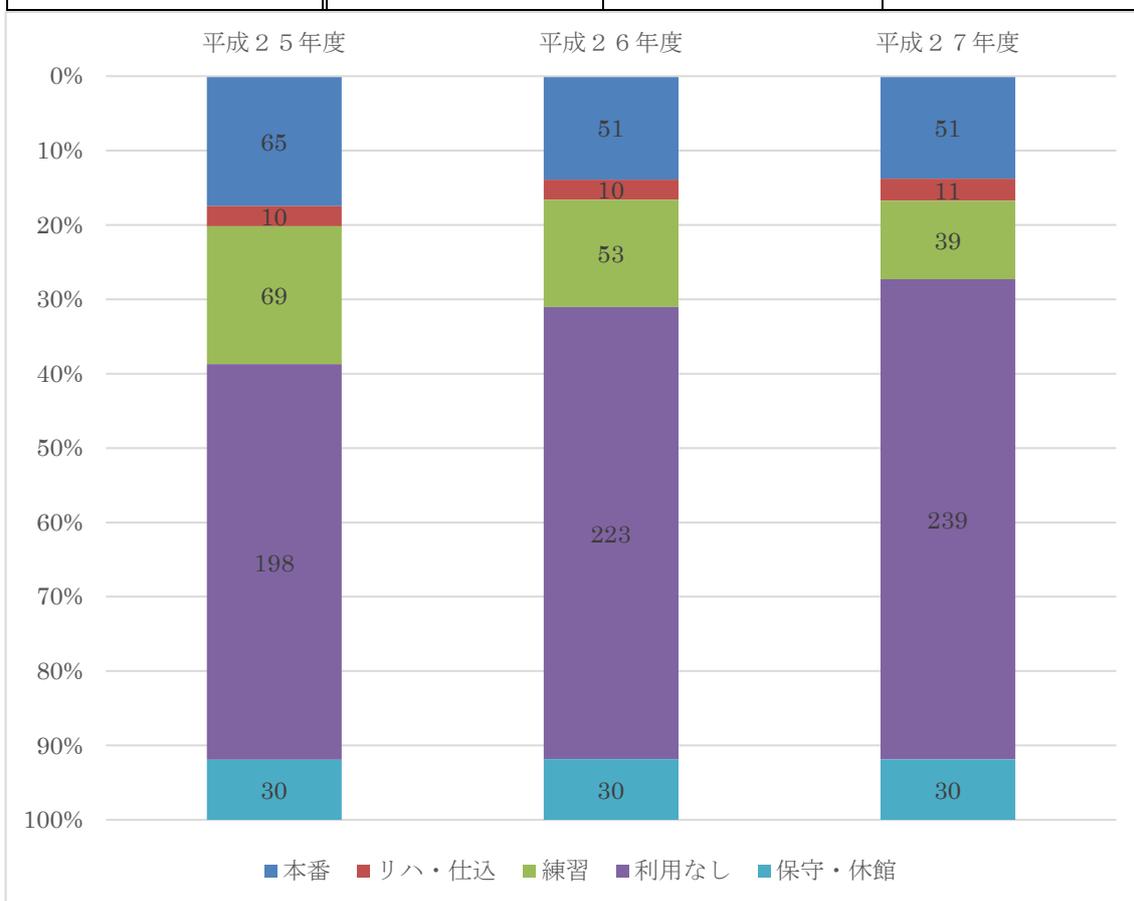
| 利用ジャンル | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| クラシック | 2件 | 2件 | 1件 |
| 吹奏楽 | 15件 | 16件 | 17件 |
| 合唱 | 0件 | 0件 | 0件 |
| ポピュラー音楽 | 7件 | 7件 | 7件 |
| 演劇 | 0件 | 2件 | 2件 |
| 舞踊 | 5件 | 0件 | 7件 |
| ダンス | 0件 | 0件 | 2件 |
| 伝統芸能 | 3件 | 7件 | 3件 |
| 演芸 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 映像 | 0件 | 1件 | 1件 |
| 式典・講演 | 22件 | 26件 | 26件 |
| 学校文化祭 | 15件 | 15件 | 16件 |
| 美術 | 0件 | 0件 | 0件 |
| その他 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 合計 | 69件 | 76件 | 82件 |



・中ホール

【利用区分】

| 利用区分 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-------|--------|--------|--------|
| 本番 | 65件 | 51件 | 51件 |
| リハ・仕込 | 10件 | 10件 | 11件 |
| 練習 | 69件 | 53件 | 39件 |
| 利用なし | 198件 | 223件 | 239件 |
| 保守・休館 | 30件 | 30件 | 30件 |
| 合計 | 372件 | 367件 | 370件 |



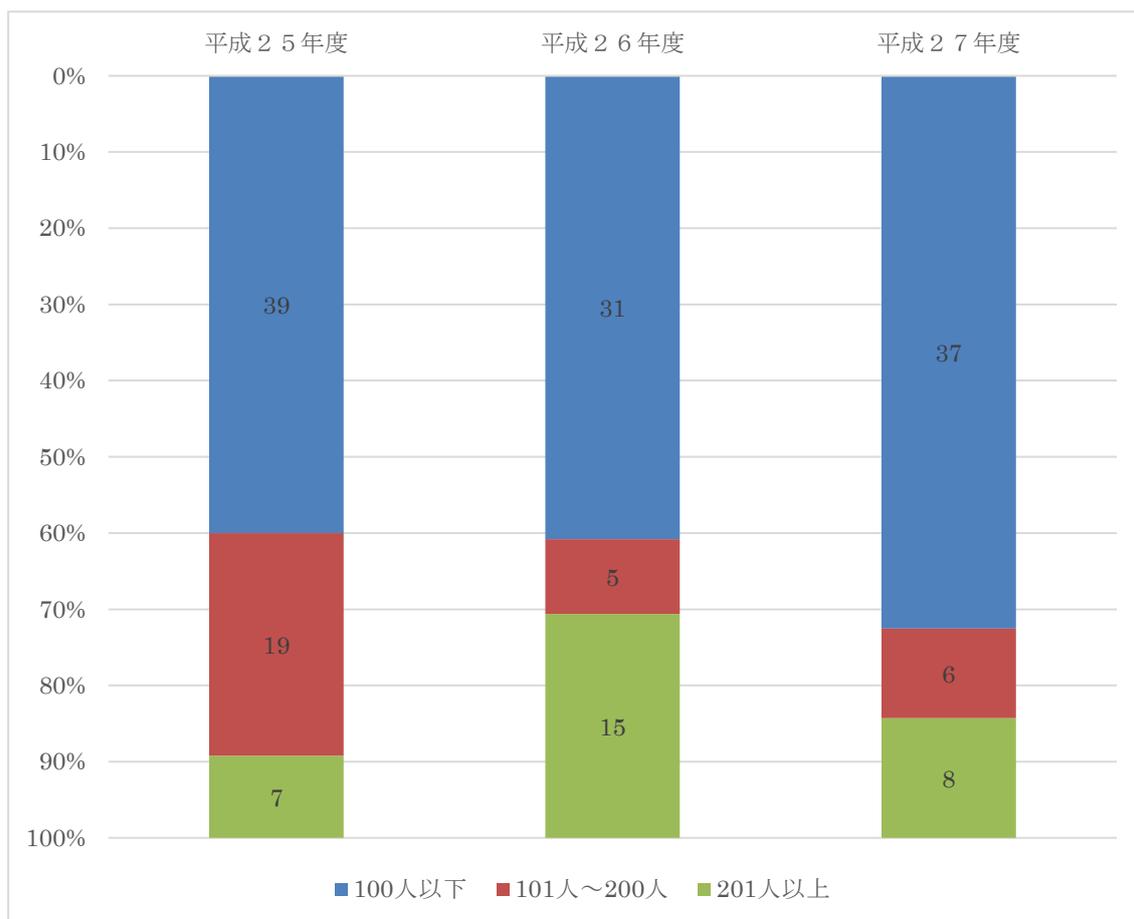
※自主事業の実施なし

【稼働率・利用人数】

| | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|--------|--------|---------|--------|
| 稼働率 | 40.8% | 24.5% | 29.0% |
| 年間利用人数 | 9,458人 | 11,371人 | 4,735人 |

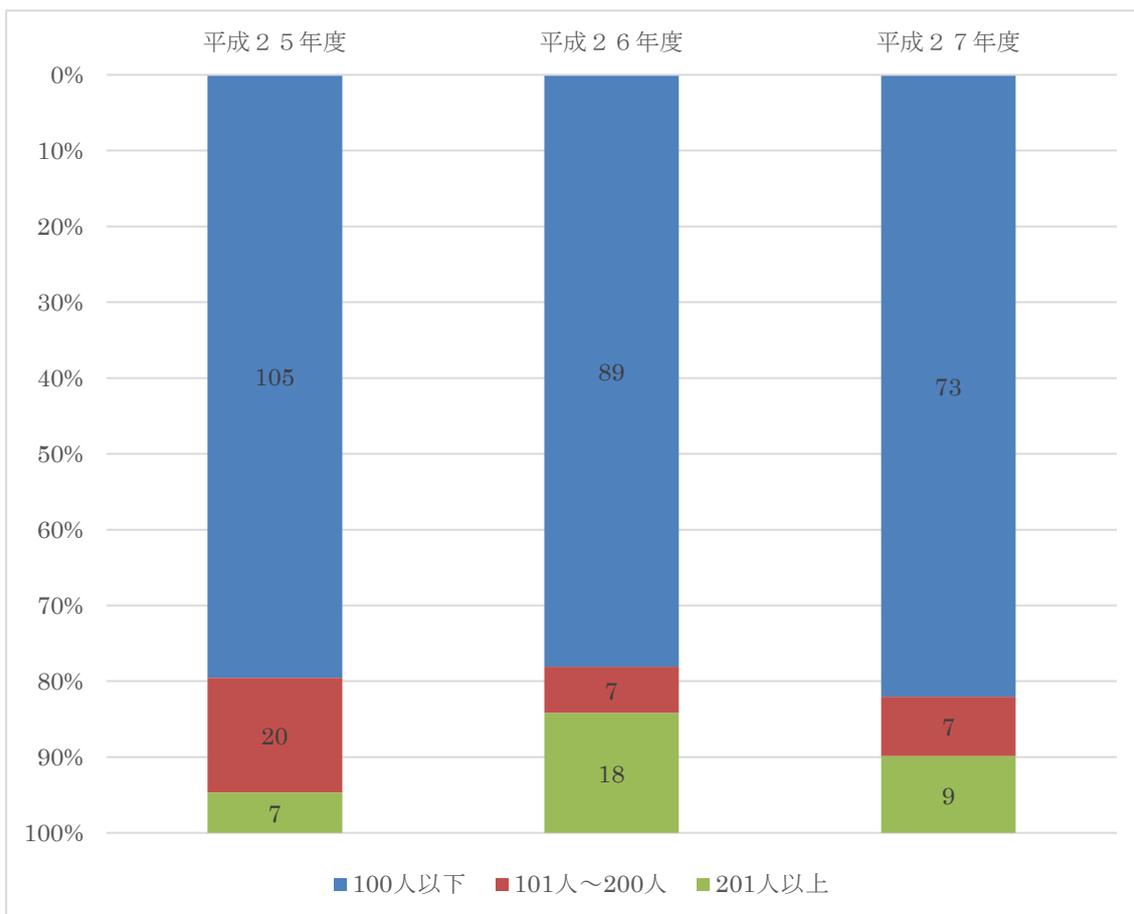
【利用人数】（本番のみ）

| 利用人数 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 100人以下 | 39件 | 31件 | 37件 |
| 101人～200人 | 19件 | 5件 | 6件 |
| 201人以上 | 7件 | 15件 | 8件 |
| 合計 | 65件 | 51件 | 51件 |



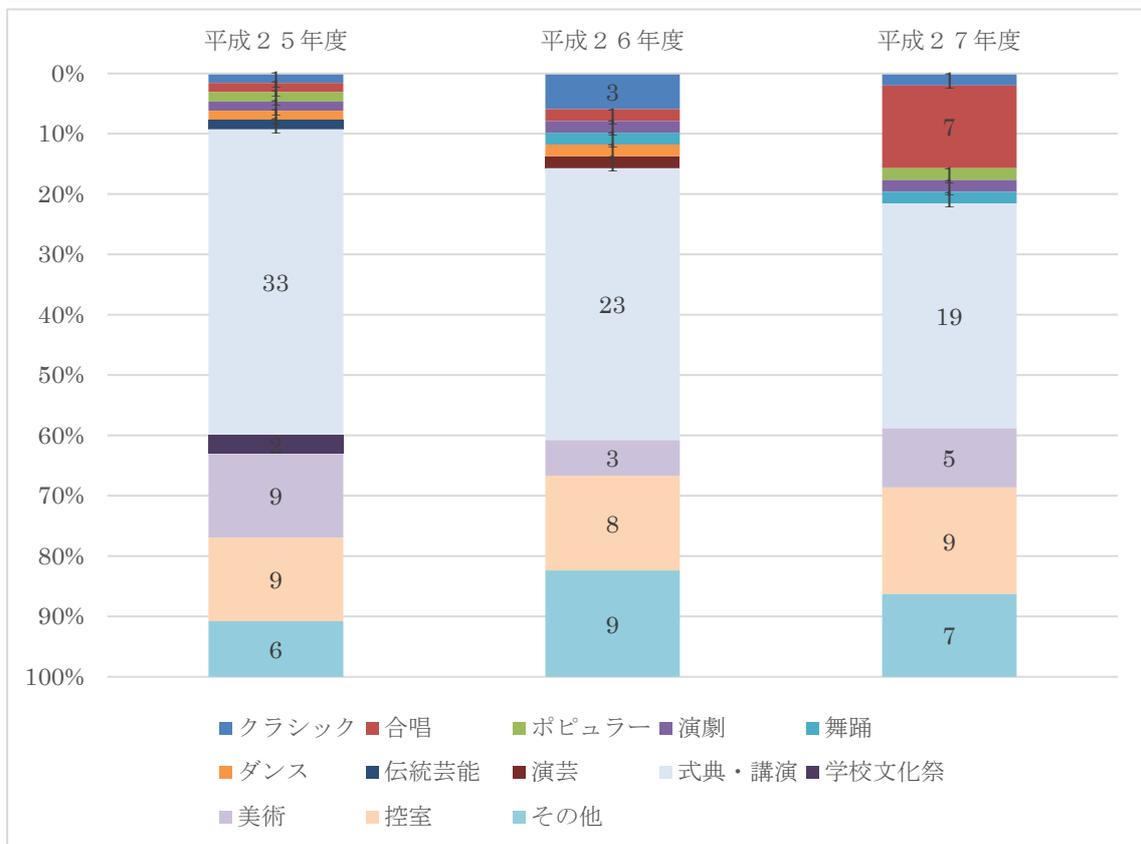
【利用人数】（仕込・リハーサル・練習含む）

| 利用人数 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 100人以下 | 105件 | 89件 | 73件 |
| 101人～200人 | 20件 | 7件 | 7件 |
| 201人以上 | 7件 | 18件 | 9件 |
| 合計 | 132件 | 114件 | 89件 |



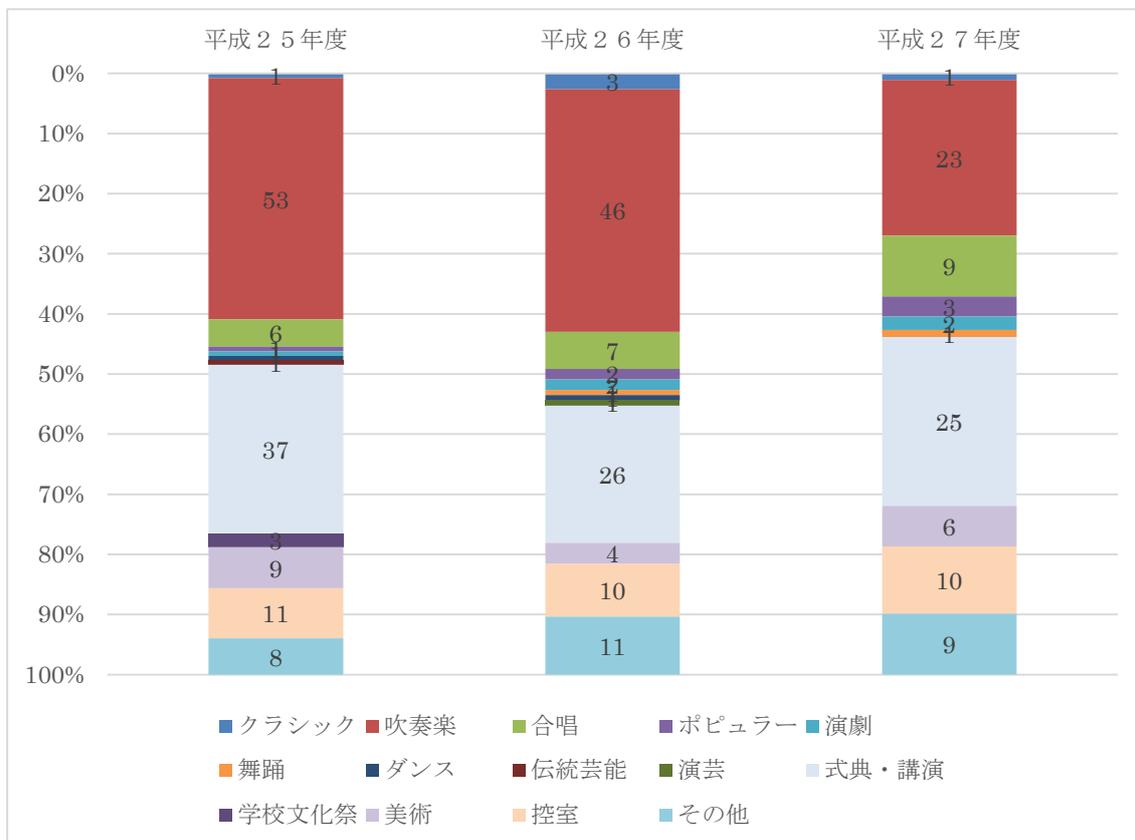
【利用ジャンル】（本番のみ）

| 利用ジャンル | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| クラシック | 1件 | 3件 | 1件 |
| 吹奏楽 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 合唱 | 1件 | 1件 | 7件 |
| ポピュラー音楽 | 1件 | 0件 | 1件 |
| 演劇 | 1件 | 1件 | 1件 |
| 舞踊 | 0件 | 1件 | 1件 |
| ダンス | 1件 | 1件 | 0件 |
| 伝統芸能 | 1件 | 0件 | 0件 |
| 演芸 | 0件 | 1件 | 0件 |
| 映像 | 0件 | 0件 | 0件 |
| 式典・講演 | 33件 | 23件 | 19件 |
| 学校文化祭 | 2件 | 0件 | 0件 |
| 美術 | 9件 | 3件 | 5件 |
| 控室 | 9件 | 8件 | 9件 |
| その他 | 6件 | 9件 | 7件 |
| 合計 | 65件 | 51件 | 51件 |



【利用ジャンル】（仕込・リハーサル・練習含む）

| 利用ジャンル | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 |
|---------|--------|--------|--------|
| クラシック | 1 | 3 | 1 |
| 吹奏楽 | 53 | 46 | 23 |
| 合唱 | 6 | 7 | 9 |
| ポピュラー音楽 | 1 | 2 | 3 |
| 演劇 | 1 | 2 | 2 |
| 舞踊 | 0 | 1 | 1 |
| ダンス | 1 | 1 | 0 |
| 伝統芸能 | 1 | 0 | 0 |
| 演芸 | 0 | 1 | 0 |
| 映像 | 0 | 0 | 0 |
| 式典・講演 | 37 | 26 | 25 |
| 学校文化祭 | 3 | 0 | 0 |
| 美術 | 9 | 4 | 6 |
| 控室 | 11 | 10 | 10 |
| その他 | 8 | 11 | 9 |
| 合計 | 132 | 114 | 89 |



・付属施設

【稼働率・利用人数】

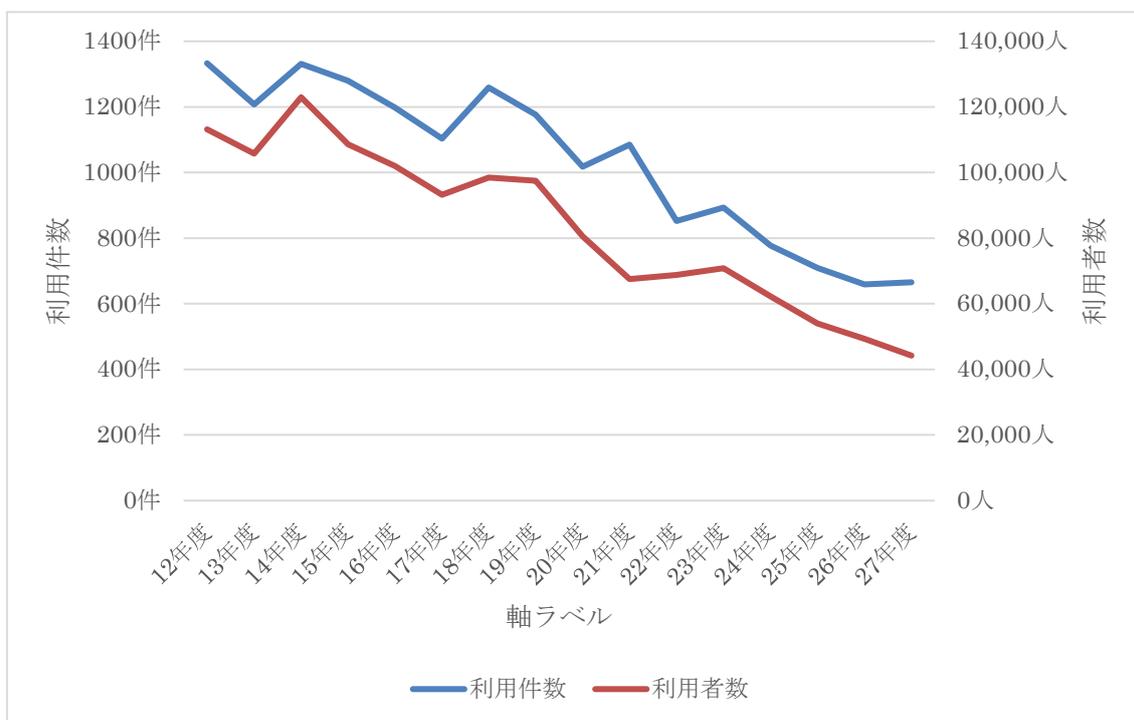
| 年度 | 付属施設名称 | 利用可能 日数 | 利用日数 実績 | 稼働率 | 年間利用 人数 |
|----------|--------|------------|------------|-------|------------|
| 平成 27 年度 | 第一会議室 | 336 日 | 176 日 | 52.4% | 3,349 人 |
| | 和室会議室 | 336 日 | 113 日 | 33.6% | 1,391 人 |
| | 特別会議室 | 336 日 | 79 日 | 23.5% | 1,393 人 |
| 平成 26 年度 | 第一会議室 | 335 日 | 158 日 | 47.2% | 4,626 人 |
| | 和室会議室 | 335 日 | 132 日 | 39.4% | 1,552 人 |
| | 特別会議室 | 335 日 | 70 日 | 20.9% | 1,532 人 |
| 平成 25 年度 | 第一会議室 | 335 日 | 153 日 | 45.7% | 4,053 人 |
| | 和室会議室 | 335 日 | 129 日 | 38.5% | 2,039 人 |
| | 特別会議室 | 335 日 | 94 日 | 28.1% | 1,791 人 |

【利用ジャンル】

| 年度 | 付属施設名称 | 舞踊 | 式典・講 演・会議 | 学習 | 販売・控 室・その他 |
|----------|--------|-----|--------------|------|---------------|
| 平成 25 年度 | 第一会議室 | | 12 件 | 47 件 | 92 件 |
| | 和室会議室 | | 4 件 | 42 件 | 83 件 |
| | 特別会議室 | | 15 件 | 23 件 | 56 件 |
| 平成 26 年度 | 第一会議室 | | 12 件 | 42 件 | 104 件 |
| | 和室会議室 | | 1 件 | 68 件 | 63 件 |
| | 特別会議室 | | 12 件 | 20 件 | 38 件 |
| 平成 27 年度 | 第一会議室 | | 15 件 | 38 件 | 123 件 |
| | 和室会議室 | 1 件 | 11 件 | 45 件 | 56 件 |
| | 特別会議室 | | 10 件 | 21 件 | 48 件 |

・利用件数、利用者数の経年推移

| | 利用件数 | 利用者数 |
|------|-------|----------|
| 12年度 | 1333件 | 113,129人 |
| 13年度 | 1207件 | 105,750人 |
| 14年度 | 1331件 | 122,933人 |
| 15年度 | 1279件 | 108,572人 |
| 16年度 | 1198件 | 102,009人 |
| 17年度 | 1103件 | 93,181人 |
| 18年度 | 1259件 | 98,487人 |
| 19年度 | 1176件 | 97,537人 |
| 20年度 | 1018件 | 80,573人 |
| 21年度 | 1085件 | 67,542人 |
| 22年度 | 852件 | 68,773人 |
| 23年度 | 893件 | 70,828人 |
| 24年度 | 777件 | 62,257人 |
| 25年度 | 709件 | 53,945人 |
| 26年度 | 659件 | 49,320人 |
| 27年度 | 665件 | 44,205人 |



◇その他周辺施設

【稼働率・利用人数】

| No. | 施設名 | ホール系施設 | | | | |
|-----|--------|--------|--------|--------|-------|---------|
| | | ホール名称 | 利用可能日数 | 利用日数実績 | 稼働率 | 年間利用人数 |
| 1 | 三余館 | ホール | 309日 | 191日 | 61.8% | 19,316人 |
| 2 | 和楽 | 大研修室 | 348日 | 289日 | 83.0% | 70,703人 |
| 3 | 弥生文化会館 | 多目的ホール | 306日 | 129日 | 42.2% | 16,264人 |

| No. | 施設名 | 付属施設（楽屋除く） | | | | |
|-----|--------|------------|--------|--------|-------|---------|
| | | 付属施設名称 | 利用可能日数 | 利用日数実績 | 稼働率 | 年間利用人数 |
| 1 | 三余館 | 和室（城山） | 309日 | 122日 | 39.5% | 1,020人 |
| | | 和室（番匠） | 309日 | 205日 | 66.3% | 2,378人 |
| | | 実習室 | 309日 | 262日 | 84.8% | 6,633人 |
| | | 多目的室 | 309日 | 244日 | 79.0% | 5,384人 |
| | | 特別会議室 | 309日 | 176日 | 57.0% | 2,790人 |
| | | 大会議室 | 309日 | 207日 | 67.0% | 8,021人 |
| 2 | 和楽 | 第2研修室 | 348日 | 305日 | 87.6% | 7,920人 |
| | | 第1会議室 | 348日 | 284日 | 81.6% | 21,683人 |
| | | 第2会議室 | 348日 | 271日 | 77.9% | 7,565人 |
| | | 調理実習室 | 348日 | 142日 | 40.8% | 4,736人 |
| | | 栄養指導室 | 348日 | 255日 | 73.3% | 11,218人 |
| 3 | 弥生文化会館 | 研修室 | 306日 | 196日 | 64.4% | 2,763人 |
| | | 小会議室 | 306日 | 80日 | 26.1% | 730人 |
| | | 和室 | 306日 | 238日 | 77.8% | 2,967人 |
| | | 視聴覚室 | 306日 | 274日 | 89.5% | 2,932人 |

【自主事業実施状況】

| No. | 施設名 | 事業数 | 実施回数 | 事業名 | 事業概要 |
|-----|-----|-----|-------|------|------------------------|
| 1 | 三余館 | 1 | 1,318 | 講座事業 | 教養、健康及び趣味の講座、計35講座を開講。 |

【利用ジャンル】

| No. | 施設名 | 諸室 | クラシック・吹奏楽 | 合唱 | ポピュラー音楽 | 演劇 | 舞踊 | ダンス |
|-----|--------|--------|-----------|-----|---------|----|------|-----|
| 1 | 三余館 | 和室(城山) | | | | | | |
| | | 和室(番匠) | | | | | | |
| | | 実習室 | | | | | | |
| | | 多目的室 | | | | | 144件 | 48件 |
| | | ホール | | | | | | |
| | | 特別会議室 | | | | | | |
| | | 大会議室 | | 24件 | 96件 | | | |
| 2 | 和楽 | 大研修室 | 10件 | | 26件 | 5件 | 11件 | 6件 |
| | | 第2研修室 | 24件 | | | | | |
| | | 第1会議室 | | | | | | 48件 |
| | | 第2会議室 | | | | | | 70件 |
| | | 調理実習室 | | | | | | |
| | | 栄養指導室 | | | | | | |
| 3 | 弥生文化会館 | 多目的ホール | 2件 | 2件 | 16件 | 2件 | 4件 | 7件 |
| | | 会議室① | 8件 | 2件 | 7件 | | | 53件 |
| | | 会議室② | | 1件 | 10件 | | | 3件 |
| | | 会議室③ | | | 83件 | | | 3件 |
| | | 和室 | 96件 | 1件 | 58件 | | 1件 | 23件 |
| | | 視聴覚室 | | | | | | |

| No. | 施設名 | 諸室 | 伝統 芸能 | 演芸 | 映像 | 式典・講 演・会議 | 学校 文化祭 | 美術 |
|-----|------------|--------|----------|-----|-----|--------------|-----------|------|
| 1 | 三余館 | 和室(城山) | | | | | | |
| | | 和室(番匠) | | | | | | |
| | | 実習室 | | | | | | 312件 |
| | | 多目的室 | | | | | | 48件 |
| | | ホール | | | | | | |
| | | 特別会議室 | | | | | | 24件 |
| | | 大会議室 | | | | | | |
| 2 | 和楽 | 大研修室 | | 1件 | 2件 | 90件 | | |
| | | 第2研修室 | | | 12件 | 387件 | | |
| | | 第1会議室 | | | | 340件 | | |
| | | 第2会議室 | | | | 100件 | | |
| | | 調理実習室 | | | | | | |
| | | 栄養指導室 | | | | 6,683件 | | 48件 |
| | | | | | | | | |
| 3 | 弥生文 化会館 | 多目的ホール | 55件 | | 2件 | 13件 | | |
| | | 会議室① | 22件 | | 1件 | 29件 | | 2件 |
| | | 会議室② | 2件 | | 2件 | 20件 | | |
| | | 会議室③ | 2件 | | 2件 | 20件 | | |
| | | 和室 | 12件 | 21件 | | 7件 | | 1件 |
| | | 視聴覚室 | | | | | | |

| No. | 施設名 | 諸室 | 華道・ 茶道 | 体操 | 学習 | 囲碁・ 将棋 | 食育 | その他 |
|-----|------------|--------|-----------|------|-----|-----------|--------|-----|
| 1 | 三余館 | 和室(城山) | 24件 | | 11件 | | | |
| | | 和室(番匠) | 24件 | | 11件 | | | |
| | | 実習室 | 96件 | | | | | |
| | | 多目的室 | | 72件 | | | | |
| | | ホール | | 192件 | | | | |
| | | 特別会議室 | | | | 96件 | | |
| | | 大会議室 | | | | 96件 | | |
| 2 | 和楽 | 大研修室 | | 188件 | 3件 | | 1件 | 62件 |
| | | 第2研修室 | 24件 | | | | | 48件 |
| | | 第1会議室 | | | 48件 | | | 48件 |
| | | 第2会議室 | | 80件 | 48件 | | | 96件 |
| | | 調理実習室 | | | | | 369件 | |
| | | 栄養指導室 | | | | | 4,487件 | |
| 3 | 弥生文 化会館 | 多目的ホール | | | 10件 | | | 16件 |
| | | 会議室① | 32件 | | 15件 | 3件 | | 22件 |
| | | 会議室② | 13件 | 2件 | 13件 | | | 14件 |
| | | 会議室③ | 13件 | 2件 | 13件 | | | 14件 |
| | | 和室 | 1件 | 42件 | | | 1件 | 10件 |
| | | 視聴覚室 | | | | | | |

◇施設ヒアリングまとめ

【ホール利用者及び利用内容の特性】

| | |
|--------|--|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> • 吹奏楽(中学・高校、一般団体)、文化祭の利用が多い。 • ほとんどが毎年固定の利用者である。 • 満席になることは年 2 回程度。JAのお客様サービスのための公演で、興行にはあてはまらない。複数回の公演で、トータル 2000～2500 名程度の来場がある。 • 政治家の講演会、こどもミュージカル、吹奏楽(ブラスフェスタ)、成人式、文化祭(鶴谷中学校)、保護者会(鶴城高校)も多くの方が来場する。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> • 利用ジャンルはとても豊富である。音楽、ダンス、カラオケ、日本舞踊などの発表会に利用されている。また、卓球やバドミントンなどの体育競技や会議利用もある。 • 展示会場としても利用される。(書道展、パッチワーク、油絵、水彩画等) • バンド系の利用はない。防音設備はないが、特にお断りしているわけではない。 • 練習利用が多い。 • 体育競技の飛び込みの利用が多い。空いていたら貸している。 |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> • 予約は通常6ヶ月前からできるが、定期的にご利用の方は4ヶ月前から予約受付としている(ホール・会議室共に)。広く多くの方に使っていただきたい、という意図から、そのような運用にしている。 • 定期利用団体の認定は、管理者が独自に判断している。現在18団体を定期利用者として設定している。 • 市の事業での利用を優先している。 • 保健福祉総合センターのため、集団健診や乳児健診などでも利用する。 • 27年度からダンス系の事業が増加している。エアロビクスは週に最低3回あり、それぞれ40～50人が参加している。 • コンサート、カラオケ大会、ロックバンド、吹奏楽部や学校の発表会、移動教室、お遊戯会、講演会などの利用が多い。 • 稼働率は高い。 • 平日は練習、土日は発表会が多い。 |

| | |
|--------|---|
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> • 吹奏楽、カラオケ大会の利用が多い。 • 興業的な利用は年間通して5件程度である。 • ステージだけ使ったの練習利用が多い。太鼓（陣太鼓）、伝統文化の団体などが定期的に利用している。 • 平土間での利用は年間5件あるかないか程度である。選挙や社交ダンス、文化祭の展示利用などで平土間にしている。 |
|--------|---|

【その他諸室の利用団体、利用目的等】

| | |
|--------|---|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> • 空調費が高いため、空調費がかからない4月、5月、10月、11月の利用が多い。（館内全体で空調を管理している為、夏場冬場は自動的に空調費がかかってしまう。） • 書道教室や英語教室、俳句会などが定期的に利用している他、健康食品の販売などの利用もある。 • 週末の利用者が多い。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> • 各種講座、教室の利用が多い。 • カラオケ教室などの音楽利用もあるが、扉や窓を閉めておけば他の諸室への影響は少ない。 |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> • 市の利用が多い。 • 各種講座、教室の利用も多い。 • 営利目的の利用はできない。（物販などは許可申請が必要。） |
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> • 18教室、20団体が定期的に利用している。 • カラオケ、華道、茶道、社交ダンス、津軽三味線、健康診断などの利用が多い。 • 図書館の利用は少ない • バンド等の利用している団体もある（月4回程度）。 |

【来場者の性別、年代】

| | |
|--------|--|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がほとんどである。特に女性が多い。 ・学校等のイベントでは保護者、親戚の来場が多い。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢の方が多く、若い人は少ない。 ・夏休みになると飛び込み利用の高校生が多くなる。 ・女性が圧倒的に多い（9割方）。 ・子育て世代は少ない。 |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・カラオケなどは高齢の方が多い。 ・エアロビクスなどは若い世代が多い。 ・学校行事以外では学生はあまりいない。 |
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業によって異なる。 ・吹奏楽や和太鼓は年齢層が広く、若い世代も多い。 ・トレーニングルームは若い世代、女性の利用が多い |

【利用者からの意見、要望（ハード面、ソフト面）】

| | |
|--------|---|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策を考えてほしい。エレベーターがないので高齢者は利用が大変である。 ・エントランスが狭く、待つところがない。 ・トイレが不足している。絶対数も少ないが、女性用トイレ、洋式トイレが特に不足している。 ・大ホールと中ホールとの連絡通路がなく、トイレも一旦室外に出て利用している。 ・空調を個々の部屋で入切の調節が出来るようにしたい。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> ・2階があるのにエレベーターがない。 |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者の利用が多いのでベンチがほしい。 ・楽屋が全くない（ホール利用を想定していない）。 ・移動観覧席への不満は特にない。 ・リフトなどがあるため搬入が不便という話は特に聞かない。 ・防音設備がないため、本格的な音楽利用はできない。 |
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターがない上に階段が急なので、高齢者は利用が大変である。 ・音響反響板がないため、音響が悪い。 ・空調の温度調節が出来ない。 ・Wi-Fiが使えるようにしてほしいという要望が挙がっている。 |

【自主事業への取り組み】

| | |
|--------|---|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在自主事業は行っていない。 ・平成 23 年までの市の正職員がいた時期は年 1、2 回の自主事業を行っていた。演歌歌手を招いたりしていた。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> ・カルチャースクールとして35講座開講している。 ・平均年齢65～76歳程度で、若い層はほとんどいない。 ・参加者は各講座5～30人程度。毎年メンバーの変動はある。 ・毎年だいたい同じ講座で、若い人向け講座をしたくても講師がいない。講師は大分市から来ていただいている方が多い。 ・講師との謝礼等の条件が折り合わないと講座はできない(今の講師陣は半分ボランティアのようなものでやっていただいている)。 |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健相談や健康推進活動などが行われている。 ・舞台技術の専門家は配置されていない。 |
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業はない。スタッフが2人しかいないため、新しい事業を始めたり、利用者数を増やす取り組みをすることができない。 ・毎週水曜日のみ舞台技術の専門家がいるが、常駐はしていない。 |

【宣伝・プロモーションの方法、媒体、配布エリア】

| | |
|--------|---|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・後援事業が地元新聞に載る程度である。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> ・4月と10月にカルチャースクールの告知を行っている。 |
| 和楽 | — |
| 弥生文化会館 | — |

【地域との連携、周辺施設との連携・棲み分け】

| | |
|--------|--|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・周辺施設とは互いに連絡を取りあって、イベントによって駐車場を共同で使っている。 ・地域との連携はないが、駐車場がお祭り広場になっているため、そのお祭りの控室のような利用はある。 |
| 三余館 | <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場以外では、他と連携することはない。 |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用希望が重複した際に、他の施設を勧めたりすることはある。 |
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> ・隣接敷地内にある施設とは提携することがある。休みの日を調整してどちらかが開館しているようにしている。 ・それ以外の文化施設との連携はない。 |

【駐車場について】

| | |
|--------|--|
| 佐伯文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> • 駐車場が少ない。 • 駐車場の何日も停めている人がいるため、管理が必要であると感じている。 |
| 三余館 | — |
| 和楽 | <ul style="list-style-type: none"> • 駐車場は150台分あるが、ほぼ満車になる。 • 駐車場は不足している。 • 大研修室利用時に満車の場合は、主催者に誘導員を出してもらっている。 • 満車時は市役所の駐車場を案内している。 • 駐車場の優先利用者ルールはない。 |
| 弥生文化会館 | <ul style="list-style-type: none"> • 他の施設のイベントと重複すると駐車場は満車になる。 • 土日等にイベントが重なると駐車場が足りない。 • 看板がなく、施設の出入り口が分からないという意見が寄せられている。 |

2. 事業計画

◇市民参加_先進事例

| 施設名 | 北上市文化交流センター | 由利本荘市文化交流館 | 黒部市国際文化センター |
|---------|---------------------------------------|-----------------|-----------------|
| 愛称 | さくらホール | カダーレ | コラーレ |
| 開館年 | 2003年 | 2011年 | 1995年 |
| 設置自治体 | 岩手県北上市 | 秋田県由利本荘市 | 富山県黒部市 |
| 人口 | 93,340人 | 79,940人 | 42,610人 |
| 運営体制 | 指定管理者制度 | 指定管理者制度 | 指定管理者 |
| 管理運営者 | (一財)北上市文化創造 | (一社)カダーレ文化芸術振興会 | (公財)黒部市国際文化センター |
| ホール名 席数 | 大ホール 1,425席 中ホール 466席 小ホール 264席 | 大ホール 1,110席 | カーターホール 886席 |

| 協働の在り方 | ホールとアーティスト、まちのコーディネート | ホール事業への参画から運営者へ | ホールとの運命共同体、ホール事業への参画 |
|--------|---|--|--|
| 団体名 | NPO法人芸術工房 | カダーレ自主事業実行委員会 | 1. コラーレ倶楽部(友の会〔有料〕) 2. 運営委員会 3. リトルカルチャークラブ 4. 実行委員会 |
| 規模 | 150人(2013年) | | |
| 具体的な活動 | <p>1. 公共協働事業</p> <p>①公演業務支援事業 フロントスタッフ、託児、アンケート作成・集計、ステージマネージャー、司会、音響・照明、映像作成、録音・録画、CD/DVD制作、ライブ・スター・パンフ作成などの受託事業</p> <p>②芸術体験・ワークショップ事業 ホールの外観・内観を体験型イベントで賑わい創出</p> <p>③文化のまち並み景観事業 市全体のまちづくりに展開。文化のまち育て協議会事務局</p> <p>2. 普及活性化事業</p> <p>①鑑賞促進事業 独自のチケット販売サービスの提供</p> <p>②文化芸術コーディネート事業 おもてなし街ライブの開催実施</p> <p>③テレプロ通信事業 ホームページサービスの提供</p> <p>④総合型文化芸術クラブ事業 かたか、ハンドメイドカフェ、イ列7語、合唱、かけ、芸術鑑賞クラブを展開。さらに活動が展開中。</p> <p>3. 人材育成事業</p> <p>①あそびの学校運営事業 ショッピングセンター等と協働して、子ども達の造形広場を運営</p> <p>②こどもアートサポート事業 小学校とアーティストと協働し、こどもの芸術体験をサポート</p> <p>③あそび育て塾 ①、②の発展。出張体験。</p> <p>4. その他事業</p> <p>①情報発信事業 ②会員交流事業 芸術工房の活動が良く分かる、芸術工房祭を開催。 ★会員通貨＝「アーツ」1アーツ＝50円の運用</p> | <p>1. イベント班 舞台芸術全般の事業を企画・実施。</p> <p>2. 展示・学習班 舞台芸術以外で気軽に参加できる事業を企画・実施。</p> <p>3. メディア班 館内にあるケーブルテレビの支局機能を使い、定期的な番組制作を行う。</p> | <p>1. コラーレ倶楽部・アクティブグループ「友の会」。チケット優待や情報サービス、レストラン割引等の他、好きなグループに入って活動することが出来る。</p> <p>①大人のピアノ「ドレミの会」 ②芸術体験サカ「やってみる会」 ③会場案内ボランティア「卑弥呼くろべ」 ④一時保育ボランティア「あいじ福祉会」</p> <p>2. 運営委員会 自主事業を企画する市民参加組織。委員の半分がコラーレクラブ、半分が有識者で構成されている。自主事業当日は、出来る範囲で手伝いを行う。</p> <p>3. リトルカルチャークラブ 次世代の文化や芸術を担う青少年の完成育成や活動支援を行うための子どもの専属上演団体。 ①キーボード・オーケストラ ②コラーレ ココロ合唱隊</p> <p>4. 実行委員会 住民有志により実行委員会にて、イベントの最初から最後まで、自分たちの手で創り上げていく。 ①24時間ぶっとおしライブ ②コラーレワールド・フェスティバル</p> |
| 活動資金 | 事業費計：555万 (H26年度) 収入：会費25万、寄付金61万、受託事業469万 支出：計491万(人件費159万) | | |

| 施設名 | 茅野市民館 | 小美玉市四季文化館 | 大船渡市民文化会館 | 蓮田市総合文化会館 |
|-------|-----------------------|-------------------|------------------------|-----------|
| 愛称 | | みの～れ | リアスホール | ハストピア |
| 開館年 | 2005年 | 2002年 | 2008年 | 2016年 |
| 設置自治体 | 長野県茅野市 | 茨城県小美玉市 | 岩手県大船渡市 | 埼玉県蓮田市 |
| 人口 | 56,080人 | 50,940人 | 38,030人 | 62,280人 |
| 運営体制 | 指定管理者 | 直営 | 直営 | 直営 |
| 管理運営者 | 裾地域文化創造 | | | |
| ホール名 | マルチホール | 大ホール | 大ホール | どきどきホール |
| 席数 | 780席 コンサートホール 300席 | 600席 小ホール 300席 | 1,100席 マルチスペース 246席 | 634席 |

| 協働の在り方 | ホール事業への参画、サポート | 3ホール・事業への参画、住民主役 | 自主事業の企画・実施 | さくらホールが目標 |
|--------|--|--|--|--|
| 団体名 | NPO法人サポートC | みの～れ支援隊 | 自主事業実行委員会 | ハストピアサポーターズ |
| 規模 | | 約200名 住民スタッフ 4,544人 | | 約30人 |
| 具体的な活動 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 美術サポーター 美術館企画展の受付・物品販売・ワークショップ 運営の補助 2. フロントスタッフ 受付（チケットもぎり、パンフレット配布）、会場案内等 3. ケータリングスタッフ 楽屋回りの飲食手配、セッティング、片付け 4. バックステージスタッフ 舞台機材の搬入搬出・舞台設営の補助 5. 駐車場スタッフ 6. 会報編集スタッフ 7. 事務局スタッフ 上記活動のサポート、受託事業の友の会事務局、チケット販売、DMの発送準備等 | <ol style="list-style-type: none"> 1. サポート部隊 ・公演スタッフ 2. 広報部門 ・みのんば編集局 ・art minole 3. 舞台技術部門 ・Staff Egg 4. 文化育成部門 ・ミュージカル劇団 ・楽団四季 ・ワークショップ「リター」 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 自主事業の企画運営 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ホール運営グループ：公演・イベント時の受付・もぎり・会場案内など 2. 舞台技術グループ：公演・イベント時の舞台運営補助など 3. 事業企画グループ：サポーターによる公演・イベントにおける内容の検討、出演者の交渉、チラシ・ポスターの作成など 4. 情報発信グループ：ハストピアの公演・イベントなどの情報発信：市内文化活動の情報収集・発信など |
| 活動資金 | | | | |

◇自主文化事業収支について(平成25年度実績)

財政力指数が佐伯市と比較して前年0.01の相にある文化施設の自主事業実施状況を、「平成25年度自主文化事業実施状況調査」(公社全国公立文化施設協会 自主文化事業委員会)より抜粋した。

| No. | 都道府県名 | 市町村名 | 人口 (平成27年) | 財政力指数 | 施設名 | 座席数 | | 鑑賞型 | | | | 普及型・育成型 | | | | 参加創造型 | | | | 合計 | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------------------|-------|-----------------|--------|------|-----|------|------------|----------|---------------|-----|------|------------|----------|---------------|-----|------|------------|----------|---------------|-------|--------|--------|--------|-------|
| | | | | | | 1 | 2 | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入額(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入額(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入額(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金助成金収入額(千円) | | | | | |
| 1 | 北海道 | 根室市 | 28,050 | 0.31 | 根室市総合文化会館 | 1,026席 | 353席 | 4 | 5 | 9,125 | 14,882 | 603 | | | | | | | | | 4 | 5 | 9,125 | 14,882 | 603 | | |
| 2 | 北海道 | 砂川市 | 18,112 | 0.30 | 砂川市地域交流センター(ゆう) | 500席 | 100席 | 6 | 6 | 2,660 | 4,425 | 620 | 3 | 3 | 24 | 338 | 0 | 8 | 9 | 690 | 3,547 | 1,050 | 17 | 18 | 3,374 | 8,310 | 1,670 |
| 3 | 宮城県 | 栗原市 | 72,721 | 0.32 | 栗原文化会館 アトリオプラザ | 1,000席 | | 1 | 2 | 5,045 | 8,925 | 0 | | | | | | | | | | 1 | 2 | 5,045 | 8,925 | 0 | |
| 4 | 宮城県 | 加美町 | 24,335 (平成28年) | 0.32 | 加美町小野田文化施設 | 450席 | | 1 | 1 | 163 | 413 | 0 | 1 | 1 | 83 | 450 | 0 | 2 | 31 | 613 | 3,123 | 0 | 4 | 33 | 859 | 3,986 | 0 |
| 5 | 山形県 | 庄内町 | 22,358 | 0.30 | 庄内町文化創造館(響ホール) | 504席 | 205席 | 6 | 7 | 5,232 | 11,192 | 0 | | | | | | 2 | 2 | 1,209 | 4,359 | 0 | 8 | 9 | 6,441 | 15,541 | 0 |
| 6 | 福島県 | 田村市 | 38,484 | 0.31 | 田村市文化センター | 800席 | | 2 | 3 | 5,083 | 11,169 | 0 | | | | | | | | | | 2 | 3 | 5,083 | 11,169 | 0 | |
| 7 | 新潟県 | 魚沼市 | 38,914 | 0.30 | 魚沼沼市民会館 | 1,268席 | 350席 | 14 | 14 | 14,694 | 14,335 | 3,000 | 1 | 2 | 1,150 | 1,150 | 0 | 5 | 118 | 68 | 396 | 0 | 20 | 134 | 15,912 | 15,881 | 3,000 |
| 8 | 長野県 | 飯山市 | 22,764 | 0.32 | 飯山市民会館(かまくらホール) | 620席 | | | | | | 0 | 1 | 1 | 773 | 1,566 | 0 | | | | | 1 | 1 | 773 | 1,566 | 0 | |
| 9 | 岐阜県 | 飛騨市 | 25,903 | 0.32 | 飛騨市文化交流センター | 718席 | 105席 | 12 | 21 | 13,060 | 27,398 | 2,508 | 1 | 3 | 483 | 1,549 | 0 | 3 | 3 | 346 | 1,038 | 0 | 16 | 27 | 13,889 | 29,985 | 2,508 |
| 10 | 京都府 | 京丹後市 | 58,514 | 0.31 | 京丹後市文化会館 | 658席 | | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1,276 | 3,658 | 996 | | | | | | 3 | 3 | 1,276 | 3,658 | 996 |
| 11 | 岡山県 | 真庭市 | 48,544 | 0.31 | 真庭市文化センター | 700席 | | 2 | 2 | 2,444 | 5,025 | 0 | 2 | 2 | 0 | 680 | 0 | | | | | | 4 | 4 | 2,444 | 5,705 | 0 |
| 12 | 広島県 | 大崎上島町 | 8,037 | 0.31 | 大崎上島文化センター | 366席 | | | | | | 1 | 1 | 63 | 148 | 85 | | | | | | | 1 | 1 | 63 | 148 | 85 |
| 13 | 宮崎県 | えびの市 | 21,031 | 0.32 | えびの市文化センター | 533席 | | 2 | 2 | 620 | 3,316 | 0 | | | | | | 6 | 84 | 780 | 3,623 | 0 | 8 | 88 | 1,400 | 6,939 | 0 |
| 14 | 鹿児島県 | さつま町 | 21,827 (平成28年) | 0.31 | 雪之城文化センター | 685席 | | | | | | 1 | 6 | 0 | 509 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 347 | 0 | 2 | 11 | 0 | 856 | 0 |
| 平均 | | | | | | | | 5 | 6 | 5,284 | 9,188 | 612 | 1 | 2 | 428 | 1,116 | 120 | 4 | 36 | 529 | 2,348 | 150 | 7 | 24 | 4,692 | 9,111 | 633 |
| 全国平均 | | | | | | | | 8 | 13 | 15,227 | 25,588 | - | 6 | 19 | 885 | 3,748 | - | 5 | 31 | 1,231 | 4,847 | - | 19 | 63 | 17,343 | 34,163 | - |
| 九州地区平均 | | | | | | | | 6 | 8 | 9,271 | 16,412 | - | 5 | 16 | 531 | 3,448 | - | 4 | 27 | 680 | 3,954 | - | 14 | 51 | 10,482 | 23,814 | - |
| 大分県平均 | | | | | | | | 3 | 3 | 5,887 | 9,539 | - | 3 | 6 | 497 | 2,401 | - | 3 | 8 | 359 | 3,192 | - | 8 | 17 | 6,443 | 15,132 | - |

◇自主文化事業収支について(平成25年度実績)

人口規模が5万人から7万5千人の市で、座席数が1,200席以下の文化施設の自主事業実施状況を、「平成25年度自主文化事業実施状況調査(公社)全国公立文化施設協会 自主文化事業委員会」より抜粋した。

| No. | 都道府県名 | 市町村名 | 人口 (平成27年) | 財政力指数 | 施設名 | 座席数 | | 鑑賞型 | | | | | | 普及型・育成型 | | | | | | 参加創造型 | | | | | | 合計 | | | | | |
|-----|-------|-------|---------------|-------|-----------------|-------|------|-----|------|------------|----------|---------------|-----|---------|------------|----------|---------------|-----|-------|------------|----------|---------------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-----|
| | | | | | | 1 | 2 | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入額(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入額(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入額(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金助成金収入額(千円) | | | | | | | | | |
| 1 | 北海道 | 恵庭 | 68,956 | 0.56 | 恵庭市民会館 | 822席 | 500席 | 2 | 2 | 1,605 | 6,685 | 2,000 | 1 | 1 | 359 | 2,666 | 1,500 | 3 | 3 | 1,984 | 9,351 | 3,500 | | | | | | | | | |
| 2 | 青森県 | 十和田 | 64,041 | 0.39 | 十和田市民文化センター | 989席 | 304席 | 1 | 1 | 92 | 275 | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 7 | 7 | 92 | 275 | 0 | | | | | | | | | |
| 3 | 青森県 | むつ | 61,588 | 0.38 | 下北文化会館 | 1100席 | | 4 | 4 | 2,391 | 4,618 | 273 | 6 | 6 | 60 | 426 | 0 | 10 | 10 | 2,451 | 5,044 | 273 | | | | | | | | | |
| 4 | 宮城県 | 栗原 | 72,721 | 0.32 | 栗原文化会館 | 1006席 | | 1 | 2 | 5,045 | 8,925 | 0 | | | | | 1 | 2 | 5,045 | 8,925 | 0 | | | | | | | | | | |
| 5 | 宮城県 | 多賀城 | 62,437 | 0.67 | 多賀城市民会館 | 1120席 | 458席 | 6 | 6 | 2,067 | 3,602 | 0 | 1 | 5 | 57 | 881 | 26 | 3 | 3 | 7 | 12 | 0 | | | | | | | | | |
| 6 | 山形県 | 天童 | 62,171 | 0.63 | 天童市民文化会館 | 1200席 | 300席 | 5 | 5 | 5,762 | 8,691 | 7,000 | 3 | 3 | 892 | 1,553 | 300 | 2 | 2 | 0 | 0 | 140 | 10 | 10 | 6,654 | 10,244 | 7,440 | | | | |
| 7 | 福島県 | 南相馬 | 64,539 | 0.57 | 南相馬市民文化会館 | 1109席 | | 15 | 17 | 23,261 | 41,711 | 3,742 | 1 | 3 | 0 | 619 | 0 | 0 | 19 | 25 | 23,466 | 43,705 | 3,742 | | | | | | | | |
| 8 | 栃木県 | 大田原 | 73,284 | 0.65 | 那須野が原ハートホール | 1194席 | 399席 | 31 | 31 | 23,691 | 50,789 | 0 | 7 | 213 | 1,648 | 14,189 | 0 | 9 | 10 | 513 | 314 | 0 | 47 | 254 | 25,852 | 65,282 | 0 | | | | |
| 9 | 栃木県 | 下野 | 60,235 | 0.60 | グリアムの館 | 300席 | | 3 | 3 | 695 | 1,557 | 0 | 3 | 4 | 0 | 959 | 0 | 2 | 2 | 0 | 313 | 0 | 8 | 9 | 695 | 2,829 | 0 | | | | |
| 10 | 群馬県 | 藤岡 | 67,938 | 0.63 | 藤岡市かほみらい館 | 1100席 | 406席 | 16 | 16 | 23,417 | 28,655 | 0 | 7 | 7 | 0 | 1,292 | 0 | 4 | 4 | 0 | 202 | 0 | 27 | 27 | 23,417 | 30,149 | 0 | | | | |
| 11 | 埼玉県 | 志木 | 73,443 | 0.84 | 志木市民会館 | 780席 | | 8 | 8 | 1,057 | 2,223 | 0 | | | | | 3 | 3 | 0 | 575 | 0 | 11 | 11 | 1,057 | 2,798 | 0 | | | | | |
| 12 | 埼玉県 | 蕨 | 72,317 | 0.84 | 蕨市民会館 | 706席 | | 1 | 1 | 140 | 1,974 | 0 | | | | | 3 | 3 | 873 | 2,175 | 0 | 5 | 5 | 0 | 1,036 | 0 | 8 | 8 | 873 | 3,211 | 0 |
| 13 | 埼玉県 | 北本 | 68,657 | 0.78 | 北本市文化センター | 726席 | | 18 | 18 | 8,031 | 14,952 | 0 | | | | | | | | | | 18 | 18 | 8,031 | 14,952 | 0 | | | | | |
| 14 | 千葉県 | 旭 | 68,020 | 0.50 | 千葉県東総文化会館 | 900席 | 302席 | 9 | 9 | 7,501 | 7,083 | 0 | 6 | 6 | 0 | 65 | 0 | 11 | 32 | 1,272 | 2,643 | 0 | 26 | 47 | 8,773 | 9,771 | 0 | | | | |
| 15 | 千葉県 | 白井 | 62,761 | 0.88 | 白井市民文化会館 | 802席 | 250席 | 5 | 5 | 481 | 4,006 | 0 | 1 | 1 | 0 | 7 | 0 | | | | | 6 | 6 | 481 | 4,013 | 0 | | | | | |
| 16 | 東京都 | 武蔵村山 | 72,092 | 0.80 | 武蔵村山市民会館 | 1020席 | 258席 | 22 | 22 | 21,400 | 35,632 | 2,850 | 3 | 3 | 300 | 1,134 | 0 | 5 | 323 | 6,724 | 6,396 | 0 | 30 | 348 | 28,424 | 43,162 | 2,850 | | | | |
| 17 | 新潟県 | 村上 | 64,617 | 0.38 | 村上市民文化会館 | 600席 | | 1 | 1 | 140 | 1,974 | 0 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 140 | 1,974 | 0 | | | | | |
| 18 | 新潟県 | 村上 | 64,617 | 0.38 | 村上市民ふれあいセンター | 1000席 | | 10 | 10 | 46 | 637 | 0 | 1 | 1 | 0 | 36 | 0 | 3 | 3 | 0 | 39 | 0 | 14 | 14 | 46 | 712 | 0 | | | | |
| 19 | 福井県 | 鯖江 | 68,963 | 0.66 | 鯖江市文化センター | 1020席 | | 7 | 8 | 8,822 | 12,525 | 0 | 5 | 30 | 148 | 2,479 | 0 | 2 | 55 | 0 | 5,340 | 285 | 14 | 83 | 8,970 | 20,344 | 285 | | | | |
| 20 | 山梨県 | 甲斐 | 74,811 | 0.68 | 甲斐市双葉ふれあい文化館 | 506席 | | 5 | 5 | 5,419 | 11,548 | 0 | 5 | 6 | 299 | 568 | 0 | 4 | 6 | 0 | 608 | 0 | 14 | 17 | 5,718 | 12,724 | 0 | | | | |
| 21 | 山梨県 | 南アルプス | 72,900 | 0.57 | 穂積文化会館 | 758席 | | 4 | 4 | 4,202 | 6,968 | 0 | 4 | 4 | 60 | 817 | 0 | | | | | 8 | 8 | 4,262 | 7,785 | 0 | | | | | |
| 22 | 静岡県 | 伊東 | 72,194 | 0.77 | 伊東市観光会館 | 1007席 | | 4 | 4 | 4,057 | 7,670 | 0 | | | | | | | | | | 4 | 4 | 4,057 | 7,670 | 0 | | | | | |
| 23 | 静岡県 | 湖西 | 61,195 | 0.97 | 湖西市市民会館 | 992席 | | 2 | 2 | 838 | 1,871 | 0 | | | | | | | | | | 2 | 2 | 838 | 1,871 | 0 | | | | | |
| 24 | 愛知県 | 知立 | 70,585 | 0.97 | 知立市民文化会館 | 1004席 | 293席 | 15 | 26 | 23,047 | 42,246 | 3,820 | 12 | 87 | 683 | 13,572 | 5,406 | 3 | 44 | 680 | 9,908 | 8,490 | 30 | 157 | 24,410 | 63,726 | 17,716 | | | | |
| 25 | 愛知県 | 豊明 | 68,530 | 0.90 | 豊明市民文化会館 | 818席 | 304席 | 1 | 1 | 1,764 | 4,973 | 0 | 6 | 6 | 4,301 | 9,537 | 0 | 2 | 5 | 14 | 3,023 | 0 | 9 | 12 | 6,079 | 17,533 | 0 | | | | |
| 26 | 滋賀県 | 栗東 | 67,284 | 0.97 | 栗東芸術文化会館 | 810席 | 406席 | 8 | 10 | 11,977 | 14,174 | 0 | 5 | 15 | 452 | 3,128 | 931 | 9 | 129 | 17,394 | 34,008 | 9,366 | 22 | 154 | 29,823 | 51,310 | 10,297 | | | | |
| 27 | 兵庫県 | 丹波 | 67,551 | 0.44 | 丹波の森公苑ホール | 705席 | | 2 | 27 | 4,070 | 6,257 | 1,300 | 1 | 4 | 116 | 434 | 0 | 1 | 16 | 432 | 1,171 | 0 | 4 | 47 | 4,618 | 7,882 | 1,300 | | | | |
| 28 | 奈良県 | 大和郡 | 68,139 | 0.47 | 大和郡市民文化会館 | 1040席 | 238席 | 16 | 17 | 5,150 | 11,717 | 900 | | | | | | | | | | 3 | 3 | 0 | 150 | 0 | 19 | 20 | 5,150 | 11,867 | 900 |
| 29 | 和歌山県 | 橋本 | 65,664 | 0.48 | 橋本市産業文化会館 | 684席 | | 2 | 2 | 419 | 1,401 | 0 | 2 | 7 | 186 | 487 | 0 | 3 | 8 | 141 | 788 | 0 | 7 | 17 | 746 | 2,688 | 0 | | | | |
| 30 | 熊本県 | 玉名 | 68,517 | 0.43 | 玉名市民会館 | 814席 | | 1 | 1 | 458 | 487 | 0 | | | | | | | | | | 1 | 1 | 622 | 426 | 0 | 2 | 2 | 1,080 | 913 | 0 |
| 31 | 熊本県 | 宇城 | 61,452 | 0.40 | 宇城市松尾総合体育文化センター | 800席 | 252席 | 4 | 4 | 2,528 | 2,435 | 0 | 2 | 2 | 0 | 250 | 0 | 3 | 3 | 133 | 676 | 0 | 9 | 9 | 2,661 | 3,361 | 0 | | | | |
| 32 | 大分県 | 日田 | 68,444 | 0.40 | 日田市民文化会館 | 1003席 | 351席 | 11 | 11 | 13,367 | 31,786 | 0 | 3 | 4 | 13 | 642 | 0 | 4 | 5 | 26 | 6,084 | 0 | 18 | 20 | 13,408 | 36,492 | 0 | | | | |
| 33 | 沖縄県 | 名護 | 62,081 | 0.40 | 名護市民会館 | 1075席 | 340席 | | | | | | 21 | 21 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 760 | 5,450 | 2,600 | 15 | 25 | 760 | 5,450 | 2,600 | | | |
| | | | | | | 平均 | | | | | | 706 | 5 | 18 | 415 | 2,917 | 327 | 4 | 29 | 1,258 | 3,500 | 908 | 4 | 42 | 7,642 | 15,680 | 1,543 | | | | |

◇自主文化事業収支について(平成25年度実績)

自主事業の総支出額が2,700万円～3,300万円の文化施設の自主事業実施状況を「平成25年度自主文化事業実施状況調査(公社)全国公立文化施設協会 自主文化事業委員会」より抜粋した。

| No. | 都道府県名 | 市町村名 | 人口 (平成27年) | 施設名 | 座席数 | | 鑑賞型 | | | | | | 普及啓発・育成型 | | | | | | 参加創造型 | | | | | | 合計 | | |
|-----|-------|------|---------------|-------------------|-------|------|-----|-----|--------|-----------|----------|----------------|----------|-------|-----------|----------|----------------|--------|-------|-----------|----------|----------------|--------|--------|-----------|----------|----------------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金・助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金・助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金・助成金収入額(千円) | 事業数 | 実施回数 | 入場料収入(千円) | 総支出額(千円) | 協賛金・助成金収入額(千円) |
| 1 | 福島 | 南会津 | 16,500 | 御城入交流館南会津町文化ホール | 804席 | | 4 | 4 | 9,040 | 20,970 | 1,060 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 | 537 | 12,146 | 0 | 7 | 8 | 9,577 | 33,116 | 1,060 | | | |
| 2 | 宮山 | 黒部 | 41,800 | 黒部市国際交流センター | 886席 | 200席 | 9 | 17 | 10,636 | 27,685 | 1,450 | 3 | 4 | 189 | 636 | 4,520 | 0 | 16 | 210 | 11,332 | 32,832 | 1,450 | | | | | |
| 3 | 奈良 | 奈良 | 366,600 | なら100美術館 | 1720席 | 440席 | 6 | 6 | 10,483 | 14,893 | 0 | 8 | 8 | 1,803 | 8,899 | 1,900 | 8 | 8 | 2,340 | 8,708 | 1,900 | 22 | 22 | 14,626 | 32,500 | 3,400 | |
| 4 | 新潟 | 新潟 | 275,500 | 長岡市立劇場 | 1500席 | 200席 | 6 | 6 | 15,394 | 23,286 | 400 | 2 | 5 | 0 | 9,192 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 | 11 | 15,394 | 32,456 | 400 | | |
| 5 | 宮城 | 大河原 | 23,600 | 仙南芸術文化センター | 806席 | 300席 | 7 | 9 | 7,809 | 21,969 | 8,071 | 2 | 3 | 0 | 2,928 | 1,773 | 3 | 6 | 2,412 | 7,536 | 2,050 | 12 | 18 | 10,221 | 32,433 | 11,894 | |
| 6 | 埼玉 | 草加 | 245,900 | 草加市文化会館 | 1198席 | | 15 | 19 | 2,837 | 20,362 | 0 | 9 | 31 | 490 | 1,817 | 0 | 7 | 64 | 708 | 9,992 | 0 | 31 | 134 | 4,135 | 32,171 | 0 | |
| 7 | 静岡 | 焼津 | 142,500 | 焼津市大井川文化会館 | 1064席 | | 14 | 17 | 21,920 | 26,531 | 0 | 11 | 16 | 216 | 3,579 | 0 | 4 | 23 | 1,614 | 1,852 | 0 | 29 | 56 | 23,750 | 31,775 | 2,850 | |
| 8 | 埼玉 | 熊谷 | 200,400 | 熊谷文化創造館 | 1004席 | 250席 | 9 | 9 | 16,632 | 30,558 | 0 | 4 | 4 | 142 | 734 | 0 | 2 | 6 | 0 | 489 | 0 | 15 | 19 | 16,774 | 31,791 | 0 | |
| 9 | 東京 | 西東京 | 199,000 | 西東京市保谷こもれびホール | 662席 | 250席 | 18 | 19 | 13,848 | 28,911 | 2,850 | 21 | 23 | 329 | 2,804 | 0 | 17 | 54 | 1,174 | 2,080 | 0 | 56 | 96 | 15,351 | 31,775 | 2,850 | |
| 10 | 岩手 | 盛岡 | 297,700 | 盛岡市市民文化ホール | 1516席 | 356席 | 11 | 11 | 21,714 | 28,688 | 200 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 14 | 200 | 2,079 | 0 | 25 | 25 | 21,914 | 31,767 | 200 | |
| 11 | 高山 | 砺波 | 49,100 | 砺波市文化会館 | 1207席 | | 4 | 9 | 14,653 | 19,194 | 0 | 3 | 4 | 1,547 | 2,229 | 524 | 4 | 43 | 3,320 | 10,236 | 1,760 | 11 | 56 | 19,520 | 31,659 | 2,284 | |
| 12 | 福島 | 常陸大宮 | 42,600 | 常陸大宮市文化センター | 1010席 | 284席 | 13 | 13 | 25,232 | 31,436 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 29 | 166 | 0 | 14 | 14 | 25,261 | 31,602 | 0 | |
| 13 | 大阪 | 堺 | 838,500 | 堺市長会館(併設) | 1395席 | 256席 | 10 | 10 | 24,514 | 29,938 | 0 | 1 | 1 | 0 | 150 | 0 | 1 | 1 | 780 | 1,487 | 0 | 12 | 12 | 25,294 | 31,575 | 0 | |
| 14 | 広島 | 三原 | 97,800 | 三原市芸術文化センター | 1228席 | | 8 | 11 | 22,392 | 29,538 | 4,294 | 5 | 7 | 385 | 1,841 | 0 | 2 | 2 | 177 | 171 | 0 | 15 | 20 | 22,994 | 31,559 | 4,294 | |
| 15 | 栃木 | 佐野 | 121,200 | 佐野市文化会館 | 1216席 | 300席 | 5 | 6 | 16,838 | 17,104 | 0 | 6 | 11 | 7,871 | 12,813 | 0 | 3 | 3 | 1,608 | 1,242 | 0 | 14 | 20 | 26,317 | 31,159 | 0 | |
| 16 | 長野 | 駒ヶ根 | 32,300 | 駒ヶ根市文化会館 | 986席 | 300席 | 17 | 17 | 18,564 | 30,289 | 80 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 7 | 0 | 820 | 0 | 23 | 27 | 18,564 | 31,089 | 80 | |
| 17 | 岩手 | 一関 | 121,600 | 一関市文化センター | 1217席 | 472席 | 9 | 9 | 17,818 | 28,397 | 0 | 2 | 3 | 742 | 1,653 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 | 12 | 18,560 | 30,980 | 0 | |
| 18 | 東京 | 足立区 | 678,600 | 西新井文化ホール | 908席 | | 19 | 21 | 29,159 | 27,273 | 285 | 9 | 16 | 540 | 1,222 | 0 | 13 | 13 | 236 | 1,968 | 0 | 41 | 50 | 29,935 | 30,453 | 285 | |
| 19 | 群馬 | 群馬 | 67,300 | 群馬みかほらい館 | 1100席 | 400席 | 16 | 16 | 23,417 | 26,655 | 0 | 7 | 7 | 0 | 1,292 | 0 | 4 | 4 | 0 | 202 | 0 | 27 | 27 | 23,417 | 30,149 | 0 | |
| 20 | 青森 | 青森 | 293,900 | 青森市文化会館 | 2031席 | | 5 | 5 | 19,976 | 29,912 | 0 | 3 | 13 | 66 | 153 | 0 | 1 | 1 | 0 | 26 | 0 | 9 | 19 | 20,042 | 30,091 | 0 | |
| 21 | 岐阜 | 飛騨 | 25,300 | 飛騨市文化交流センター | 718席 | 105席 | 12 | 21 | 13,060 | 27,398 | 2,508 | 1 | 3 | 483 | 1,549 | 0 | 3 | 3 | 346 | 1,038 | 0 | 16 | 27 | 13,889 | 29,985 | 2,508 | |
| 22 | 福岡 | 那珂川 | 50,200 | ミヅカローデン那珂川 | 832席 | | 10 | 15 | 7,952 | 23,891 | 0 | 16 | 32 | 26 | 5,330 | 0 | 4 | 7 | 32 | 654 | 0 | 30 | 54 | 8,010 | 28,875 | 0 | |
| 23 | 福岡 | 大野城 | 106,700 | 大野城まどかひび | 992席 | 118席 | 8 | 46 | 12,369 | 16,821 | 0 | 15 | 64 | 808 | 5,341 | 0 | 12 | 34 | 2,672 | 7,639 | 0 | 35 | 144 | 15,849 | 28,801 | 0 | |
| 24 | 岩手 | 久慈 | 35,140 | 久慈市文化会館(アソビホール) | 1178席 | 351席 | 5 | 9 | 2,723 | 6,480 | 1,800 | 2 | 5 | 93 | 1,537 | 732 | 9 | 59 | 1,539 | 21,485 | 5,000 | 16 | 73 | 4,355 | 28,502 | 7,632 | |
| 25 | 兵庫 | 姫路 | 31,700 | 姫路市文化ホール | 423席 | 800席 | 7 | 7 | 7,598 | 21,006 | 0 | 2 | 2 | 319 | 4,762 | 4,090 | 1 | 1 | 416 | 2,942 | 2,526 | 10 | 10 | 8,333 | 28,710 | 6,616 | |
| 26 | 大阪 | 摂津 | 85,100 | 摂津市長文化ホール | 536席 | | 5 | 5 | 5,899 | 15,271 | 1,200 | 2 | 6 | 44 | 130 | 0 | 6 | 10 | 4,055 | 13,154 | 0 | 13 | 21 | 9,998 | 28,555 | 1,200 | |
| 27 | 茨城 | 龍ヶ崎 | 78,800 | 龍ヶ崎市文化会館 | 1203席 | 250席 | 13 | 16 | 25,173 | 25,554 | 0 | 3 | 8 | 0 | 2,235 | 7,500 | 10 | 44 | 54 | 677 | 0 | 26 | 68 | 25,227 | 28,466 | 7,500 | |
| 28 | 青森 | 八戸 | 234,900 | 八戸市公会堂 | 1624席 | 492席 | 9 | 12 | 22,960 | 23,779 | 0 | 8 | 14 | 439 | 3,380 | 0 | 4 | 5 | 261 | 1,156 | 0 | 21 | 31 | 23,660 | 28,315 | 0 | |
| 29 | 大阪 | 貝塚 | 88,700 | 貝塚市長文化会館(コスモシアター) | 1224席 | 483席 | 6 | 8 | 12,677 | 15,947 | 15,108 | 12 | 36 | 1,546 | 4,942 | 0 | 6 | 67 | 1,133 | 7,378 | 800 | 24 | 111 | 15,356 | 28,267 | 15,908 | |
| 30 | 新潟 | 妙高 | 33,700 | 妙高市文化ホール | 1018席 | | 3 | 4 | 2,360 | 16,730 | 0 | 4 | 14 | 228 | 4,751 | 0 | 8 | 144 | 455 | 6,504 | 0 | 15 | 162 | 3,043 | 27,985 | 0 | |
| 31 | 千葉 | 館山 | 47,300 | 千葉県総合文化ホール | 1200席 | 300席 | 13 | 18 | 19,553 | 21,957 | 0 | 4 | 6 | 0 | 485 | 0 | 9 | 106 | 322 | 5,509 | 0 | 26 | 130 | 19,875 | 27,961 | 0 | |
| 32 | 福岡 | 岡垣 | 32,200 | 岡垣サンアリーアイ | 601席 | 151席 | 14 | 17 | 8,050 | 17,902 | 0 | 12 | 16 | 706 | 4,701 | 0 | 7 | 62 | 328 | 5,301 | 0 | 33 | 95 | 9,084 | 27,904 | 0 | |
| 33 | 北海道 | 函館 | 271,100 | 函館市長会館 | 1370席 | 500席 | 6 | 6 | 14,702 | 21,774 | 4,350 | 1 | 5 | 0 | 271 | 0 | 4 | 127 | 986 | 5,825 | 2,895 | 11 | 138 | 15,688 | 27,870 | 7,245 | |
| 34 | 山梨 | 都留 | 31,200 | 都の杜くいきすホール | 838席 | 304席 | 5 | 7 | 11,189 | 15,192 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 | 6,231 | 11,850 | 800 | 7 | 13 | 17,420 | 27,042 | 800 | |
| | | | | | 平均 | | 9 | 13 | 14,978 | 23,093 | 1,287 | 5 | 11 | 555 | 2,687 | 486 | 5 | 33 | 1,018 | 4,612 | 510 | 20 | 57 | 16,551 | 30,392 | 2,283 | |

◇主な事業助成金一覧

【文化庁】

| 事業 | 概要 | 平成 28 年度実績 | |
|-----------------------|---|------------|--------------|
| | | 件数 | 採択 合計額 |
| 劇場・音楽堂等活性化事業 | 我が国の文化拠点である劇場・音楽堂等が行う実演芸術のための創造発信や、専門的人材の養成、普及啓発、劇場・音楽堂等間のネットワーク構築を支援すること等により、劇場・音楽堂等の活性化を図るとともに、地域コミュニティの創造と再生を推進することを目的とする。 | | |
| 特別支援事業 | 我が国のトップレベルの劇場・音楽堂等が行う実演芸術の創造発信や人材養成事業等を総合的に支援する。 | 15 件 | 2,864 百万円 |
| 共同制作支援事業 | 複数の劇場・音楽堂等が実演芸術団体と共同で行う実演芸術の新たな創作活動に対し支援する。 | 3 件 | |
| 活動別支援事業 | 地域のリーダー的役割を担う劇場・音楽堂等の創造発信や人材養成事業、普及啓発事業を活動単位で支援する。 | 99 件 | |
| 劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業 | 劇場・音楽堂等間の連携を促進し、国民が居住する地域に関らず実演芸術を鑑賞できるよう、巡回公演を支援する。 | 65 件 | |
| 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 | 地方公共団体が実施する、地域の文化資源等を活用した計画的な文化芸術活動や、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据えた文化事業、訪日外国人が鑑賞・体験できる事業を支援し、文化芸術による地域活性化、地域文化の国際発信、文化芸術によるインハウンドの増加を推進することを目的とする。 | 136 件 | 2,639 百万円 |
| 文化芸術地域活性化事業 | 地域の様々な魅力ある文化芸術を再生又は創生し発展させる取組や、大学との連携による文化芸術の創造発展につながる取組をはじめ、地域の文化芸術の担い手の育成につながる取組を支援する。 | | |

| | | | |
|---------------|---|--|--|
| 創造都市事業 | <p>文化芸術の持つ創造性を地域振興、観光・産業振興等に活用し、地域課題の解決に取り組む「文化芸術創造都市」としての取組を支援する。</p> <p>※応募できる地方公共団体は、以下のいずれかを満たす地方公共団体に限られる。</p> <p>①国際連合教育科学文化機関（UNESCO）の創造都市ネットワークに加盟している地方公共団体</p> <p>②創造都市ネットワーク日本（CCNJ）に加盟している地方公共団体</p> <p>③文化芸術創造都市部門で、文化庁長官表彰を受けた地方公共団体</p> <p>④東アジア文化都市に採択された地方公共団体</p> | | |
| 訪日外国人対応事業 | <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据えた文化事業として、多言語対応等により日本人以外の訪日外国人による鑑賞・体験を強く意識した、外国人にとって魅力的な文化事業を支援する。</p> | | |
| 新国立劇場との連携公演事業 | <p>新国立劇場が制作する、世界水準の公演の鑑賞事業や、新国立劇場において地域のプロの芸術団体が行う公演を支援する。</p> | | |
| 文化の力による心の復興事業 | <p>東日本大震災の被災地における、実演芸術の鑑賞等を通じた心の安らぎと活力の向上を図る取組を支援する。</p> <p>※ 応募できる地方公共団体は、北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、新潟県、長野県の11道県「特定被災地方公共団体」又は「特定被災区域」の指定を受けた市町村に限られる</p> | | |

【一般財団法人 地域創造】

| 事業 | 概要 | 平成 27 年度実績 |
|-------------------------|---|--|
| 公共ホール音楽活性化事業 | 新進演奏家を公共ホールに派遣し、対象団体と共催でクラシック音楽のコンサートと地域交流プログラムを実施する。 | 17 地域 |
| 公共ホール音楽活性化支援事業 | 公共ホール音楽活性化事業を実施した団体を対象としたフォローアップ事業で、対象団体が、同事業で蓄積したノウハウを活用し、登録アーティストとして実績のある演奏家を招いて、クラシックコンサート及び地域との交流を図るアクティビティを自主的に企画・実施する事業に財政的支援を行う。 | 21 か所 |
| 公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 | 都道府県との共催により研修会や域内市町村でのアウトリーチ、コンサートなどの事業を実施することで、アウトリーチの手法およびアウトリーチによる事業展開の普及を目指す。 | 毎年 1 都道府県 (その中で 6 地域) |
| 公共ホール現代ダンス活性化事業 | コンテンポラリーダンスのアーティスト（登録アーティスト）を公共ホールに派遣し、公共ホールと共同で地域交流プログラム（アウトリーチ・公募のワークショップ）又は公演などを企画、実施する。 | 9 団体 |
| 公共ホール現代ダンス活性化支援事業 | 公共ホール現代ダンス活性化事業を実施した団体を対象としたフォローアップ事業で、対象団体が、同事業で蓄積したノウハウを活用し、登録アーティストとして実績のあるアーティストを招いて、コンテンポラリーダンス公演と地域交流プログラム（アウトリーチと公募のワークショップ）を自主的に企画・実施する事業に財政的支援を行う。 | 2 団体 |
| 公共ホール演劇ネットワーク事業 | 地域創造と複数の公共ホールの連携により、演劇公演と地域交流プログラムを実施する。 | 27 公演 一般 ワークショップ 9 回 (平成 26 年度実績) |
| 邦楽地域活性化事業 | 地域創造の推薦する邦楽演奏家から都道府県・政令指定都市が主体となって参加演奏家を選定し、専門家のサポートの下、市町村のホール等と連携して、学校アウトリーチやワークショップ、コンサート等を実施する。 | 毎年 1 主催団体 (その中で 3 地域) |

| | | |
|----------------|--|------------------------|
| 地域の文化・芸術活動助成事業 | 地方公共団体等が、地域において自主的に実施する文化・芸術活動に対して助成が行われる。 | 166 事業 (平成 26 年度実績) |
| 地方フェスティバル事業 | 地域固有の伝統芸能等（伝統芸能、伝統技能、祭り、伝説、神話、民話、習俗等）を保存・継承するために、地方公共団体等が公立文化施設で実施する公演等を財政的に支援する。 | (記載なし) |
| 映像記録保存事業 | 各地域の失われつつあり、かつ、記録に残されていない地域固有の伝統芸能等（伝統芸能、伝統技能、祭り、伝説、神話、民話、習俗等）を映像に記録・保存する市区町村の事業を財政的に支援する。 | 9 市町村 (平成 26 年度実績) |
| 保存・継承活動支援事業 | 地域固有の伝統芸能等（伝統芸能、伝統技能、祭り、伝説、神話、民話、習俗等）の保存・継承のために活動している団体等に対して市区町村が実施している補助事業を、財政的に支援する。 | (記載なし) |

【独立行政法人 日本芸術文化振興会】

| 事業 | 概要 | 平成 26 年度実績 (基金全体) | |
|--|--|----------------------|------------|
| | | 交付件数 | 助成総額 |
| 芸術文化振興基金 (そのうちの「地域の文化振興を目的として行う活動」) | ① 文化会館、美術館等の地域の文化施設において行う公演、展示その他の活動 ② 歴史的集落・町並み、文化的景観のセミナー、資料収集・作成、普及啓発による保存・活用活動 ③ 民俗文化財の公開、広域的な交流、復活・復元による伝承、記録作成による保存活用等の活動 に対して助成する。 | 18,439 件 | 41,737 百万円 |

【一般財団法人 自治総合センター】

| 事業 | 概要 | 平成 27 年度実績 | |
|---------------------------------------|--|-----------------|--------------------|
| 宝くじ文化公演事業 | 地域の人々に上質な音楽、演劇及び文化に関する講演会等を提供し、明るいまちづくりなどコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する。 | | |
| 宝くじ文化公演 | コンサート、演劇、落語などの各種公演を行う。公演内容については、地方公共団体と自治総合センターとの協議により決定し、都道府県ごとに、同一公演を2箇所において開催する。 | 59 事業 118 団体 | |
| 宝くじふるさとワクワク劇場 | 落語、漫才、地元の方々も参加する舞台など、盛りだくさんのお笑いの公演を開催する。 | 9 県 9 団体 | |
| 宝くじまちの音楽会 | 複数のプログラムにより、地元合唱団等との共演コーナーを設けたコンサートを開催する。 | 17 道府県 17 団体 | |
| 宝くじおしゃべり音楽館 | 司会、ピアノ、歌、おしゃべり音楽館ポップスオーケストラの演奏により、愉快なお話を交え、映画音楽の名曲をお楽しみいただくコンサートを開催する。 | 9 都県 9 団体 | |
| コミュニティ助成事業 (そのうちの「地域の芸術環境づくり助成事業」) | 企画制作能力の向上及び公立文化施設の利活用の推進等を図るため、自ら企画・制作する音楽、演劇、ダンス、古典芸能、美術分野などの文化・芸術事業のうち、「地域交流プログラム」を伴うソフト事業を助成する。 | 86 団体 | 助成総額 242,500 千円 |

3. 組織計画

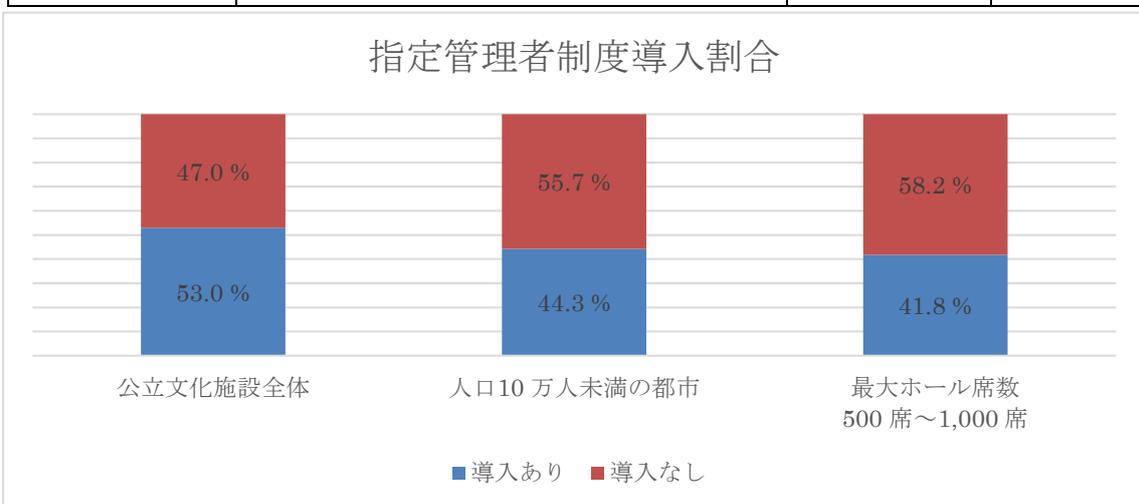
◇指定管理者制度導入状況

受益者が多いほど、施設が大きいほど、主催事業が多いほど、指定管理者制度が導入されている割合が高くなっている。

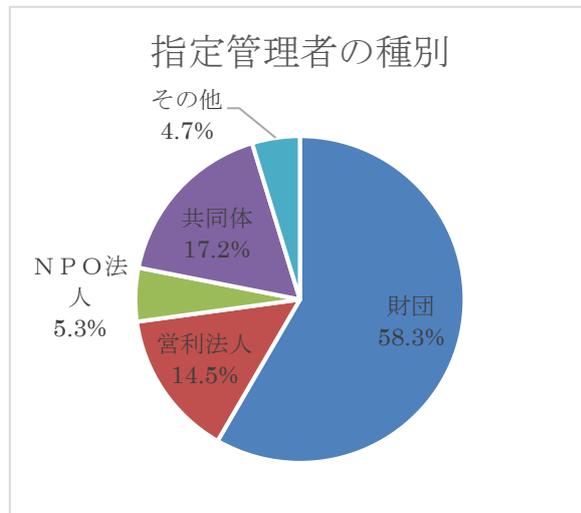
大規模施設の管理や事業企画には高い専門性が求められるため、そのノウハウを指定管理者に求めていることが推測される。

(表の数値は「平成 26 年度劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」より引用)

| | | 指定管理者制度導入の有無 | | |
|-----------------|-----------------|---------------|--------|--------|
| | | 導入あり | 導入なし | |
| 公立文化施設全体 | | 53.0 % | 47.0 % | |
| 設置主体別 | 都道府県 | 85.0 % | 15.0 % | |
| | 政令指定都市 | 84.5 % | 15.5 % | |
| | 市・特別区 | 30 万人以上 | 68.3 % | 31.7 % |
| | | 10 万人～30 万人未満 | 63.7 % | 36.3 % |
| | | 10 万人未満 | 44.3 % | 55.7 % |
| 町村等 | 18.7 % | 81.3 % | | |
| 最大ホール 席数別 | 1,000 席以上 | 73.8 % | 26.2 % | |
| | 500 席～1,000 席未満 | 41.8 % | 58.2 % | |
| | 500 席未満 | 46.9 % | 53.0 % | |
| 文化芸術系 主催事業実施 | 実施有無いずれかに「あり」 | 60.4 % | 39.6 % | |
| | 1～3 回 | 39.0 % | 61.0 % | |
| | 4～10 回 | 47.2 % | 52.8 % | |
| | 11～20 回 | 71.0 % | 29.0 % | |
| | 21 回以上 | 83.3 % | 16.7 % | |



| 【指定管理者の種別】 | 施設数 | 割合 |
|------------|-----|--------|
| 財団 | 411 | 58.4% |
| 営利法人 | 102 | 14.5% |
| NPO法人 | 37 | 5.3% |
| 共同体 | 121 | 17.2% |
| その他 | 33 | 4.7% |
| 計 | 704 | 100.0% |



◇管理運営主体の比較

直営・指定管理者それぞれの特徴をまとめると、以下のようになる。

(赤字が主な長所、青字が主な短所)

| 項目 | 指定管理者 | | 直営 | |
|------|-----------|---|--|---|
| | 民間 | 財団 | | |
| 経営視点 | 財源の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・提案時に指定期間を見通した予算計画を作っている ・多少の変更にも指定期間内は柔軟に対応できる ・長期的な予算計画を組むこともできる ・企業協賛や助成金等の確保に積極的に取り組める | <ul style="list-style-type: none"> ・単年度予算であるため、予算の柔軟な運用が出来ず、年度当初の催事開催には制限が生じやすい ・長期展望が図りにくい ・前年度実績を踏襲するため、予算減額の圧力が働く ・各種の補助金・寄付金等が受け入れやすい | |
| | コスト削減への意識 | <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的かつ効果的な事業展開、多様化する住民ニーズへの柔軟な対応、住民サービスの向上と経費削減等が期待できる ・施設利用の増加と運営コストの削減は指定管理者の収支に直結するため、経営意識を持った運営が必要となり、事業や運営における創意工夫が期待できる | <ul style="list-style-type: none"> ・努力して収入を増やしたり助成金を得ても、自治体の歳入になるだけで使える予算は変わらないため、コスト意識を保ちにくい | |
| | 経営層 | <ul style="list-style-type: none"> ・営利組織であるため、経営意識を持った運営が期待できる | <ul style="list-style-type: none"> ・自治体OB等がポストに就いた場合は、経営意識が薄く、施設運営に対する見識も浅い可能性がある | <ul style="list-style-type: none"> ・経営意識を持ちにくく、事業や運営の硬直化が懸念される |
| | 職員雇用・組織 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高いスタッフ雇用が可能なので、質の高い舞台芸術の展開、細やかなサービスが期待できる ・業務分担を組織内で柔軟に対応できる ・指定管理期間での施設運営となるため、長期ビジョンに対応した人員確保に課題がある | <ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高いスタッフ雇用が可能なので、質の高い舞台芸術の展開、細やかなサービスが期待できる ・業務分担が縦割りとなり、硬直化の可能性がある ・指定管理期間での施設運営となるため、長期ビジョンに対応した人員確保に課題がある | <ul style="list-style-type: none"> ・自治体職員は、異動によりノウハウが継承されにくい ・多くの職員は任期付採用や委託契約により配置 ・柔軟な組織とするため、自治体職員は必要最低限の配置となる ・業務分担が縦割りとなり、硬直化の可能性がある |

| | | | | |
|-----------|-----------|--|---|--|
| ネットワーク | 行政 | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の所管課が積極的にサポートしないと他分野との連携は図りにくい | | <ul style="list-style-type: none"> 自治体組織内での連携（教育、福祉、まちづくり等）ができる 住民、教育機関、企業メセナ等との協業が図りやすい |
| | 芸術 | <ul style="list-style-type: none"> 芸術監督、プロデューサー等の芸術専門家ポストを設置することで、招聘・出演交渉に必要な人脈等を確保しやすい | | <ul style="list-style-type: none"> 地域内各種団体との協業が図りやすい 慣習や減免制度等で特定団体が既得権化している場合は、制度移行の際に注意が必要となる |
| 公共性の担保 | | <ul style="list-style-type: none"> 最終的な権限は市に残すものの、使用許可判断を委ねられるため、多少公共性に不透明さが生じる恐れがある | <ul style="list-style-type: none"> 多少不透明さが生じる恐れがあるが、公共的団体として従前より運営しているため、信頼性は高い | <ul style="list-style-type: none"> 自治体職員が公共性を担保する |
| 政策との連携・特徴 | | <ul style="list-style-type: none"> 貸館事業や鑑賞事業など、多くの住民の来場を促すための事業展開は優れる ソフト事業運営に特化した組織体であり、専門的かつ柔軟な対応が期待できる | | <ul style="list-style-type: none"> 中長期的な文化芸術振興計画に沿った施策をダイレクトに反映することができる |
| 自主事業 | 事業の内容 | <ul style="list-style-type: none"> 非採算事業（育成・創造支援、アウトリーチ、住民参画、ボランティア等）が積極的に行われない可能性がある 中長期的な文化事業の計画実施が難しい 指定管理者が変わっても事業の継続性を確保するには、所管の自治体職員のリードが必要 | | <ul style="list-style-type: none"> 見識の浅い職員が行う場合、内容の充実は難しい 専門の職員を雇用できる場合は、内容の充実、事業の継続性が確保できる 事業構築等では、外部専門家の力によるところが大きい |
| | アウトリーチの実施 | <ul style="list-style-type: none"> 所管が関係各所に調整をとらないと、実施しにくい | <ul style="list-style-type: none"> 所管が関係各所に調整をとらないと、実施しにくい 民間企業よりは直接調整などがしやすい | <ul style="list-style-type: none"> 自身で庁内調整できるため実施可能性は高い 効果的に実施できる体制づくりが必要 |

| | | | | |
|----|---------------|---|--|---|
| 貸館 | 貸館利用者へのサポート | <ul style="list-style-type: none"> 企業サービスとの連携等、独自の展開により、質の高い細やかなサービスが期待できる 利用料金制度が導入されていけば、稼働率向上努力及び利用者サービス向上が期待できる | <ul style="list-style-type: none"> 幅広い業務に対応できるスタッフの配置を求めれば、細やかなサービスが期待できる 利用料金制度が導入されていけば、稼働率向上努力及び利用者サービス向上が期待できる | <ul style="list-style-type: none"> 専門スタッフを入れる場合は委託することになるため、仕様書を越えたサービス業務を指示しづらい可能性がある 個々の事務手続きが煩雑となり、柔軟な対応や効率的な運営に難がある |
| | 柔軟な利用時間の設定・対応 | <ul style="list-style-type: none"> 一般的に提案事項となるため、柔軟な対応をアピールしてくるところが多く、柔軟性の高さが期待できる | <ul style="list-style-type: none"> 直営よりは柔軟に勤務シフトを組むなどの対応がしやすいため、対応の可能性はある | <ul style="list-style-type: none"> 自治体職員が運営するため、労働組合との関係などを考えても実現が難しい |
| | 技術管理 | <ul style="list-style-type: none"> 専門性の高いスタッフを雇うことが可能 外部委託する場合は、委託仕様を越えたサービス業務を指示しづらい場合がある。 | | <ul style="list-style-type: none"> 外部委託する場合は、委託仕様を越えたサービス業務を指示しづらい場合がある。 |
| | 住民参加 | <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の収支リスクへの影響や、運営主体が変わる可能性を勘案すると、参加を受け入れにくい | <ul style="list-style-type: none"> 住民参画やボランティア育成など、住民が関わる事業の場合は、自治体の支援が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 住民参画、連携、ボランティアの育成等が進めやすい |
| | 友の会組織 | <ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護のため管理者引継ぎ時の情報受け渡しについて規定しておくことが必要となる | | <ul style="list-style-type: none"> 問題なく設置できる |

◇運営管理パターン

施設の管理運営は直営か指定管理のいずれかであるが、自主事業などの運営業務の実施体制については、パターンが多様化してきている。

一方、施設の維持管理業務については、直営の場合には専門業者への業務委託となり、指定管理の場合は、自前で行うか業務委託となる。

・直営の場合の運営管理パターン

| | |
|-----|------------|
| ①-a | 職員のみ |
| ①-b | 職員＋経験者雇用 |
| ①-c | 職員＋個人契約 |
| ①-d | 職員最小限＋民間契約 |

・指定管理の場合の運営管理パターン

| | |
|-----|---------------|
| ②-a | 公募(1社) |
| ②-b | 公募(JV) |
| ②-c | 特命(既存団体、NPO等) |
| ②-d | 特命(運営会社等を設立) |

- ・事例【①-b】いわき芸術文化交流館アリオス（福島県いわき市）
施設サービスや音楽・演劇のプロデュース、戦略的な広報やマーケティング、照明や音響設備の操作といった専門スタッフを、市の嘱託職員として採用している。市の正規職員を総務、維持管理を行うSPCとの調整役、技術部門の課長に置いている。直営ならではの行政的な手続きにも配慮しながら、それぞれの専門性を効果的に組み合わせることによって、新たな劇場運営のスタイルを追求している。
- ・事例【①-c】小美玉市四季文化館みの～れ（茨城県小美玉市）
住民参加により管理運営を検討し、提言書によって直営運営の方向性を提示した。その結果、以下4つのポジションを民間から登用し、住民参加を促している。

 - ・館長
 - ・地域文化コーディネーター
 - ・文化創造コーディネーター
 - ・舞台技術管理マネージャー
- ・事例【①-d】八丈町多目的ホール「おじゃれ」（東京都八丈島）
開館当初は直営にて運営し、町の文化振興・町民参加の基本づくりに町が直接関与して軌道に乗せた。
十分に町職員を配置することが難しいため、舞台技術の委託職員やボランティア組織の業務支援を活用して自主事業の充実や利用者への貸館サービスの向上に努めている。

- 事例【②-a】山口県民文化ホールいわくに（シンフォニア岩国）
民間ノウハウを活かした運営を目指し、サントリーパブリシティサービス(株)グループ（構成企業体：NHK アート）を指定管理者としている。
- 事例【②-b】高知市文化プラザかるぼーと（高知県高知市）
自主事業は既存の財団が実施し、施設の維持管理は公募による民間 JV である「高知市文化プラザ共同企業体」が行っている。
高知市文化プラザ共同企業体の構成企業は以下である。

 - 株式会社四国舞台テレビ照明
 - 四電ビジネス株式会社 高知支店
 - 三菱電機ビルテクノサービス株式会社四国支社 高知支店
 - 株式会社シアターワークショップ
- 事例【②-c】桐生市市民文化会館（群馬県桐生市）
直営は人事異動でノウハウが蓄積できず、市民との連携も希薄になってしまうなどの理由から、「公益財団法人桐生市スポーツ文化事業団」を特命で指名している。
「桐生市市民会館 管理・運営に関する基本方針」を受け、「新たな 10 年にむけた中期事業方針」（平成 19 年）を財団で策定した。
- 事例【②-d】茅野市民館（長野県茅野市）
複合施設の特性を積極的に活かした一体運営ができる組織として株式会社地域文化創造を新たに設立した。
市民サポーター組織として NPO 法人サポート C を設置して、市民の芸術文化活動への参加機会を増やし、芸術文化の基盤づくりを推進している。

4. 施設運営計画

◇近隣施設の規則の比較

| 施設名 | 設立 | 休館日 | 申請受付時間 | 開館時間 | 時間区分 | | | 市外・広域外料金設定 | 入場料加算・営業利用加算設定 | 準備・練習減額 | 舞台のみ練習使用額 | 申込み時期 | 申込み方法 | 支払い時期 | 免除設定 | 減額設定 | 使用者都合による取り消しに対する返付 | 連続利用日数の制限 |
|-----------------|-------|-----------------------------|------------|--|------------|-------------|-------------|------------|--|---------------------|-----------|------------------------------|--------------|---|--|---|--------------------|-----------|
| | | | | | 午前 | 午後 | 夜間 | | | | | | | | | | | |
| 佐伯文化会館 | 1971年 | 毎月第1月曜日及び第3月曜日 12/29～1/3 | — | 9:00～22:00 | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | なし | 【大ホール】 入場料徴収: (平日)約1.5倍 (土日祝)約1.7倍 興行については、上記金額に1人当たり最高料金(前売料金を50倍した額を加算する。 【小ホール】 入場料徴収:約1.5倍 | 使用料の30% | 設定なし | 窓口 | 利用許可の際納付 | 教育委員会が特別な理由があると認めるとき | — | 【大ホール】 1ヵ月前まで:5割返付 【その他】 7日前まで:5割返付 | 5日 | |
| 弥生文化会館 | 1990年 | 毎月第1火曜日及び第3火曜日 12/29～1/3 | — | 9:00～22:00 (利用の申請がないときは、9:00～18:00) | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | 市外利用者:3割増 | 入場料徴収:2倍 入場料なしの営利目的:1.5倍 | 【多目的ホール】 使用料の30% | 設定なし | 窓口 | 利用許可の際納付 | 教育委員会が特別な理由があると認めるとき | — | 【多目的ホール】 1ヵ月前まで:5割返付 【その他】 7日前まで:5割返付 | 5日 | |
| 三余館 | — | 毎週月曜日 12/29～1/3 | — | 9:00～22:00 (利用の申請がないときは、9:00～17:00) | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | なし | 入場料徴収:利用料金に一人当たりの入場料の最高金額(前売料金を50倍した額を加算する)を15倍した額を加算 | 設定なし | 設定なし | — | — | 指定管理者は、特別の理由があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て定める基準に従い、利用料金を減額し、又は免除することができる。 | — | 原則不返付 | 5日 | |
| 佐伯市保健福祉総合センター和楽 | — | 毎月第2日曜日 12/29～1/3 | — | 9:00～22:00 | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | なし | 入場料徴収:使用料(冷暖房機使用料を除く)の150%に相当する額を加算する。(開場から終演までの時間帯) | 設定なし | 設定なし | — | 利用日の2週間前まで | — | — | — | — | — |
| ホルトホール大分 | 2013年 | 毎月第2・第4月曜日 12/28～1/3 | 9:00～21:00 | 9:00～22:00 | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | なし | 【ホール】 1,000円未満:約1.4倍 1,000円未満:約2倍 ～3,000円未満:約2.3倍 3,000円以上:約2.6倍 | 使用料の半額 | 設定なし | ・窓口 ・大分市公共施設案内 ・予約システム | 予約申込日より5日以内に | 市の主催、共催事業 | ・市長が特に必要と認める場合:市長が必要と認める額 ・障がい者、障害者団体、福祉関係団体、社会教育団体:半額 | 既納分の使用料については返付しない | 5日 | |
| パトリア日田 | 2007年 | 毎月第1・第3月曜日 12/29～1/3 | 9:00～22:00 | 9:00～22:00 | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | なし | 【ホール】 1,000円未満:約1.3倍 1,000円未満:約1.5倍 ～3,000円未満:約2.0倍 3,000円以上:約2.0倍 | 使用料の半額 | 使用料の半額 | 窓口 電子メール | — | — | 市民の非営利活動: 【大ホール】 入場料なし:20% 1,000円未満:10% ～3,000円未満:10% 3,000円以上:20% 【小ホール】 20% | 定められた期日までに、利用者の自己都合により利用変更・取消をした場合: 申し出の時期により使用料の返付額が異なり、変更日・取消日(変更・取消申請受理日)が定められた期日を過ぎると、納付済使用料は返付しない | — | |
| 臼杵市民会館 | 1992年 | 毎週火曜日 12/29～1/3 | — | 9:00～22:00 | 9:00～12:00 | 13:00～17:00 | 18:00～22:00 | なし | 1,000円未満:約1.5倍 ～3,000円未満:2.0倍 3,000円以上:約2.2倍 | 設定なし | 設定なし | — | 開演まで | — | 学校、社会教育団体、文化団体、福祉団体又は市が直接主催する事業 と芸術文化振興、社会福祉向上に資すると認められるものに対し、使用料の60パーセント相当額を減額する | 【大・小ホール】 1ヵ月前まで:5割返付 【その他】 7日前まで:5割返付 | 5日 | |

5. 施設維持管理

◇類似施設維持管理費

| No. | 所在地 | ホール名 | 開館年 | 建築延面積 (㎡) | ホール系施設 | | 付属施設（楽屋除く） 付属施設名称 | 維持管理費 (平成26年度 決算ベース) | 1㎡あたり 維持管理費 |
|-----|-----|---|-------|--------------|----------------|-------|--|----------------------------|----------------|
| | | | | | ホール名称 | 総席数 | | | |
| 1 | 千葉 | 千葉県南総 文化ホール | 1997年 | 8,411 | 大ホール | 1,200 | リハーサル室、 会議室×2室、 展示室 | 126,929,849円 | 15,091円 |
| | | | | | 小ホール | 300 | | | |
| 2 | 奈良 | 奈良県文化会館 | 1968年 | 17,038 | 国際ホール | 1,313 | リハーサル室、 会議室×10室、 和室×2室、 多目的室、 展示室×6室 | 148,714,000円 | 8,728円 |
| | | | | | 小ホール | 300 | | | |
| 3 | 宮城 | 登米祝祭劇場 (水の里ホール) | 1994年 | 4,545 | 大ホール | 871 | リハーサル室×3室 和室 | 54,313,297円 | 11,950円 |
| | | | | | 小ホール | 250 | | | |
| 4 | 栃木 | 野木町文化会館 (エニスホール) | 1905年 | 5,959 | 大ホール | 800 | リハーサル室、 会議室×3室、 展示室 | 66,410,355円 | 11,145円 |
| | | | | | 小ホール | 288 | | | |
| 5 | 福岡 | 筑紫野市文化会館 | 1984年 | 4,045 | 大ホール | 809 | リハーサル室、 会議室×4室、 和室 | 42,552,880円 | 10,520円 |
| | | | | | 多目的ホール | 210 | | | |
| 6 | 神奈川 | 厚木市文化会館 | 1978年 | 11,354 | 大ホール | 1,400 | リハーサル室、 会議室×6室、 和室×2室、 展示室 | 177,486,535円 | 15,632円 |
| | | | | | 小ホール | 376 | | | |
| 7 | 山口 | 下松市文化会館 (スターピアくだま つ) | 1993年 | 9,603 | 大ホール | 1,007 | リハーサル室、 会議室×5室、 和室×2室 | 107,149,330円 | 11,158円 |
| | | | | | 展示ホール | 300 | | | |
| 8 | 香川 | 三木町文化交流プラザ (三木文化ホール) | 1997年 | 7,354 | メタホール | 802 | 会議室×5室、 和室、 展示室 | 71,819,735円 | 9,766円 |
| | | | | | 小ホール | 200 | | | |
| 9 | 山梨 | 韮崎市文化ホール <東京エレクトロン韮 崎文化ホール> (フリーズ) | 1995年 | 6,903 | 大ホール | 1,000 | リハーサル室、 会議室×4室、 展示室 | 61,282,722円 | 8,878円 |
| | | | | | 小ホール | 300 | | | |
| 10 | 長野 | 塩尻市文化会館 (レザンホール) | 1996年 | 7,816 | 大ホール | 1,206 | リハーサル室、 展示室 | 94,177,666円 | 12,049円 |
| | | | | | 中ホール | 409 | | | |
| 11 | 京都 | ガレリアかめおか | 1998年 | 27,833 | コンベンション ホール | 1,200 | 会議室、 和室×2室、 展示室 | 222,417,527円 | 7,991円 |
| | | | | | 響ホール | 220 | | | |
| 12 | 岐阜 | 下呂交流会館 (アクティブ) | 2010年 | 10,574 | 泉ホール | 805 | リハーサル室、 会議室×2室、 和室 | 101,480,328円 | 9,597円 |
| | | | | | マルチスタジオ | 120 | | | |
| 平均値 | | | | | | | | 11,042円 | |
| 参考 | 大分 | 佐伯文化会館 | 1971年 | 4,467 | 大ホール | 1,308 | 会議室×3室 | 38,310,085円 | 8,576円 |
| | | | | | 中ホール | 250 | | | |
| | | 弥生文化会館 | 1990年 | 2,556 | 多目的ホール | 670 | 会議室×3室、 和室、 視聴覚室、 図書室、 トレーニング | 21,473,954円 | 8,401円 |
| | | | | | | | | | |

6. 愛称募集

◇愛称募集事例

| No. | 施設名 | 施設名 建設時の仮称 | 開館年 | 決定した愛称 | 愛称の由来・決定理由 | 募集期間 | 応募方法 | 賞品・賞金 | 応募数 | 応募締切 ～発表まで の期間 | 選定方法 |
|-----|-----|---|---------------------|---|--|------|-----------------------|---|----------------------------------|---|---|
| 1 | ● | 日田市民文化会館 (会館、ホール愛称募集) | H19.12.23 (2007) | (施設) パトリア日田 (大ホール) やまびこホール (小ホール) せせらぎホール | (施設) イタリア語で「故郷」発祥地 (大ホール) やまびこは山肌(山)に声(こ)が反射して帰ることから、情 報を発信して多くのひとが集まる場となるように (小ホール) 「文化創造の森」から思いついた | | | 施設全体 673点 大ホール 654点 小ホール 645点 | | 選定委員会により選定 | |
| 2 | ▲ | いちhiko総合文化センター (大分県立総合文化センター) ※ネーミングライツ | H10.10.18 (1998) | (大ホール) グランジアタ (中ホール) 音の泉ホール | 理由公表なし | 1ヶ月 | 官製はがき | <最優秀賞> 賞状、賞金10万円+別府・湯布院ペア宿泊券 (大・中ホール各1点) <優秀賞> 賞状、賞金2万円(大・中ホール各3点) <参加賞> オリジナルテレカ(抽選100名) | 各3,000点 | 1ヶ月半 事務局により選定 | |
| 3 | ● | 葛飾区文化会館 (会館、ホール愛称募集) | H4.5.23 (1992) | (施設) かつしかシンフォニーヒルズ (大ホール) モーツァルトホール (小ホール) アイリスホール | (施設) ・設計コンセプト「アーバン・ヒルズ(都市の丘)」 ・優雅に交響楽を奏でる場 ⇒シンフォニーヒルズ (大ホール) ウィーンのホールをモデルにし、コンサートに重 点を置いたホールであることを示す表現 (小ホール) 区の花「花菖蒲」の英語「アイリス」より | 1ヶ月 | 官製はがき 専用はがき | <最優秀賞> 旅行券20万円相当(2名) <優秀賞> 旅行券5万円相当(若干名) | 施設全体 1,148点 ホール 1,157点 | ※小ホール愛称を大ホール愛称候補内から選定 | |
| 4 | ● | 横須賀市 総合文化センター (会館、ホールの愛称募集) | H6.2.15 (1994) | (大ホール) よこすか芸術劇場 (小ホール) ヨコスカ・ベイサイド・ポケッ ト | (大ホール) あえて日本語表記とすることで、重厚さがあり、 気取らずに劇場の品格を良く表していると評価さ れて選定 (小ホール) 小さい劇場であることを「ポケット」という言葉で 表し、横須賀のイメージである「海」を言葉に取り 入れている点が小ホールのイメージに合っていると 評価されて選定 | 1ヶ月半 | 官製はがき 専用はがき FAX | <入選者> 賞金10万円+開館後の公演ペアご招待、特製 テレカ(大・小ホール各1点) <参加賞> 公演ペア招待(抽選10名) 特製テレカ(抽選100名) | 大ホール 4,180点 小ホール 3,842点 | 選定委員会を実施(回数不明) (構成: 園伊久穂、丹下健三、阿木耀子、市長室長) | |
| 5 | ● | 川口総合文化センター | H2.7.1 (1990) | リリア | 市の花「テツポウユリ」に由来した 造語 | | 官製はがき | <最優秀賞> 賞金10万円+ハワイ旅行ペア <優秀賞> 記念品(5名) | | 2ヶ月 | |
| 6 | ● | 奥州市文化会館 | H4.10.4 (1992) | Zホール | | | | | 1,170点 | | |
| 7 | ● | 盛岡市市民文化会館 | H7.6.4 (1995) | 姫神ホール | | | | | 8,335点 | | |
| 8 | ● | 黒部市国際文化センター | H7.11.3 (1995) | コラーレ | ・「来られ」(いらつしやい)という方言 ・「Collaboration Of Local Art Resources」 | 2ヶ月半 | 官製はがき | <最優秀賞> 賞金10万円 | 6,520点 | 4ヶ月 | 財団の運営委員会(構成: 市長、選定委員会(構成: 市長、議長、助役、収入役、教育長、財団運営委員会委員長、市総務部 長、財団事務局長、都市プランナー、地域アドバイザー、設計者、 劇場コンサルタント)が決定 |
| 9 | ● | 盛岡駅西口開発 (盛岡市民文化ホール) | H10.4.1 (1998) | MARIOS | | 2ヶ月 | 官製はがき | <優秀賞> 賞金10万円 <参加賞> オリジナルテレカ | | 2ヶ月 | |
| 10 | ● | 大田区民プラザ | H10.12.11 (1998) | アブリコ | ・区の花「梅(ジャパニアンズアプリーコット)」 ・「Art Prism In the City of OTA」 | 2ヶ月 | 官製はがき | <最優秀賞> 5万円相当の賞品 | 637点 | 3ヶ月 | |
| 11 | ● | 静岡県 県民国際プラザ(仮称) | H11.3.13 (1999) | グランジップ | ・「SHizuoka Plaza」SHizuoka International Plaza「SHizuoka Information Plaza」など甲 な意味を持ち、文化振興・情報発信拠点、県民の 広場であることを意味する「SHIP」 ・施設の雄大、壮観、荘重さを強調した「GRAN」 ・「街の中に浮かぶSHIP(船)のイメージで計画した 建物にあってよい」という設計者(磯崎新)の コメント | 1ヶ月半 | 官製はがき 専用はがき | <最優秀賞> 賞金20万円 <優秀賞> 賞金5万円(3点) <特別賞> 図書券5千円(3点) <参加賞> テレカ(抽選50名) | 4,790点 | 4ヶ月 | 部内若手職員8名による一次審査、関係幹部職員6名による二次 審査で決定 |

| No. | 施設名 建設時の仮称 | 開館年 | 決定した愛称 | 愛称の由来・決定理由 | 募集期間 | 応募方法 | 賞品・賞金 | 応募数 | 応募締切 ～発表までの期間 | 選定方法 |
|-----|-----------------|---------------------|---------------|---|------|--|---|---------|------------------|--|
| 12 | 久慈市文化会館 | H11.2.3 (1999) | アンバーホール | 久慈市の名産品「琥珀」の英語「アンバー」 | 1ヶ月 | 官製はがき | ＜入選者＞ 賞金10万円 ※同名応募者21名より抽選 ＜選外者(20名)記念品＞ 琥珀のキーホルダー+オリジナルテレカ ＜参加賞＞ オリジナルテレカ(抽選300名) | 2,660点 | 2ヶ月 | 選定委員会を5回開催 (構成:教育次長、総務部庶務課長、企画開発室次長、市民生活 部市民課長、福祉事務所社会福祉課長、産業部農政課長、建設 部都市計画課長、教育委員会総務課長) |
| 13 | 東大和市民ホール | H13.2.18 (2001) | ハミングホール | 選定委員の推薦作品のうち、全国レベルでの類似 名称を除いた作品の中から投票により決定 | 2ヶ月 | 官製はがき FAX | 入選者と佳作(若干名)に記念品贈呈 | 150点 | | 選定委員会を回開催 (構成:市長、助役、議会、議会各会派代表、設計会社代表 計10名) |
| 14 | 北上市文化交流センター | H15.11.27 (2003) | さくらホール | 展勝地というさくらの名所があるため | 2ヶ月 | 官製はがき | ＜採用作品＞ 旅行券10万円 | 1,475点 | 2ヶ月 | 選定委員会で6案に絞り、市長が決定 |
| 15 | 南相馬市民文化会館 | H16.4.1 (2004) | ゆめはっと | ・外観がシムルハットのよう形をしている ・市民の夢をかなえる ・ハットとするような感動を味わう | 1ヶ月 | 官製はがき 専用はがき FAX Eメール | ＜最優秀賞＞ 旅行券5万円+開館記念事業ご招待 ＜優秀賞＞ 図書券5千円+開館記念事業ご招待(3点) | 408点 | 2ヶ月 | 建設室で約100点に絞り、選定委員会(構成:助役、教育長、会館 検討委員会委員長、芸術文化協会長、建設審議会長、設計者代 表、劇場コンサルタント)が各自事前投票、50点程度に絞った投票 結果から決定 |
| 16 | 吉見町民会館(埼玉県) | H17.4.1 (2005) | フレサよしみ | 吉見町の名産品「いちご」のスペイン語「フレッサ」 | 3ヶ月 | 官製はがき 専用はがき FAX | ＜入選者＞ 賞状、記念品 | 222点 | 3ヶ月 | 審議会の町民委員(約15名)の投票で5点に絞り込み、事務局が選 定して町長が決定 |
| 17 | (仮称)逗子市文化・教育ゾーン | H17.6.19 (2005) | 逗子文化プラザ | 逗子の文化を継承する施設 | 2ヶ月 | 書式自由 | ＜採用者＞ 図書券2万円 ＜入選者＞ 図書券5千円(2名) | 861点 | 7ヶ月 | 準備委員会の市民委員(約15名)が絞り込み、市民投票後に準備 委員会が最終決定 |
| 18 | (仮称)茅野市新市民会館 | H17.10.1 (2005) | 茅野市民館 | 複合施設であるため、音楽だけ、美術だけ、ホー ルだけ、というイメージの言葉を選んで検討した結 果、ベーシックな名前を正式名称兼愛称として決 定 (決定理由は公表していない) | 2ヶ月 | 官製はがき FAX Eメール | ＜採用作品＞ 賞状、賞金5万円+開館記念事業ご招待 ＜特別賞＞ 賞状、副賞+開館記念事業ご招待 | 491点 | 2ヶ月 | 管理運営計画策定委員会、市、設計者、コンサルタントが協議し て決定 |
| 19 | 島根県芸術文化センター | H17.10.8 (2005) | グラントワ | ・島根県の伝統的な石州瓦を多用した切妻屋根 が連なる建物であること ・大きな建物であること ⇒フランス語の「グラン(大きい)トワ(屋根)」 | 1ヶ月半 | 官製はがき 専用はがき インターネット FAX 封書 | ＜最優秀賞＞ 賞金10万円 ＜優秀賞＞ 賞金3万円(2点) ＜佳作＞ 賞金1万円(3点) | 16,456点 | 2ヶ月 | 選定委員会を2回開催 (構成:島根県立大学助教授ほか 計10名) |
| 20 | 都城市総合文化ホール | H18.10.22 (2006) | MJ あうるすぽっと | ・都城(MYAKONOJO)の省略 ・音楽(Music)のM、こころづくり(Mind)のM ・喜び(Joy)のJ、参加(Join)のJ | 2ヶ月 | 専用はがき (持込・郵 送) FAX Eメール | ＜最優秀賞＞ 賞金5万円、開館記念事業1年間ペア招待 ＜優秀賞＞ 開館記念事業1公演ペア招待(10点) ＜参加賞＞ 開館記念事業公演招待、都城和牛・都城産品 詰め合わせ、都城茶、焼酎など(抽選) | 2,689点 | | |
| 21 | 東池袋交流施設(仮称) | H19.9 (2007) | あうるすぽっと | ・「いけふくろう」などで区に縁のある「ふくろう」の 英語「OWL」 ・この劇場を「シアター」より小規模で全ての観客 が一休感を感じられる場として「SPOT＝場所・地 点」と捉える ⇒以上を併せて「あうるすぽっと」 | 1ヶ月 | 官製はがき FAX Eメール 持参 | ＜入選者＞ 記念品 | 309点 | 1ヶ月半 | 準備委員会が79点に絞り、選定委員会(区長、小田島雄志豊島 区芸術顧問ほか)が6件に絞り、6件の合作により決定 |
| 22 | 三原市芸術文化センター | H19.10.14 (2007) | ポポロ | ・「民衆、大衆」などの意味を持つイタリア語「ポポ ロ」が設置目的の「活動の拠点及び憩いの場」に あっていること ・屋根のれきとイメージがあっている | 2ヶ月 | 専用はがき (持込・郵 送) | ＜最優秀賞＞ 賞金5万円(1点) ＜優秀賞＞ 図書カード2千円(15点) | 1,846点 | 2ヶ月 | 選定委員会を実施(1回) |

| No. | 施設名 建設時の仮称 | 開館年 | 決定した愛称 | 愛称の由来・決定理由 | 募集期間 | 応募方法 | 賞品・賞金 | 応募数 | 応募締切 ～発表までの期間 | 選定方法 |
|-----|-----------------|---------------------|---|---|------|----------------------|--|--------|------------------|---|
| 23 | (仮称)いわき市文化交流施設 | H20.4.8 (2008) | (正式名称) いわき芸術文化交流館 (愛称) ALIOS(アリオス) | Arts, Life, Information, Oasis, Sightseeingの頭文字をピックアップ | 1ヶ月半 | 官製はがき FAX Eメール | <最優秀賞> 賞金5万円(正式名称、愛称各1名) <参加賞> オリジナル図書カード(抽選1,000名) | 3,000点 | 4ヶ月 | 市が常設している名称検討委員会(大学教授、男女共同参画系の団体代表、青少年団体、アーティスト等)で5案に絞り、市内の高校2年生(＝開館のときに成人する)約2万人が投票して決定(施設名称は名称検討委員会で決定し、市民投票等は行わず) |
| 24 | 大船渡市民文化会館 | H20.11.15 (2008) | リアスホール | ・大船渡の海岸がリアス式海岸であること ・リアス式海岸の代表的名称「穴通懸」をモチーフとした設計 ・市総合計画で海を市政発展の基本としていること | 2ヶ月 | 官製はがき FAX Eメール | <最優秀賞> 賞金5万円(1名) <候補案と同業の応募者全員> 図書カード | 554点 | 6ヶ月 | 選考委員会(構成:副市長、教育長、市民4名、設計者)を3回開催して6案に絞り、市の政策推進会議で決定 |
| 25 | 杉並芸術会館 | H21.5.1 (2009) | 座・高円寺 | 理由公表なし | 1カ月弱 | 官製はがき FAX Eメール | <最優秀作品>(1点) 賞金3万円 杉並区アニメキャラクター「なみすけ」グッズ <優秀作品>(2点) 杉並区アニメキャラクター「なみすけ」グッズ | 1,617点 | 半月 | |
| 26 | (仮称)由利本荘市文化複合施設 | H23.12.19 (2011) | カダール | 「仲間に入って」という意味の方言「かたれ」にちなんだもので、分かりやすく、響きが良い。「語れ」という意味にもとることができる。 | 1ヶ月半 | ハガキ FAX メール | 名付け親賞(1点):3万円分の商品券 優秀賞(10点程度):1万円分の商品券 ふるさと賞(抽選20名):地元特産品 | 653点 | 1ヶ月半 | 選定委員会を実施(1回) (構成:市長、市議会議長、教育委員長、管理運営検討懇談会座長、市民WG準備会座長、JA秋田しんせい代表理事組合長、8地域協議会会長、芸術文化協会連合会長、商工会女性部長、青年会議所委員) |
| 27 | (仮称)柏崎市新市民会館 | H24.7.8 (2012) | アルフォール | フランス語の「art」と「forest」を組み合わせた「芸術の森」を意味する造語。沢山の人が集い、芸術文化を楽しむ森をイメージした。 | 2ヶ月 | ハガキ FAX メール | 最優秀作品:賞金3万円 優秀作品:5千円分の図書券 | | 1ヶ月 | 選定委員会を実施(1回) (構成:市長、管理運営計画等検討懇談会委員より3名、地元大学教授2名、シアターワークショップ代表) |
| 28 | 八丈町多目的ホール | H25.8 (2013) | おじゃれ | 島言葉で「いらっしやい」を示す言葉で親しみやすい | 3週間 | ハガキ FAX メール | 開館記念式典での賞状授与 | 59点 | 4ヶ月 | 選定委員会を実施(1回) |
| 29 | 三次市民ホール | H27.2 (2015) | きりり | 【応募理由】 ・ホールの白い外観から三次市に現れる美しい自然現象の霧の海を連想し、霧から愛称を考えた。 ・真っ白な外観はすっきりしていてキラリと輝然とした印象を受けることや、市民がこのホールでキラリとカッコいい活動をするイメージなども表現している。 【決定理由】 ・わかりやすく、親しみやすさが十分にあること ・呼びやすく、覚えやすいこと ・応募理由にもあるように本市の特性(霧の海)と施設のイメージをよく理解されたものとして決定しました | 1ヶ月 | ハガキ FAX メール | 最優秀賞(採用作品)1点:金5万円及び開館記念式典、事業への招待 | 926点 | 3ヶ月 | 選考委員会(2回) (構成:文化連盟会長、設計者、自治組織連合会会長、女性連合会理事、プレイベント実行委員長、地元高校生3名、副市長、教育長、特命プロジェクト推進部長) |
| 30 | (仮称)蓮田市総合文化会館 | H28.10.15 (2016) | ハストピア | 蓮田市の文化創造、ひいては蓮田のまちの創造性の向上に寄与し、文化とまちの発信拠点となることを目指す本施設のあり方が「理想郷」と捉えられる応募理由と合致し、また市民にとって呼びやすく、親しみやすい名前であるため。 | 1ヶ月 | ハガキ FAX メール | 最優秀作品は表彰し、記念品を贈呈します。 | 601点 | 3ヶ月 | 選定委員会を実施(1回) 選定委員会メンバー:懇談会委員25名・庁議出席者16名の計41名 |
| 31 | 白河文化交流館 | H28.10.23 (2016) | コミネス | 白河文化交流館は、芸術文化による地域コミュニティの活性化や新たなコミュニティの形成を事業の基本方針のひとつとしており、更に白河市の歴史のシンボルである小峰城の隣元に立地する施設であることから、小峰城のコミネとコミュニティを併せて「コミネス」とし、白河文化交流館が白河の芸術文化とコミュニティの拠点となるよう願いを込めた。 | 1ヶ月 | | 賞状、副賞(賞金5万円、開館記念事業への招待券) | 1,206点 | 7ヶ月 | 第1次選考(市民文化会館運営管理検討委員会及び同委員会事業企画検討部会) 第2次選考(白河市白河文化交流館愛称選考委員会) 市民投票(最終選考) |

7. 今後のスケジュール

開館までのスケジュール(案) ※直営の場合

| | 平成28年度 | | | 平成29年度 | | | 平成30年度 | | | 平成31年度 | | | 平成32年度 | | | | | |
|--------|-----------------------|---|---|--------|----|----|--------|---|---|--------|---|---|--------|---|---|----|----|----|
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 設計・工事 | 基本設計・実施設計 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 建設工事 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理運営 | 開館準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開館 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業 | 管理運営計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | プレイベント | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 開館記念事業 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 自主事業 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 (創造型事業を行う場合) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸館事業 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 (創造型事業を行う場合) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 広報・営業 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運営組織 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 市民参加組織 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持管理 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収支 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 備品調達 | 事業の企画・制作、助成申請検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31年度予算検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

8. 市民活動団体アンケート調査結果

1) 目的

佐伯市内の市民文化活動団体にアンケート調査を行い、団体の活動状況、施設利用状況等を明らかにする。

2) 調査概要

対 象 : 佐伯市内で活動している市民活動団体

調 査 期 間 : 平成 28 年 9 月 23 日～平成 28 年 10 月 31 日

回答者所属団体 : 以下表 1 に記載の 148 団体

表 1 : 回答者所属団体一覧

| | |
|----|---------------------------|
| 1 | 西上浦ふるさとづくり五月会 |
| 2 | 健康づくり教室 |
| 3 | パッチワーク教室 美布夢 |
| 4 | 銭太鼓 |
| 5 | やさしい写経 |
| 6 | 淡窓伝光霊流 佐伯詩道会 彦岳分会 |
| 7 | 華道家元池坊佐伯支部 |
| 8 | 倫調 千の会 |
| 9 | 蕎屋出雲流 |
| 10 | 専心池坊佐伯支部 |
| 11 | 佐伯市美術協会 |
| 12 | 民謡風の会 |
| 13 | ソフトエアロビクス-鶴岡 |
| 14 | 佐伯市高齢者教室 鶴岡学級 |
| 15 | 青山を実り豊かにする会 |
| 16 | 佐伯独歩会 |
| 17 | 星ん降る町つるおか ひとよこい |
| 18 | 鶴岡八幡太鼓・鶴岡神子太鼓 |
| 19 | 全日本写真連盟 佐伯支部 |
| 20 | Ange |
| 21 | NPO 法人 ビューティークローバー |
| 22 | 社会福祉法人県南福祉会 児童発達支援センターつぼみ |
| 23 | 佐伯市民合唱団 (コールねむ) |
| 24 | まあるくまあるく編集部 |
| 25 | ハノハノフラ大分 三余館教室 |

| | |
|----|--------------------|
| 26 | 佐伯市立佐伯南中学校 |
| 27 | 佐伯文化振興会 |
| 28 | 佐伯三線倶楽部 |
| 29 | 佐伯市写真協会 |
| 30 | 東雲中学校 |
| 31 | 淡窓伝光霊流 佐伯詩道会 |
| 32 | 綾沢の会 |
| 33 | 上浦吹奏楽団 |
| 34 | 手づくり人形劇団つくしんぼ |
| 35 | 弥生陶芸教室 |
| 36 | 俳画教室 |
| 37 | 弥生さつき会 |
| 38 | 八泳の会 |
| 39 | 弥生囲碁愛好会 |
| 40 | カラオケぼたん教室 |
| 41 | 弥生茶道愛好会 |
| 42 | 革細工教室 |
| 43 | 弥生絵画教室 |
| 44 | やよい柁牟礼陣太鼓保存会 |
| 45 | 日本舞踊 若宮流 |
| 46 | 竹細工「竹酔会」 |
| 47 | 女声コーラス教室 コールやよい |
| 48 | 弥生文化会館 華道教室 |
| 49 | カラオケひまわり教室 |
| 50 | パッチワーク教室 |
| 51 | フラワーアレンジメント |
| 52 | 石匠会（囲碁） |
| 53 | 文化協会（龍知会） |
| 54 | 本匠近世文書研究会・佐伯古文書研究会 |
| 55 | 絵手紙教室 |
| 56 | 文化協会（カラオケ・ふれあい歌匠会） |
| 57 | 本匠短歌教室 |
| 58 | おやじの料理教室 |
| 59 | ほたっぴいクラブ |
| 60 | 民踊会 |

| | |
|----|-------------------------|
| 61 | ヒップホップダンス教室 |
| 62 | 公民館ピアノ教室 |
| 63 | 大分県立佐伯鶴城高等学校吹奏楽部 |
| 64 | 佐伯鶴城高校 |
| 65 | 日本文理大学附属高等学校 |
| 66 | 弥生母親クラブ（ほっとまま・ワイワイサークル） |
| 67 | 花てまりの会 |
| 68 | 蕎屋出雲流 |
| 69 | 池坊佐伯支部 |
| 70 | ハノハノフラ大分いやしのフラダンス |
| 71 | 佐伯川柳会 |
| 72 | 源流の郷ウォーキングクラブ |
| 73 | ウィードクラブ |
| 74 | 本匠中学校 |
| 75 | 佐伯市書道協会 |
| 76 | 三曲の会 |
| 77 | カラオケレッスン生の集り |
| 78 | 子ども図書館 えほんの森 |
| 79 | 佐伯文化振興会（綾沢の会） |
| 80 | シャルム佐伯 |
| 81 | ころころ |
| 82 | 佐伯市立直川中学校 |
| 83 | J.フリーク |
| 84 | 茶道 |
| 85 | 弥生吹奏楽団 |
| 86 | マリノコーラス |
| 87 | とまちダンスの会 |
| 88 | 渡町台公民館七宝焼クラブ |
| 89 | 佐伯矢筈抜刀会 |
| 90 | フレッシュダンス |
| 91 | 佐伯市 食択 |
| 92 | 佐伯吹き矢の会 |
| 93 | 社交ダンス佐伯サークル |
| 94 | フレアイサークル |
| 95 | パソコン教室 |

| | |
|-----|------------------------|
| 96 | あすなろうの会 |
| 97 | 家庭倫理の会 佐伯市 |
| 98 | マカリイ・フラ・エ・ナーメア・ハヴァイイ |
| 99 | ヘルシーヨガ教室 |
| 100 | NPO 法人生命の貯蓄体操普及会佐伯支部 |
| 101 | 佐伯東地区社協 |
| 102 | 佐伯市赤十字奉仕団 |
| 103 | ラウレア |
| 104 | 佐伯豊南高校 |
| 105 | 市政モニターOB会 |
| 106 | 楠本老人会 |
| 107 | はまゆうコーラス |
| 108 | 読みきかせサークル |
| 109 | 絵手紙の会 |
| 110 | ソフトエアロビクスー直川 |
| 111 | 大正琴直川クラブ |
| 112 | 直川ふれあいコーラス |
| 113 | アロハ・プメハナ・フラ・サークル |
| 114 | 琴浪漫（大正琴） |
| 115 | 直川老人クラブ女子フラの会 |
| 116 | 直川短歌会 |
| 117 | 瀬粋会 |
| 118 | 榎若一門秀泉会 |
| 119 | 手編み教室 |
| 120 | 穂山会 やはた支部 |
| 121 | 生命の貯蓄体操 A 教室 |
| 122 | 八幡華道部 |
| 123 | 生命の貯蓄体操八幡 B 教室 |
| 124 | ソフトエアロビクスー海崎 |
| 125 | パッチワーク教室 |
| 126 | 城山サークル |
| 127 | 表千家茶道教室、華道家元池坊華道教室 |
| 128 | 三余館カルチャーサロン 生け花・専心池坊 |
| 129 | 三余館カルチャーサロン デッサン教室・絵の会 |
| 130 | 大分ふれあいユニオン県南労災サポートセンター |

| | |
|-----|--------------------------|
| 131 | 押し花サークル |
| 132 | ECC シュニア |
| 133 | ハノハノフラ大分武藤喜代子教室 |
| 134 | パッチワークすみれ |
| 135 | タッパーウェア（華ファミリーセンター） |
| 136 | 人生楽しく歌う会 |
| 137 | 三余館カルチャーサロン「コーラスを楽しもう」講座 |
| 138 | 花柳流龍知会 |
| 139 | 龍雲書道教室 |
| 140 | 公民館囲碁教室 |
| 141 | 生命の貯蓄体操 |
| 142 | 蔵山会和太鼓教室 |
| 143 | 宇目短歌会 |
| 144 | 大正琴千束教室 |
| 145 | 宇目女性学級 |
| 146 | 宇目琴友会ひまわり |
| 147 | すみれ会(体操教室) |
| 148 | 元唄宇目の唄げんか保存会 |

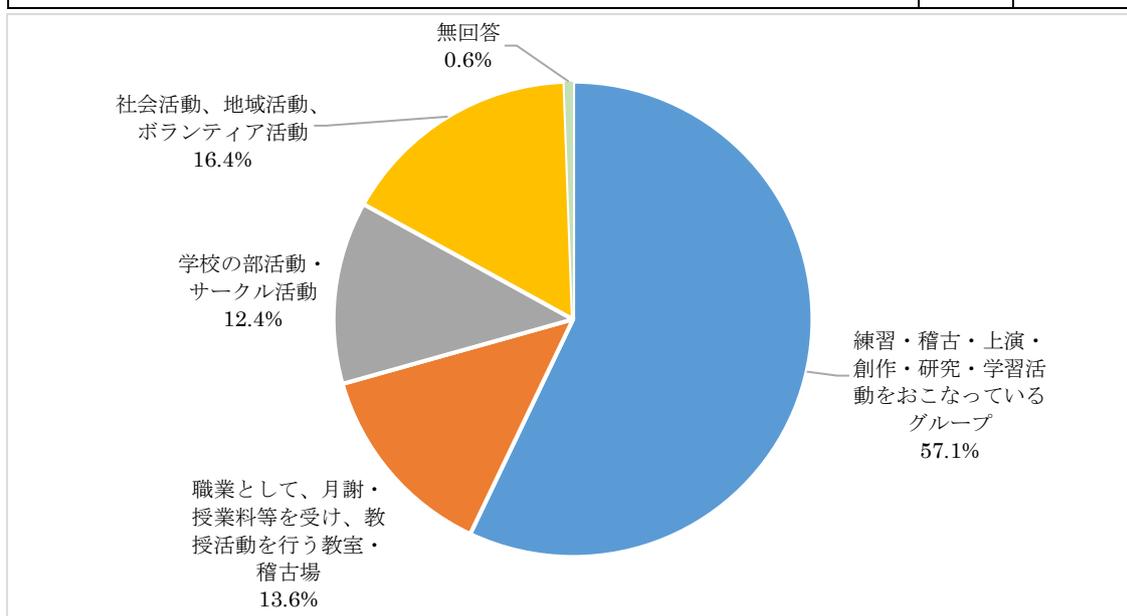
3) 調査結果詳細

1. 団体の主な活動

団体の主な活動としては、「文化芸術活動の練習・上演をおこなうグループ」が 57.4%と最も多かった。次に「社会活動、地域活動、ボランティア活動」が 16.4%となっている。また、「職業として、月謝・授業料等を受け、教授活動を行う教室・稽古場」が 13.6%占めており、主体的に文化活動に取り組む団体が多いほか、習い事の教室等としての需要もあることが伺える。

図表 1：団体の主な活動（選択肢より一つを選択）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|---------------------------------|-----|-------|
| 練習・稽古・上演・創作・研究・学習活動をおこなっているグループ | 101 | 57.1% |
| 社会活動、地域活動、ボランティア活動 | 29 | 16.4% |
| 職業として、月謝・授業料等を受け、教授活動を行う教室・稽古場 | 24 | 13.6% |
| 学校の部活動・サークル活動 | 22 | 12.4% |
| 無回答 | 1 | 0.6% |
| 合計 | 177 | |



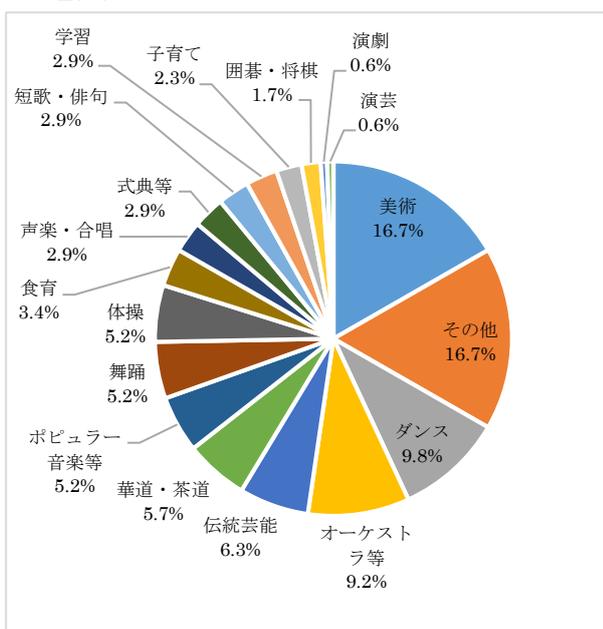
2. 団体の活動分野

団体の活動分野としては、「美術」、「その他」が 16.7%と最も多くなっている。次いで「ダンス」が9.8%となっている。

「ダンス」「舞踏」「体操」など体を動かす分野でまとめると 20.2%となり、分野としては「美術」、「音楽」を上回る割合を占めている。「音楽」ジャンルは合わせて 14.4%とあまり活発な活動は行われておらず、活動上の支障となる要因がある可能性が伺える。

図表 2-1：団体の活動分野（選択肢より 1 つ選択）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|----------|-----|-------|
| 美術 | 29 | 16.7% |
| その他 | 29 | 16.7% |
| ダンス | 17 | 9.8% |
| オーケストラ等 | 16 | 9.2% |
| 伝統芸能 | 11 | 6.3% |
| 華道・茶道 | 10 | 5.7% |
| ポピュラー音楽等 | 9 | 5.2% |
| 舞踊 | 9 | 5.2% |
| 体操 | 9 | 5.2% |
| 食育 | 6 | 3.4% |
| 声楽・合唱 | 5 | 2.9% |
| 式典等 | 5 | 2.9% |
| 短歌・俳句 | 5 | 2.9% |
| 学習 | 5 | 2.9% |
| 子育て | 4 | 2.3% |
| 囲碁・将棋 | 3 | 1.7% |
| 演劇 | 1 | 0.6% |
| 演芸 | 1 | 0.6% |
| 映像 | 0 | 0.0% |
| 合計 | 174 | |



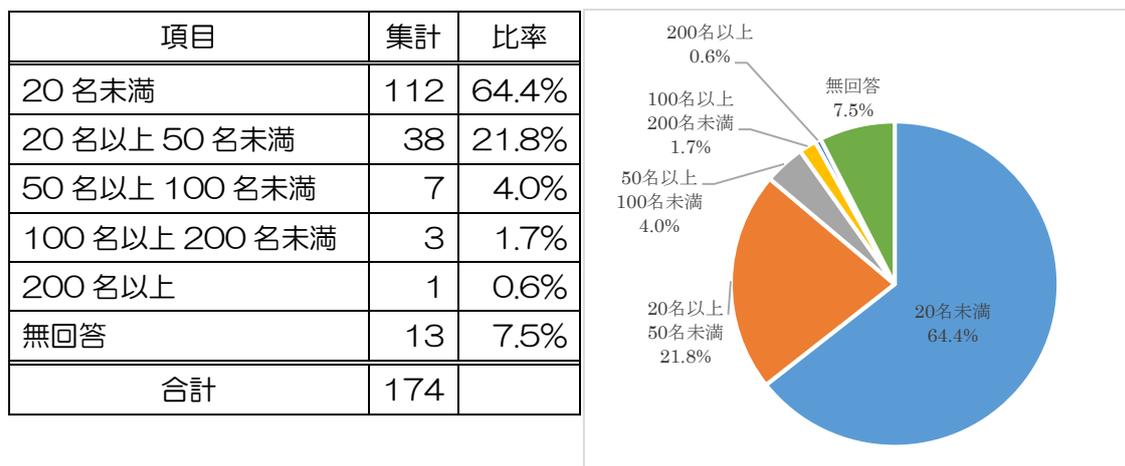
図表 2-2：活動分野（その他、自由回答をカテゴリー分けして集計）

| カテゴリー | 内容 |
|----------------|---|
| スポーツ | 居合の練習 |
| 武道 | スポーツ吹矢による健康促進、生きがいの創出 |
| 和の文芸活動 | 写経をする |
| | 詩吟→絶句、律詩、単価、歌謡吟、民謡吟、書道吟…等々 |
| | 吟詠を通しての情操教育・呼吸法による内臓の強化で健康を維持 |
| | 創作和太鼓 |
| | 和太鼓 |
| 園芸 | 日本舞踊、古典を主に |
| | 園芸（盆栽） |
| 手芸 | フラワーアレンジメント |
| | 手芸、手編み |
| | パッチワーク |
| 学校活動 | 着物の着付け |
| | 学校での読書ボランティア（読み聞かせ等） |
| | 総合的な学習の時間における地域学習 |
| 地域活動 | コンピュータ操作 |
| | 地域ボランティア活動 |
| | 地域の活性化のために活動する |
| | 地域おこし |
| | 地域環境美化団体 |
| | 市政モニター経験者の集まりで、市政と市民との連携を深め、明るく豊かな住みよい佐伯づくりに寄与することを目的として活動している。 |
| | 労災被災者の相談に対応し、社会復帰に向けた支援を行うこと。 |
| 佐伯の観光案内（おもてなし） | |
| その他 | 一年間の計画を立て、年4回ほど学習会を開いている。 |
| | 講演会、健康体操、ガーデニング講習会など |
| | 配食、おもちつき、お月見会 手伝い |
| | タッパーを通して食育、エコ、料理を教えている。 |
| | 宴会老団体 |
| | 美容教室（福祉美容・おしゃれ術指導（美しくなるための方法）） |

3. 団体の活動人数

団体の活動人数としては「20名未満」が64.4%、「20名以上50名未満」が21.8%、合わせると86.2%となり、50名未満の小規模な団体が全体の8割強を占めている。

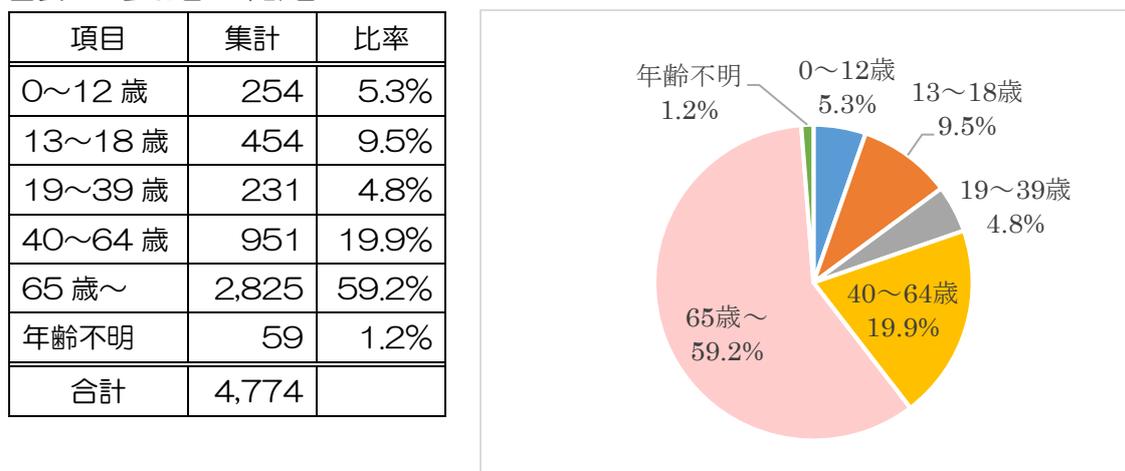
図表3：団体の活動人数（回答人数を区分して集計）



4. 団体参加者の年齢層

年齢層は「65歳以上」の参加者が一番多くなっており、59.2%と全体の半数以上を占めている。「19～39歳」の参加者は4.8%と全体で一番少なく、団体参加者が高年齢化していることが伺える。

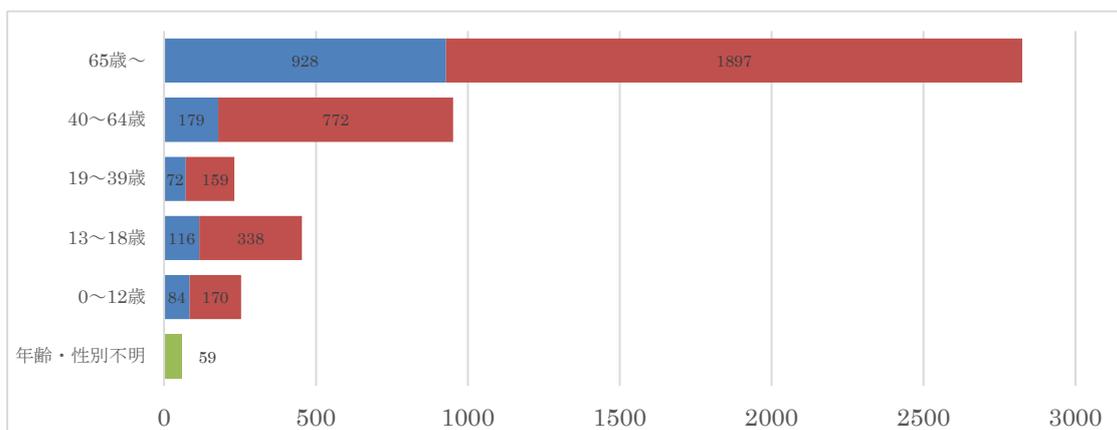
図表4：参加者の年齢層



5.参加団体の男女比

男女比については、どの年齢層も女性が多くなっている。

図表 5：参加団体の男女比

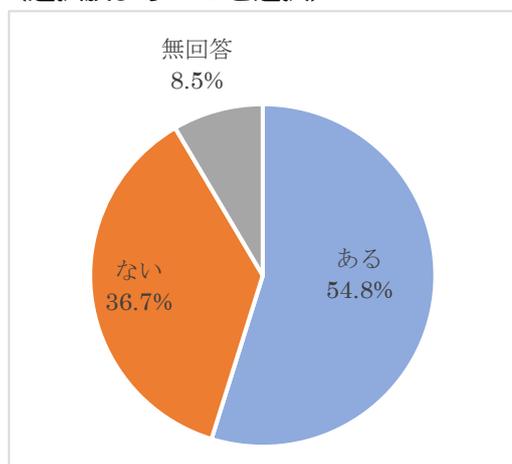


6. 他の団体やグループとの交流

他団体との交流がある団体は 54.8%と半数を超えている。

図表 6：他の団体やグループとの交流（選択肢より一つを選択）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|-----|-----|-------|
| ある | 97 | 54.8% |
| ない | 65 | 36.7% |
| 無回答 | 15 | 8.5% |
| 合計 | 177 | |

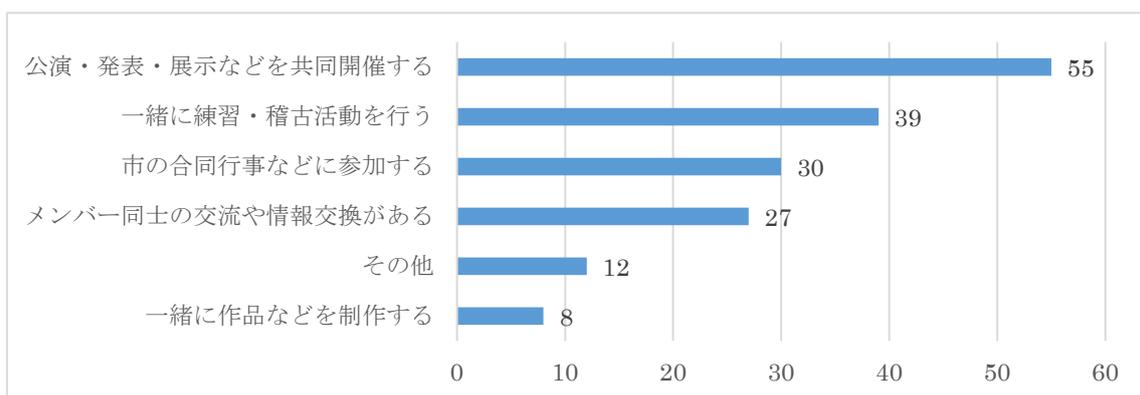


7. 他の団体やグループとの交流の内容

他団体との交流内容については「公演・発表・展示などを共同開催する」と答えた団体が最も多く、全体の32.2%となった。

図表 7-1：他の団体やグループとの交流内容（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|-------------------|-----|-------|
| 公演・発表・展示などを共同開催する | 55 | 32.2% |
| 一緒に練習・稽古活動を行う | 39 | 22.8% |
| 市の合同行事などに参加する | 30 | 17.5% |
| メンバー同士の交流や情報交換がある | 27 | 15.8% |
| その他 | 12 | 7.0% |
| 一緒に作品などを制作する | 8 | 4.7% |
| 合計 | 171 | |



図表 7-2：他の団体やグループとの交流内容（その他、自由回答）

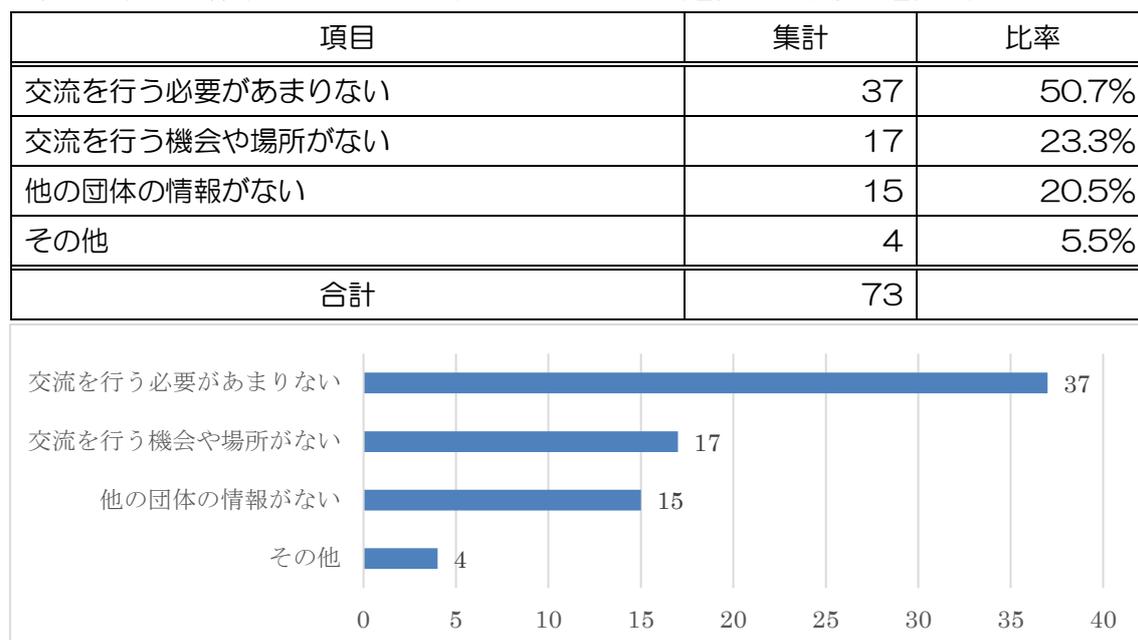
| その他、自由回答 |
|---------------------|
| 時々、社協や地区に協力する。 |
| 流派のみで研究会や発表会を行っている。 |

8. 他の団体やグループとの交流がない理由

他団体と交流がない理由については「交流を行う必要があまりない」と答えた団体が50.7%と全体の過半数を占めた。

その一方で「交流を行う機会や場所がない」、「他の団体の情報がない」が合わせて43.8%となっており、機会や場所、情報などを創出すれば新たな団体間交流が生まれる可能性が示唆される。

図表 8：他の団体やグループとの交流をしない理由（選択肢より複数選択可）



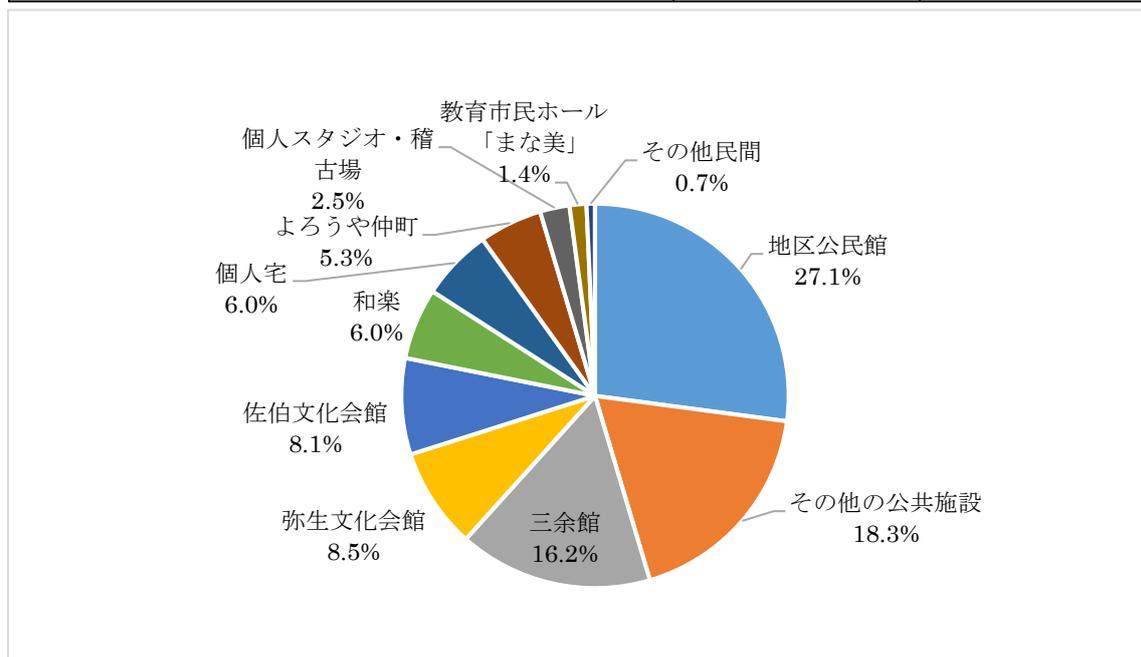
9. 佐伯市内で日常活動に使用している場所

日常活動に使用している場所は「地区公民館」がもっと多く、27.1%であった。それに「その他公共施設」の18.3%、「三余館」の16.2%、「弥生文化会館」の8.5%が続いた。公立施設内の練習スペースが日常活動の中心となっている。

単独の施設としては「三余館」が最も多く利用されており、諸室の多さと駐車可能台数の多さが利便性の高さにつながっている可能性が推測される。

図表9-1：日常活動に使用している場所（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|------------------|-----|-------|
| 地区公民館 | 77 | 27.1% |
| その他の公共施設 | 52 | 18.3% |
| 三余館 | 46 | 16.2% |
| 弥生文化会館 | 24 | 8.5% |
| 佐伯文化会館 | 23 | 8.1% |
| 和楽 | 17 | 6.0% |
| 個人宅 | 17 | 6.0% |
| よろうや仲町 | 15 | 5.3% |
| 個人スタジオ・稽古場 | 7 | 2.5% |
| 教育市民ホール「まな美」 | 4 | 1.4% |
| その他民間 | 2 | 0.7% |
| 楽器店・ライブハウス等のスタジオ | 0 | 0.0% |
| 合計 | 284 | |



図表9-2：日常活動に使用している場所（その他、自由回答をカテゴリー分けして集計）

| カテゴリー | 施設名 | 回答数 |
|----------|-------------------------|-----|
| 教育施設 | 学校 | 7 |
| | 東雲中学校 | 5 |
| | 佐伯市立佐伯南中学校 | 1 |
| | 佐伯鶴城高校美術室 | 1 |
| | 日本文理大学附属高校内 | 1 |
| | 日本文理大学附属高校内練習場（体育館や卓球場） | 1 |
| | 学校の音楽室 | 1 |
| | 学校のPC教室 | 1 |
| | 旧西上浦小学校体育館 | 1 |
| | 鶴谷中学校体育館 | 1 |
| | 弥生児童館 | 1 |
| | 児童発達支援センターつぼみ | 1 |
| 体育館 | 佐伯市運動公園内体育館 | 1 |
| | 佐伯市総合体育館 | 1 |
| | 番匠体育館 | 1 |
| 役所 | 市庁舎ロビー | 1 |
| 保健・高齢者施設 | 老人福祉センター | 4 |
| | 弥生保健センター | 1 |
| | お茶の間サロン | 1 |
| 図書館 | 佐伯市図書館 | 3 |
| その他公共施設 | コミュニティホール鶴岡館 | 4 |
| | 堅田 ふるさと館 | 2 |
| | 宇目ふれあいセンター | 1 |
| | ふれあいセンター（地区不明） | 1 |
| | ふれあいプラザ（上浦） | 1 |
| | 楠本集会所 | 1 |
| | 日の出倶楽部 | 1 |
| | 観光交流館 | 1 |
| | 佐伯市茶室汲心亭 | 1 |
| | 道の駅やよい | 1 |

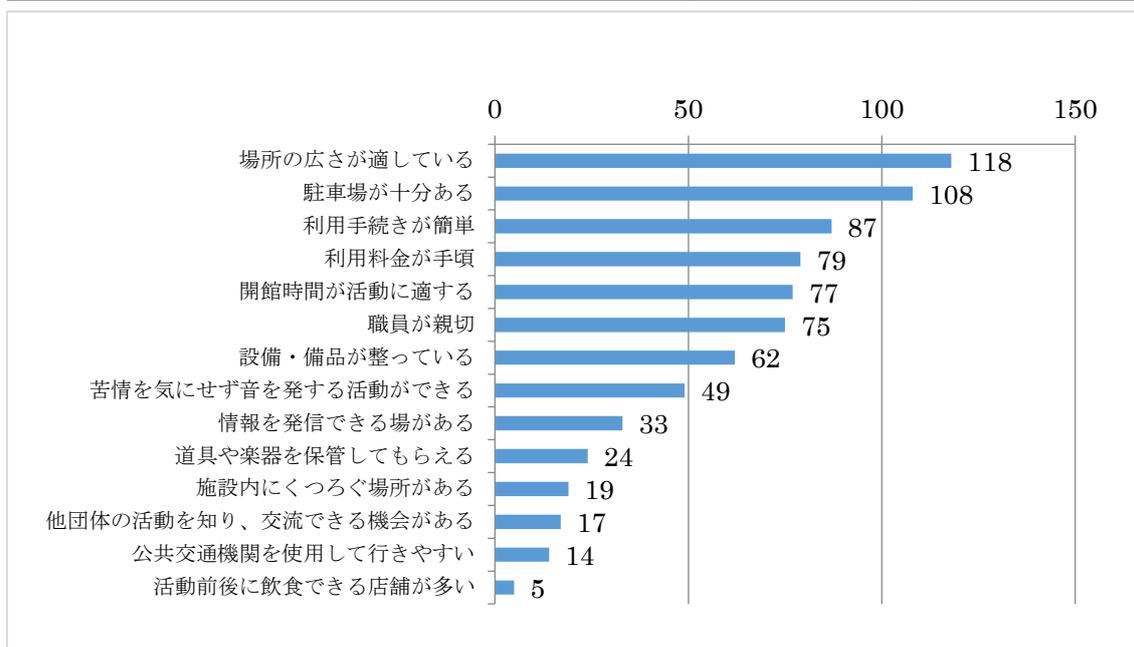
| | | |
|---------|-------------------|---|
| その他（民間） | 弥生 B&G ミーティングルーム | 1 |
| | 弥生 B&G | 1 |
| | 上浦 B&G | 1 |
| | ケーブルテレビ佐伯 | 1 |
| | ボランティア・デイサービス | 1 |
| | カラオケの店 | 1 |
| | トキハインダストリー フードコート | 1 |

10. 活動場所について重視する点

活動場所で重視する点としては「場所の広さが適している」が最も多く、15.4%であった。それに、「駐車場が十分ある」が14.1%で続いた。活動人数に適した広さと、自家用車利用が多い土地柄を反映して駐車場の広さが求められている。

図表10-1：活動場所について重視する点（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|----------------------|-----|-------|
| 場所の広さが適している | 118 | 15.4% |
| 駐車場が十分ある | 108 | 14.1% |
| 利用手続きが簡単 | 87 | 11.3% |
| 利用料金が手頃 | 79 | 10.3% |
| 開館時間が活動に適する | 77 | 10.0% |
| 職員が親切 | 75 | 9.8% |
| 設備・備品が整っている | 62 | 8.1% |
| 苦情を気にせず音を発する活動ができる | 49 | 6.4% |
| 情報を発信できる場がある | 33 | 4.3% |
| 道具や楽器を保管してもらえる | 24 | 3.1% |
| 施設内にくつろぐ場所がある | 19 | 2.5% |
| 他団体の活動を知り、交流できる機会がある | 17 | 2.2% |
| 公共交通機関を使用して行きやすい | 14 | 1.8% |
| 活動前後に飲食できる店舗が多い | 5 | 0.7% |
| 合計 | 767 | |



図表10-2：活動場所について重視する点(その他、自由回答をカテゴリー分けして集計)

| カテゴリー | 内容 |
|------------------------------------|---|
| 使用・申し込み | 少人数でもかしてくれる。 |
| | 施設が地区内にあるため利用が簡単にできる。 |
| 利用料金 | 利用料が無料。 |
| | 会場の借り代などはできるだけ廉価であるのがのぞましい。 |
| | 日常活動は学校内で、吹奏楽部の練習を実施しています。大分県の吹奏楽コンクールの前に佐伯文化会館や和楽で練習を実施したことがあります。市の施設利用なので、高校生料金等で対応していただければありがたいです。 |
| | 使用料の免除があるので大変助かります。 |
| | 低料金で活動でき、かつ多くの人々が集まる。 |
| 印象 | 室内が明るい。 |
| | 清潔感 |
| | 静かである。 |
| 設備面 | 冷暖房が使用できる。(3件) |
| | 床は板又はたたみが良い。シュータンはすべりにくいので踊りにくい。 |
| | 床であること。(土足で使用しない) |
| | 鏡がある。(蒲江) |
| | ダンス系のレッスンは鏡が必要ですが、安くて鏡がある施設は総合体育館の軽スポーツ室ぐらいでしょうか…。 |
| | 使用したくても、他の団体が沢山使用していて、やむをえず公民館でレッスンしていますが、逆に公民館の方が使用料が高い状況です。 |
| | デジタルペイント(PC上での作業)が多いので、PCネットワーク環境が必要。 |
| | 弥生文化会館内に茶室がある為。 |
| | お茶室ですが、三余館、和楽のお茶室が使えません。もし、お茶室を造るときは一度お茶の先生方に相談して頂くと有難いのですが、よろしくお願ひいたします。 |
| | 1階で練習出来る場所があれば良いのと思う。 |
| | 刀を使用して、武道の練習を行っています。小道場のような武道館(場)があれば少しは会員が増やすことが出来るかと思ひます。時間的に夜19時~21時としますので考慮願ひたい。 |
| 年に何度か和楽に行きますが食事場所がなく弁当等買って行っております。 | |

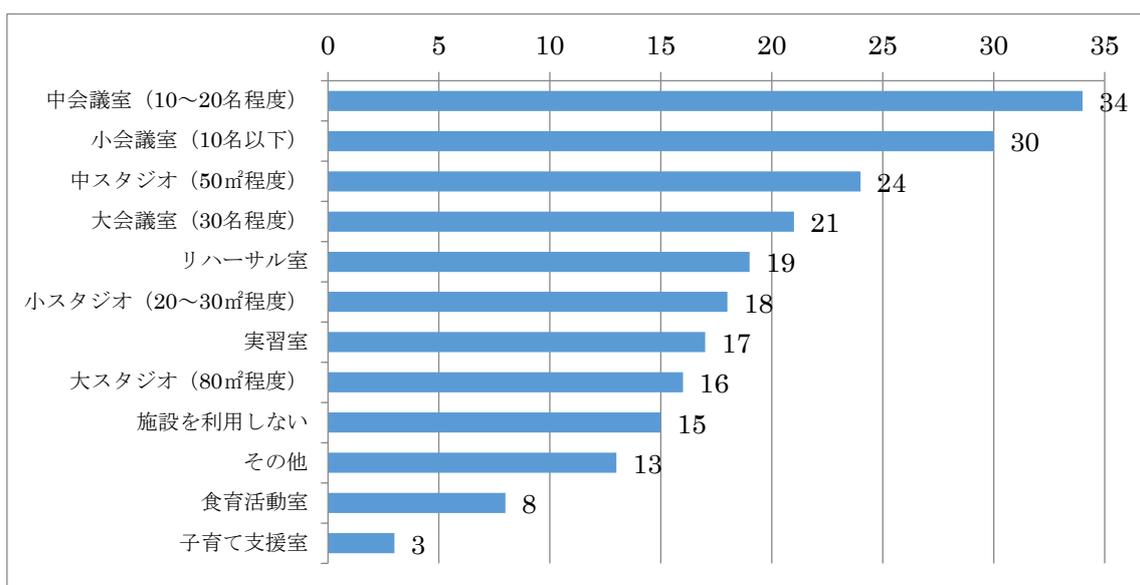
| | |
|-----|--|
| その他 | <p>普段、絵画教室の活動は、講師の先生のお宅のアトリエ（冬）・駐車場（夏）でしている。</p> <p>弥生文化会館、市民ホール（まな美）、三余館に印をしたのは文化祭、県美展巡回展、文化協会の展示に利用させてもらっています。</p> |
| | <p>地域の文化的生活の場所で地域の方々と共に活動したい為。</p> |
| | <p>写真は各自で自由に撮影に出掛けたり、作品作りをしたりする。</p> <p>月に一度程度例会を開いたり、作品展を開催したりする。協会としては、市美展に参加協力、書道協会、美術協会と、文化団体連絡協議会に入っている。</p> |
| | <p>市美展・秀作展・県美展巡回展等で三余館ホールを利用して活動しています。佐伯市では展覧会作品の展示場所がありません。三余館は体育館で作品展示には適してない。</p> |
| | <p>公立学校の教育活動であり、利用施設も校内のものである。</p> |

1.1. 日常活動に適した施設

日常活動に適した施設としては「中会議室（10～20名程度）」が最も多く、15.6%であった。ついで小会議室（10名以下）13.8%、中スタジオ（50㎡程度）11.0%となった。”3. 団体の活動人数”の設問において、「20名未満」が64.4%であったことも踏まえると、大規模な施設よりも小中規模施設の利便性が高いことが伺える。

図表 1 1-1：日常活動に適した施設（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|-----------------|-----|-------|
| 中会議室（10～20名程度） | 34 | 15.6% |
| 小会議室（10名以下） | 30 | 13.8% |
| 中スタジオ（50㎡程度） | 24 | 11.0% |
| 大会議室（30名程度） | 21 | 9.6% |
| リハーサル室 | 19 | 8.7% |
| 小スタジオ（20～30㎡程度） | 18 | 8.3% |
| 実習室 | 17 | 7.8% |
| 大スタジオ（80㎡程度） | 16 | 7.3% |
| 施設を利用しない | 15 | 6.9% |
| その他 | 13 | 6.0% |
| 食育活動室 | 8 | 3.7% |
| 子育て支援室 | 3 | 1.4% |
| 合計 | 218 | |



図表 1 1-2：日常活動に適した施設（その他、自由回答）

| その他自由回答 | 回答数 |
|----------------------|-----|
| 和室 | 4 |
| 舞台 | 1 |
| 小和室（10名以下） | 1 |
| 茶室を使用（自宅） | 1 |
| 鏡を設置している。 | 1 |
| 壁面へ大鏡の設置があるとよい。 | 1 |
| 作品等展示ができる壁面のある部屋 | 1 |
| 30m×30m以上のフロア | 1 |
| 通信環境の整ったコンピュータが使える部屋 | 1 |
| 学校 | 1 |
| 多目的教室 | 1 |

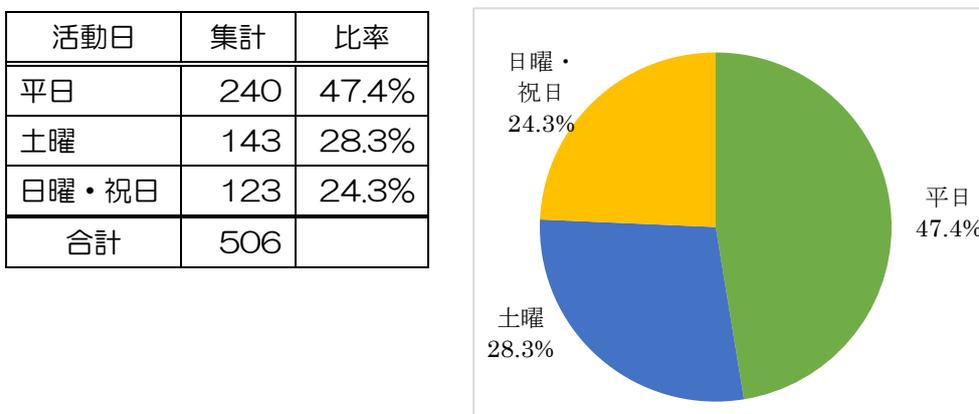
12. 理想的な活動日・時間帯について

理想的な活動日としては、「平日」の 47.4%に対し、「土曜日」28.3%、「日曜・祝日」24.3%となり、半数近くが平日に活動をしていることがわかる。

また、活動時間をみると「9～12時」が146件、次いで「12～15時」が129件となっており、一週間を通して午前中から午後の早い時間帯に最も活発な活動が行われていることが伺える。

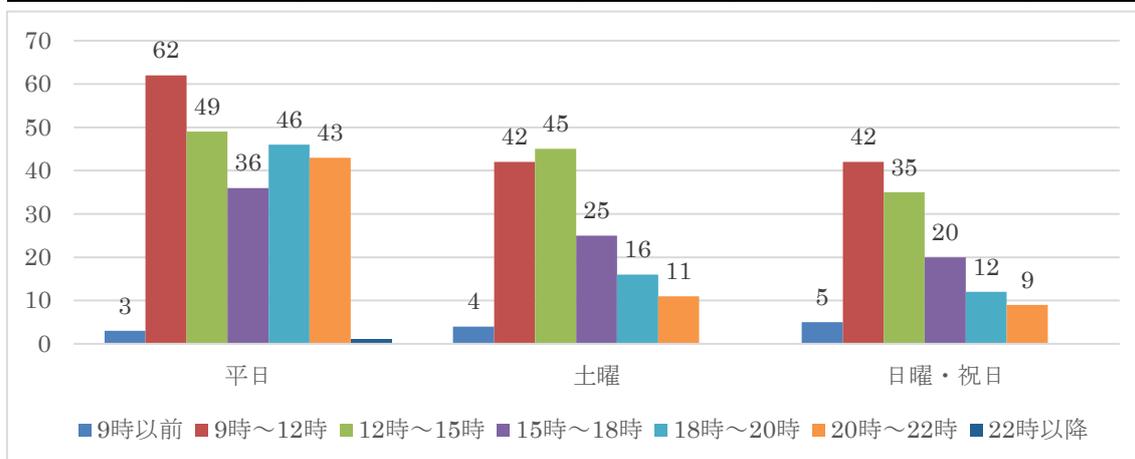
曜日ごとの内訳をみると平日は夕方から夜間にかけても活発に活動が行われているが、土日祝日は15時以降の活動は少なくなっている。

図表 12 - 1：理想的な活動日（選択肢より複数選択可）



図表 12 - 2：理想的な時間帯（選択肢より複数選択可）

| | 9時以前 | 9時～12時 | 12時～15時 | 15時～18時 | 18時～20時 | 20時～22時 | 22時以降 |
|-------|------|--------|---------|---------|---------|---------|-------|
| 平日 | 3 | 62 | 49 | 36 | 46 | 43 | 1 |
| 土曜 | 4 | 42 | 45 | 25 | 16 | 11 | 0 |
| 日曜・祝日 | 5 | 42 | 35 | 20 | 12 | 9 | 0 |
| 合計 | 12 | 146 | 129 | 81 | 74 | 63 | 1 |

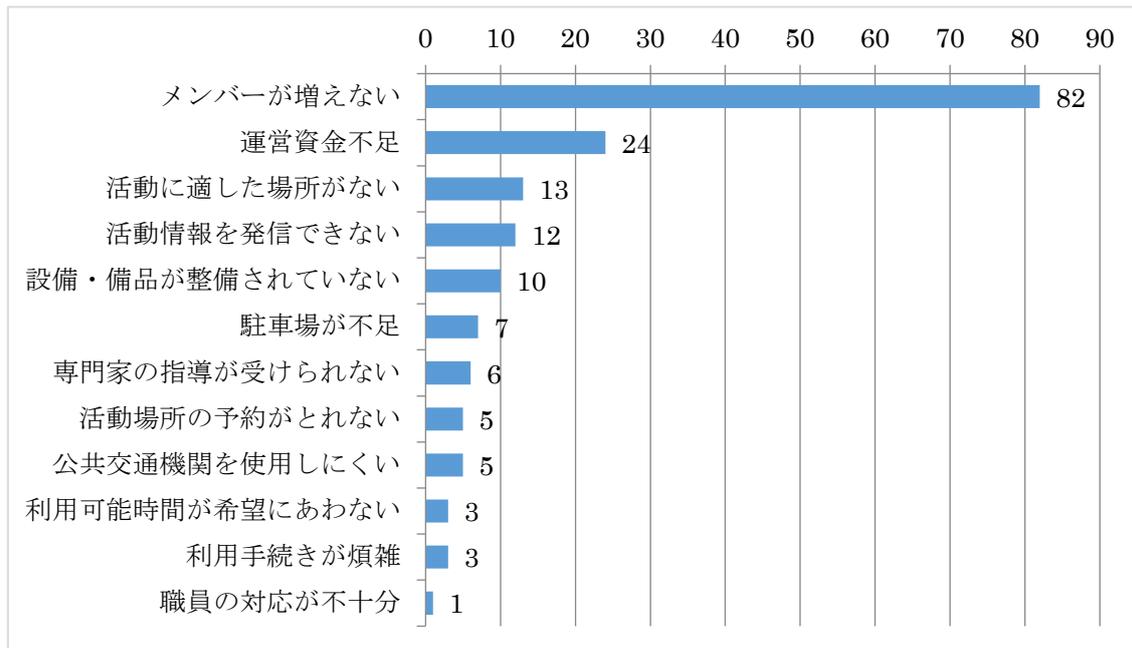


13. 日常活動で困っていること

日常活動で困っていることとしては、「メンバーが増えない」が最も多く、48.0%と半数近くを占めた。次いで「運営資金不足」が14.0%となった。また、「活動に適した場所がない」、「設備・備品が整備されていない」といった施設整備面での意見が合わせて13.4%あり、自由回答欄でも設備の充実を求める声が多かった。施設機能の拡充が求められていることが伺える。

図表 13-1：日常活動で困っていること（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|----------------|-----|-------|
| メンバーが増えない | 82 | 48.0% |
| 運営資金不足 | 24 | 14.0% |
| 活動に適した場所がない | 13 | 7.6% |
| 活動情報を発信できない | 12 | 7.0% |
| 設備・備品が整備されていない | 10 | 5.8% |
| 駐車場が不足 | 7 | 4.1% |
| 専門家の指導が受けられない | 6 | 3.5% |
| 活動場所の予約がとれない | 5 | 2.9% |
| 公共交通機関を使用しにくい | 5 | 2.9% |
| 利用可能時間が希望にあわない | 3 | 1.8% |
| 利用手続きが煩雑 | 3 | 1.8% |
| 職員の対応が不十分 | 1 | 0.6% |
| 合計 | 171 | |



図表 13-2：日常活動で困っていること（その他、自由回答をカテゴリー分けして集計）

| カテゴリー | 内容 |
|------------|--|
| 会員の 高齢化 | メンバーの高齢化～メンバー全員が65才以上となっている！ |
| | 会員の高齢化、若者がいない。 |
| 活動資金 | 会費をとっているが、多くをあつめないで活動資金があまりない。 |
| 開館日 | 土日が休みになる。（展示）「まな美」「庁舎ロビー」 |
| | 日曜、祝日が休みで利用出来ない。 |
| 利用料金 | 中央公民館の使用料が高すぎる。 |
| 施設規模 | 部屋の広さが活動に合ったのがない（少ない）（10～20人用）。もっと計画的に作ってほしい。施設はあってもポツンポツンと離れててどこが市の中心かわからない。公の場はある程度集中して作ってほしい。 |
| | 武道場に空きがなく、公民館や体育館を使用しています。小さな道場があれば集中してできます。 |
| | 客席数 1,000 以上のホールがあると市外からの集客も出来る。 |
| | 鶴岡公民館の会議室（イス式）もう少し広い部屋があるといい。 |
| 施設構造 | 公共の場所は出入口が1ヶしかない為に使用出来ない。和楽・三余館等、1度使ったがとても困難でした。 |
| | 鶴岡公民館は階段が多いので足の不自由な人にとってはつらい。 |
| | 高齢化が進んで階段の登り下りがつらく困っています。 |
| 設備・ 備品 | 駐車場が足りない。（「まな美」） |
| | 壁面に鏡が欲しい。（2件） |
| | 施設の備品 展示パネルが展示に合わない。 佐伯市には展示設備・場所 全くありません。 |
| | 日常活動での施設利用は現実的に不可能である。ただし、吹奏楽の場合、打楽器などトラック移動の必要があるものが常設されていると、手持ち楽器のみの移動で夕方の練習会場使用が可能かもしれません。 |
| | 道具（楽器）の不足。 |
| | ピアノを用意してもらっているが、調律などメンテナンスが行き届いていないので、そこまで含めて管理してもらえるとありがたいです。 |
| | カーテンが開かない。 |
| 騒音 | 朝・夕方・夜の時間帯に音を出してはいけない場所もある。 |
| 広報・告知 | 市報、チラシ、ケーブルテレビ等をつかって広報しているが、なかなか知ってもらおうのが難しいかと思う。 |
| その他 | 職員からのいやがらせ。 |
| | 学校の施設で事足りる。 |

14. 主催又は参加した発表・公演・展示などの場所

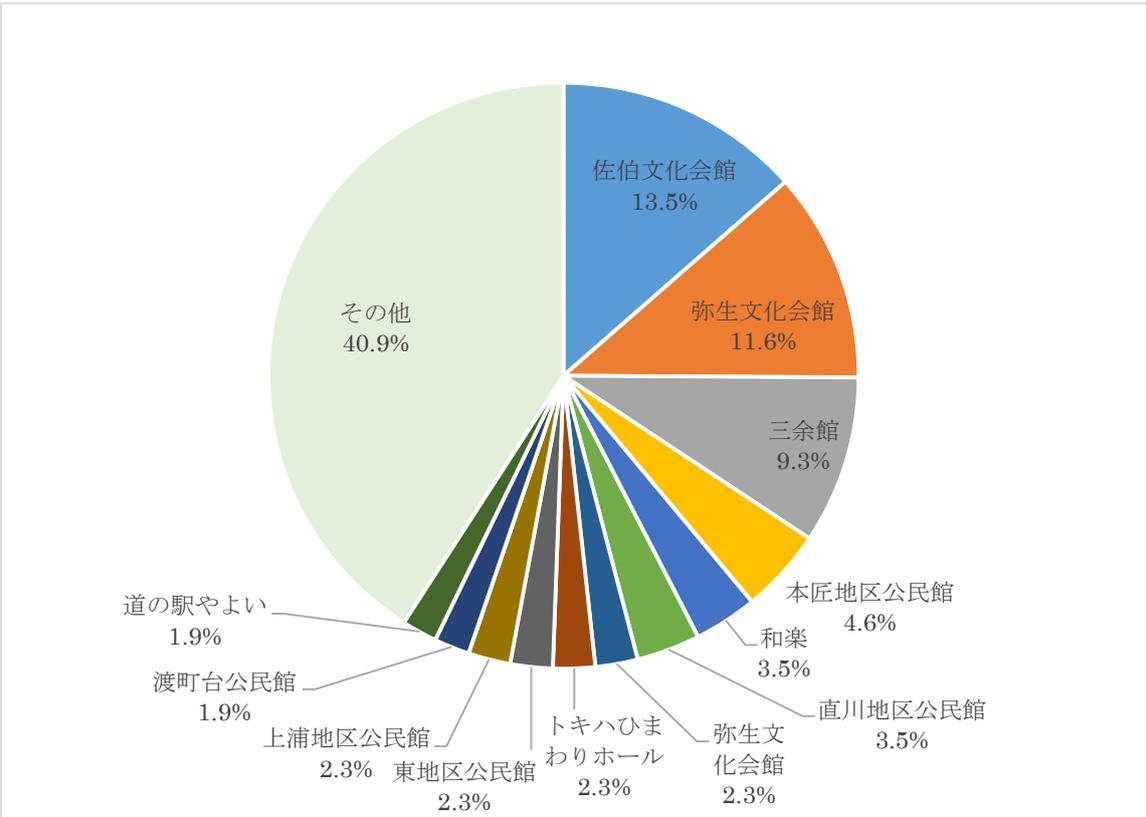
発表の場としては、「佐伯文化会館」が13.5%で最も多かった。次いで「弥生文化会館」が11.6%となっている。また、各地区の公民館の利用が多く、合計すると21.2%となり佐伯文化会館を上回る利用率となっている。

図表14：発表・公演・展示などの場所（自由回答をカテゴリー分けして集計）

| 項目 | | 集計 | 比率 |
|--------------|------------|-------|-------|
| 利用者の多い施設 | 佐伯文化会館 | 35 | 13.5% |
| | 弥生文化会館 | 30 | 11.6% |
| | 三余館 | 24 | 9.3% |
| | 本匠地区公民館 | 12 | 4.6% |
| | 和楽 | 9 | 3.5% |
| | 直川地区公民館 | 9 | 3.5% |
| | 弥生文化会館 会議室 | 6 | 2.3% |
| | トキハひまわりホール | 6 | 2.3% |
| | 東地区公民館 | 6 | 2.3% |
| | 上浦地区公民館 | 6 | 2.3% |
| | 渡町台公民館 | 5 | 1.9% |
| | 道の駅やよい | 5 | 1.9% |
| | その他 | 弥生児童館 | 4 |
| 鶴岡地区公民館 | | 4 | 1.5% |
| 旧西上浦小学校体育館 | | 4 | 1.5% |
| 汲心亭 | | 4 | 1.5% |
| 明日香美容文化専門学院 | | 4 | 1.5% |
| よろうや仲町 | | 3 | 1.2% |
| ふれあいセンター宇目 | | 3 | 1.2% |
| 鶴岡小学校 | | 3 | 1.2% |
| 市庁舎 | | 3 | 1.2% |
| 八幡公民館 | | 3 | 1.2% |
| 佐伯東地区公民館 | | 3 | 1.2% |
| 楠本集会所 | | 3 | 1.2% |
| 大分グランシアター | | 3 | 1.2% |
| 市教育委員会ホールまな美 | | 2 | 0.8% |
| ホルトホール大分 | | 2 | 0.8% |

| | | |
|-----------------|---|------|
| 佐伯南中学校 | 2 | 0.8% |
| 交流館 | 2 | 0.8% |
| 蒲江地区公民館 | 2 | 0.8% |
| エイトピアおおの | 2 | 0.8% |
| 西上浦地区公民館 | 1 | 0.4% |
| 路上 | 1 | 0.4% |
| 老人施設つくし | 1 | 0.4% |
| 弥生道の駅 | 1 | 0.4% |
| 弥生屋内ゲートボール場 | 1 | 0.4% |
| 宮崎市プラザオルブライトホール | 1 | 0.4% |
| マリンカルチャーセンター | 1 | 0.4% |
| マリノポリス公演 | 1 | 0.4% |
| 本匠堂の間 | 1 | 0.4% |
| ホテル金水苑 | 1 | 0.4% |
| 個人宅 | 1 | 0.4% |
| 平井公民館 | 1 | 0.4% |
| 番匠の里 | 1 | 0.4% |
| 春まつり会場 | 1 | 0.4% |
| 花火大会会場 | 1 | 0.4% |
| 博愛療 | 1 | 0.4% |
| 延岡市 | 1 | 0.4% |
| 能楽堂 | 1 | 0.4% |
| 沼津市民文化センター | 1 | 0.4% |
| 日本文理大学附属高等学校 | 1 | 0.4% |
| 西田病院内 | 1 | 0.4% |
| 長田公民館 | 1 | 0.4% |
| 直川中学校体育館 | 1 | 0.4% |
| 駐車場 | 1 | 0.4% |
| 地区公民館 | 1 | 0.4% |
| 大在埠頭 | 1 | 0.4% |
| 水明えん | 1 | 0.4% |
| 滋賀県野州市野州文化ホール | 1 | 0.4% |

| | | |
|-----------------------------|-----|------|
| しおさいの里 | 1 | 0.4% |
| 三の丸 | 1 | 0.4% |
| 佐伯自動車学校 | 1 | 0.4% |
| 佐伯駅 | 1 | 0.4% |
| 米水津地区公民館 | 1 | 0.4% |
| コミュニティホール鶴岡 | 1 | 0.4% |
| 国木田独歩館 | 1 | 0.4% |
| カルチャーセンター | 1 | 0.4% |
| 各施設 | 1 | 0.4% |
| 大手前城山会場 | 1 | 0.4% |
| 大分市美術館 | 1 | 0.4% |
| 大分市コンパルホール | 1 | 0.4% |
| 大分県立総合文化センター-iichiko 音の泉ホール | 1 | 0.4% |
| 大分県農業会館 | 1 | 0.4% |
| えほんの森ホール | 1 | 0.4% |
| エバーグリーン | 1 | 0.4% |
| 駅 | 1 | 0.4% |
| 海崎 | 1 | 0.4% |
| 臼杵市民会館 | 1 | 0.4% |
| 宇佐市 宇佐神宮内 | 1 | 0.4% |
| 上野学園ホール | 1 | 0.4% |
| 青山小学校体育館 | 1 | 0.4% |
| 合計 | 259 | |

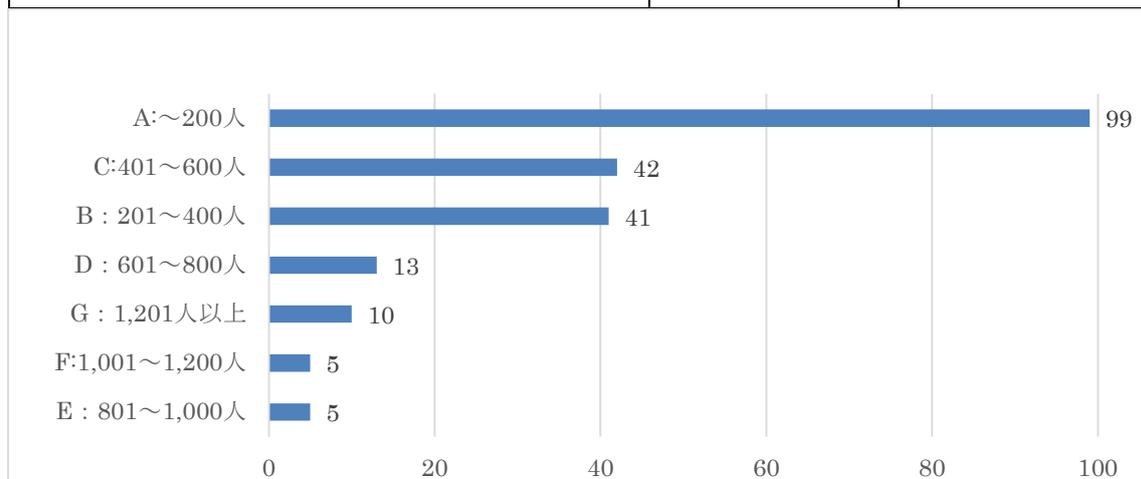


15. 発表・公演・展示などの入場者数

200 人以下が約半数、「401～600 人」19.5%、「201～400 人」が 19.1%と、800 人以下が全体の 90.6%を占めており、小中規模の発表施設が最も使い勝手が良いことが推測される。

図表 15：発表・公演・展示などの入場者数（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|-----------------|-----|-------|
| A:～200 人 | 99 | 46.0% |
| B: 201～400 人 | 41 | 19.1% |
| C:401～600 人 | 42 | 19.5% |
| D: 601～800 人 | 13 | 6.0% |
| E: 801～1,000 人 | 5 | 2.3% |
| F:1,001～1,200 人 | 5 | 2.3% |
| G: 1,201 人以上 | 10 | 4.7% |
| 合計 | 215 | |

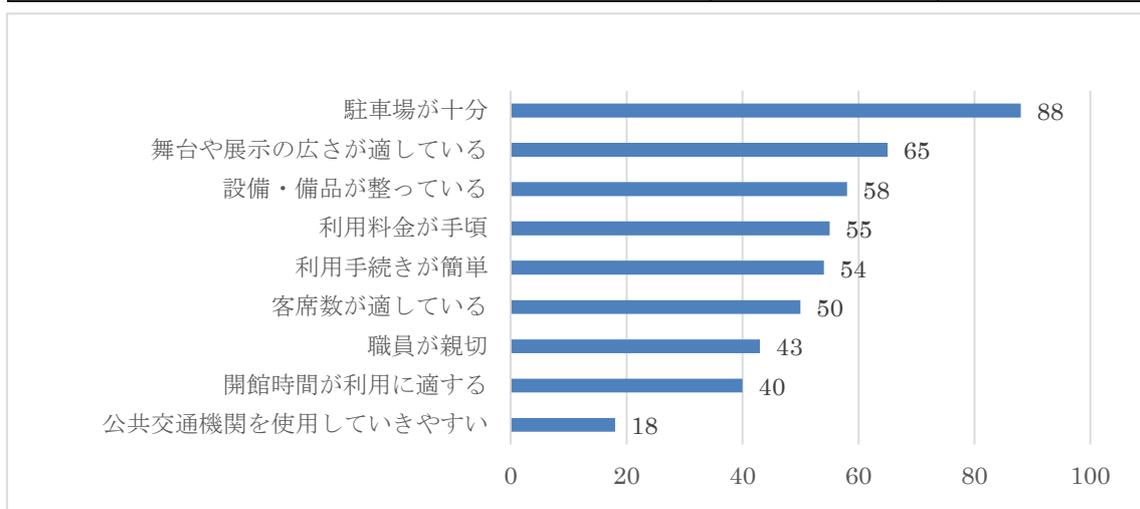


16. 発表場所について重視している点

発表場所で重視する点としては「駐車場が十分」が最も多く、18.7%であった。それに、「舞台や展示の広さが適している」が13.8%で続いた。

図表 16-1：発表・公演・展示場所について重視している点（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|------------------|-----|-------|
| 駐車場が十分 | 88 | 18.7% |
| 舞台や展示の広さが適している | 65 | 13.8% |
| 設備・備品が整っている | 58 | 12.3% |
| 利用料金が手頃 | 55 | 11.7% |
| 利用手続きが簡単 | 54 | 11.5% |
| 客席数が適している | 50 | 10.6% |
| 職員が親切 | 43 | 9.1% |
| 開館時間が利用に適する | 40 | 8.5% |
| 公共交通機関を使用していきやすい | 18 | 3.8% |
| 合計 | 471 | |



図表 16-2：その他、発表・公演・展示場所について重視している点
 (自由回答をカテゴリー分けして集計)

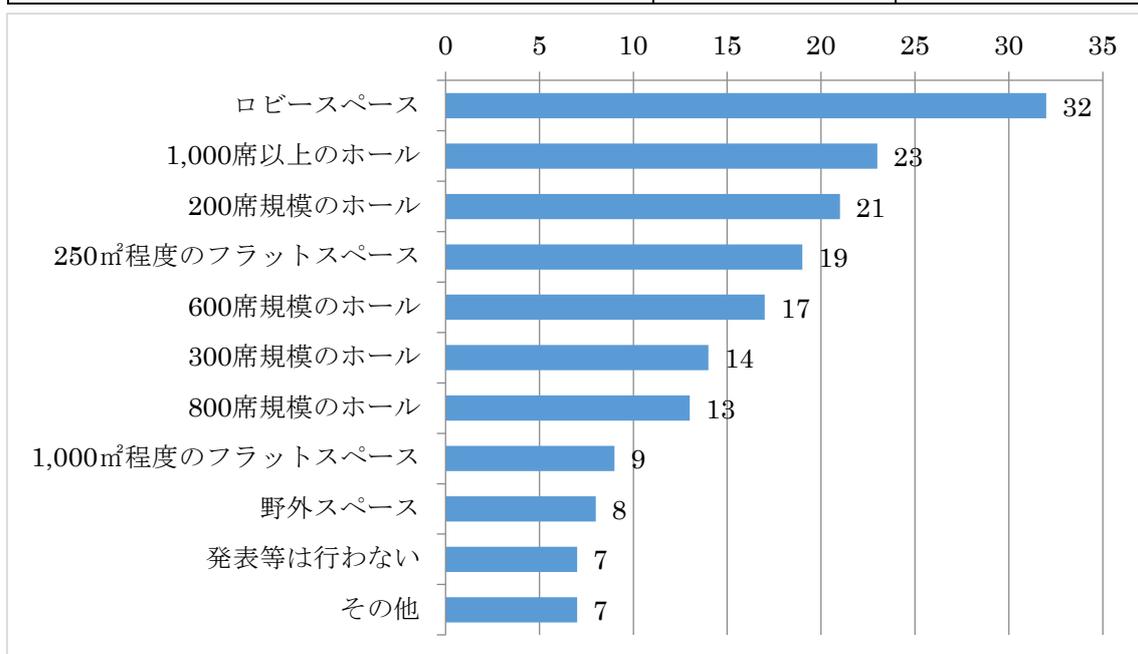
| カテゴリー | 内容 |
|---------------|--|
| 施設構造 設備面 | 弥生文化会館内に茶室がある為。 |
| | 華展の時三日間会場にお花を活けて置くので通風、気温に気をを使う。 |
| | 車の荷物を舞台裏に入れやすい事。 |
| | 会場までに階段などの段差が少ないこと。 |
| | ダンスしやすい床 |
| 集客 | 人が集いやすい場所 |
| | 入場者が多くあればいいなー！！ |
| | 大分方面の人達と合同でするので場所が適している。(エイトピアおのの) |
| 料金 | 利用料が無料。 |
| 要望 (施設・設備) | 床。社交ダンスできる床に。 |
| | 控え室が狭い、鏡がなくて困る。 |
| | 展示パネルに高さがなく書の作品は展示できない。 正式な展示場所、設備がほしい。天井からの可動式壁面を設置してほしい。 |
| | (会場)(舞台)がもう少し広い方がよい。 |
| | 今度新しい文化会館にも、ぜひとも所作台を付けて下さい。舞台には、所作台と花道は必要です。 |
| | 駐車場が狭い。(まな美) |
| | |
| 要望 (利用規則) | 大きな催しの時は規定時間より早く入場させてほしい。備品を置いておけるスペースがほしい。 |
| | 土曜日、日曜日が閉まっている。(まな美) |
| その他 | 写真協会の会員は、それぞれ(全日本写真連盟佐伯支部)(佐伯市写真教室)(個人で趣味で活動している人)等が参加会員である為、年に一度の総会で佐伯市公募展に応募する為の団体で、協会としての活動はない。 |
| | 三曲の会としては発表会等はしていない。 |
| | よんで頂いているので。 |
| | 出演依頼の方が多い。 |

17. 発表・公演・展示などに適した施設について

「ロビースペース」が18.8%と最も多く、開放的・流動的な空間、不特定多数の人を対象とした空間で発表等を行いたいという意向が多いと推測される。「600席規模のホール」「800席規模のホール」「1,000㎡程度のフラットスペース」が合わせて22.9%、「200席規模のホール」と「250㎡程度のフラットスペース」が合わせて23.6%となっており、新施設の多目的ホール(大ホール・小ホール)がバランス良く利用されることが見込まれる。

図表 17 - 1：発表・公演・展示などに適した施設について（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|-------------------|-----|-------|
| 200席規模のホール | 21 | 12.4% |
| 300席規模のホール | 14 | 8.2% |
| 600席規模のホール | 17 | 10.0% |
| 800席規模のホール | 13 | 7.6% |
| 1,000席以上のホール | 23 | 13.5% |
| 250㎡程度のフラットスペース | 19 | 11.2% |
| 1,000㎡程度のフラットスペース | 9 | 5.3% |
| ロビースペース | 32 | 18.8% |
| 野外スペース | 8 | 4.7% |
| 発表等を行わない | 7 | 4.1% |
| その他 | 7 | 4.1% |
| 合計 | 170 | |



図表 17 - 2：発表・公演・展示などに適した施設について（自由回答）

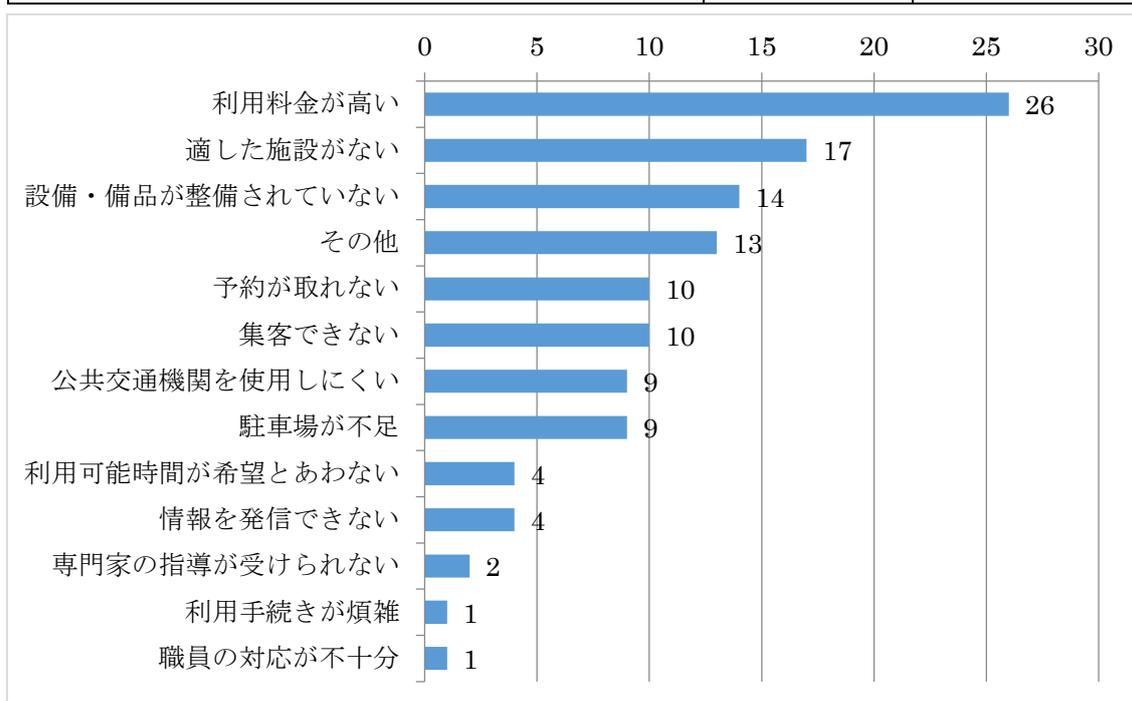
| |
|--------------------------------|
| 和室（2 票） |
| 美術館に匹敵するくらいのスペース |
| トレーニングルーム |
| 楽屋・控室 |
| 旧西上浦小学校体育館にて、施設の規模についてはわかりません。 |
| 特別なスペースは不要。 |
| 依頼がある時のみの出演。（直川老人クラブ女子フラの会） |

18. 発表・公演・展示などで困っていること

発表・公演・展示などで困っていることとしては「利用料金が高い」が21.7%と最も高かった。次いで「適した施設がない」14.2%、「設備・備品がない」11.2%となっており、利用者の希望条件に合う施設がきちんと整備されていないことが伺える。

図表 18 - 1：発表・公演・展示などで困っていること（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|----------------|-----|-------|
| 利用料金が高い | 26 | 21.7% |
| 適した施設がない | 17 | 14.2% |
| 設備・備品が整備されていない | 14 | 11.7% |
| その他 | 13 | 10.8% |
| 予約が取れない | 10 | 8.3% |
| 集客できない | 10 | 8.3% |
| 公共交通機関を使用しにくい | 9 | 7.5% |
| 駐車場が不足 | 9 | 7.5% |
| 利用可能時間が希望とあわない | 4 | 3.3% |
| 情報を発信できない | 4 | 3.3% |
| 専門家の指導が受けられない | 2 | 1.7% |
| 利用手続きが煩雑 | 1 | 0.8% |
| 職員の対応が不十分 | 1 | 0.8% |
| 合計 | 120 | |



図表 18 - 2 : 発表・公演・展示などで困っていること
(自由回答をカテゴリー分けして集計)

| カテゴリー | 内容 |
|---------------|---|
| 利用料金 | 県の吹奏楽コンクール前に文化会館大ホールをお借りして練習をしました。約 7 万円の料金がかかりました。高校生料金や観客のいない使用はもっと低料金などご検討していただければありがたいと思います。 |
| 申し込み・ 使用規則 | 会場が少ない為に 1 年前を待って予約をしている。 |
| | 備品を置ける様にしてほしい。 |
| 施設規模 | 個人で発表会をする時 1,000 席までで利用料金が安いホールが欲しいです。 |
| | 個人で主催している教室なので、発表会を行うにも文化会館などは広すぎる。和楽は舞台が狭すぎる…など…。200~300 人程の客席で、設備（音響など）が充実しているホールを希望します。 |
| 設備・備品 | 弥生文化会館のステージを利用する事が多いのですが、せっかくの舞台ですが、ただ一つ反響板がなくて、とても残念です。 ある程度の座席数があるホールには装備してたくさんのよい演奏ができればもっと芸術文化が向上していけるのではと思います。（あと和楽のステージなども） 和楽ではせまい、弥生では反響板がない、佐伯文化会館では経費がかかりすぎてできない。 |
| | 鏡のない所がある。 |
| | 楽屋、着付け室が狭い。 |
| | 舞台の床が踊りにくい。（和楽の場合です。） |
| | 展示用パネルがない。 |
| | 現在三余館ホールで市美展等の展示発表をしているが、展示壁面、照明全て作品展示には合わない。 佐伯市には展示会場がない！天井からの可動式壁面の設置をしてほしい。 |
| | 展示場に必要の備品等が不足のため、他の施設からの借り入れに不備をきたしている。 |
| | |

| | |
|---------------|---|
| バリアフリー | <p>弥生文化会館で（文化祭）を行う場合、二階の（研修室 2 部屋）を展示室にしていたが昨年から高齢者が階段を登るのに大変なため、下の運動室を片づけて行っている。手狭なため、図書室も使って展示をしています。無理かも知れませんが、二階に上がるスロープか、2 階までのエレベーターを設置してもらう事はできないでしょうか？</p> |
| | <p>佐伯文化会館はホールに階段をあがらなくては行けず、高齢者にとって評判が良くない。</p> |
| | <p>高齢者が多いのでイスをもっと置いてあると助かる。（楽屋に）</p> |
| | <p>楽屋がなかったり、着替え室までが遠いので高齢者に負担がかかる。 エレベーターがない。</p> |
| アクセス・ 周辺施設 | <p>日常活動の場合は良いけど発表会・公演など行う時は駐車場が狭い、交通の便が悪く集客が難しくなる。</p> |
| | <p>施設だけがあるのではなくその周辺にも買い物の出来る店がある。施設内に色々なお店が入るのも人が集まるのに行く機会をより多く作るの作ってほしい。 旧寿屋のようなお店が中心部にあればいいのにとの声多い。 文館、三余館的な施設だけ作っても人は集まらないと思う。利用する人は限られる。周辺を、施設内部をより多くの人が行くような魅力あるものにしてください。期待しています。</p> |
| その他 | <p>現状、学校内の活動のみです。そのため、困っていることはないという状況ですが、他校との行動を行う場合が生じた時に、問題点など生じてくると思われます。</p> |
| | <p>発表会等ありません。試合のみ。（体育館程度）</p> |

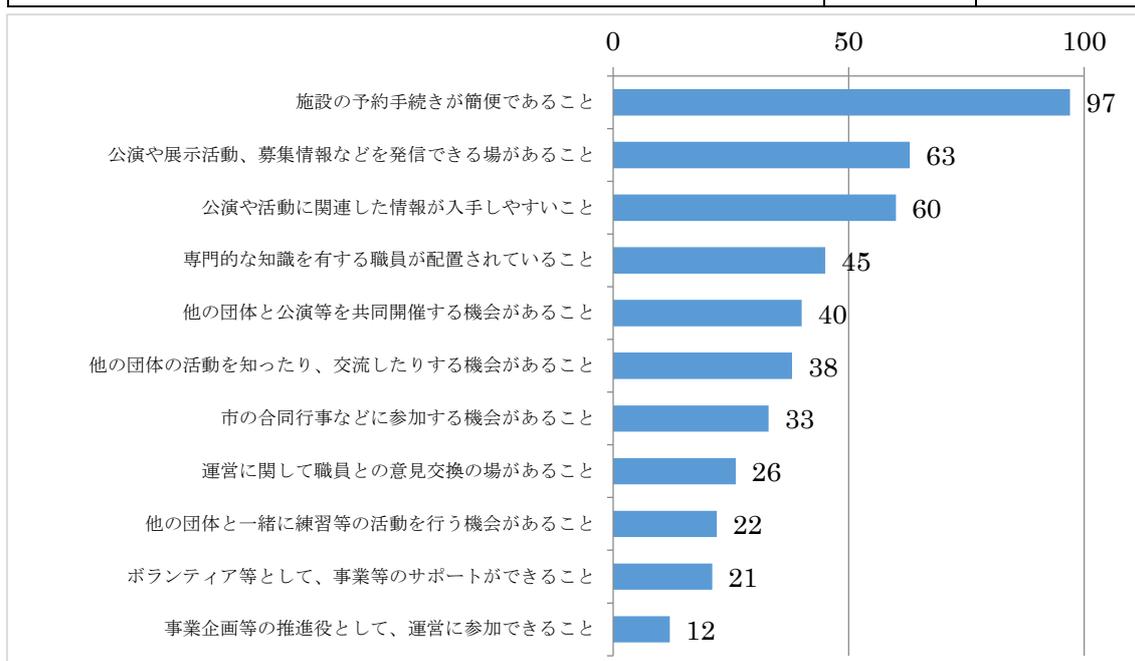
19. (仮称) 大手前まちづくり交流館について望むこと

「施設の予約手続きが簡便であること」が 21.1%で最も多い。” 8. 活動場所について重視する点” でも「利用手続きが簡単」に 11.3%の回答があり、現施設では利用手続きに何かしらの課題がある可能性が示唆される。

次いで「公演や展示活動、募集情報などを発信できる場があること」13.8%、「公演や活動に関連した情報が入手しやすいこと」13.1%となっており、情報の発信や入手のしやすさが求められている。

図表 19-1：(仮称) 大手前まちづくり交流館について望むこと（選択肢より複数選択可）

| 項目 | 集計 | 比率 |
|-----------------------------|-----|-------|
| 施設の予約手続きが簡便であること | 97 | 21.2% |
| 公演や展示活動、募集情報などを発信できる場があること | 63 | 13.8% |
| 公演や活動に関連した情報が入手しやすいこと | 60 | 13.1% |
| 専門的な知識を有する職員が配置されていること | 45 | 9.8% |
| 他の団体と公演等を共同開催する機会があること | 40 | 8.8% |
| 他の団体の活動を知ったり、交流したりする機会があること | 38 | 8.3% |
| 市の合同行事などに参加する機会があること | 33 | 7.2% |
| 運営に関して職員との意見交換の場があること | 26 | 5.7% |
| 他の団体と一緒に練習等の活動を行う機会があること | 22 | 4.8% |
| ボランティア等として、事業等のサポートができること | 21 | 4.6% |
| 事業企画等の推進役として、運営に参加できること | 12 | 2.6% |
| 合計 | 457 | |



図表 19-2：(仮称) 大手前まちづくり交流館について望むこと
(自由回答をカテゴリー分けして集計)

| カテゴリー | 内容 |
|-------|--|
| 利用料金 | 使用料を安くしてほしい。 |
| | 使用料金を安くしてもらいたい。 |
| | 市民の誰もが手軽に利用する機会があることを望む。利用料金も低料金で、また、子どもからお年寄りまでの全世代が利用できる催しなども実施してほしい。 |
| | 施設の利用料金が安く、借りやすい交流館であってほしい。 |
| 申込み | 施設の利用手続きが簡単である事。 |
| | 少人数の会議(十人程度)が気軽にできるようになるとよい。早くから予約しなくて済む。予約は電話のみ(手続きを簡単に)。会場費無料となることをのぞみます。 |
| 設備・管理 | 展示の備品、設備の充実。 |
| | D・I・Y や陶芸などモノづくりができる軽作業室があれば。 |
| | スタジオがあるのであれば、カルチャーサロンなどを設けていただき、講座を開いて、佐伯の市民の趣味の輪を広げてください。三余館でエアロ・ピラティスの講師をしています。他の施設でも開講して欲しいと思います。大分でスポーツクラブのインストラクターもしていますが、まだまだ佐伯は遅れていると思います。 |
| | お茶室(吸心亭のように、客室(最低8畳2部屋)、水屋、待合)(ロビー等でもよい)が欲しいです。(1度に50人位は座れる広さ) お茶室を造る折は、お茶の先生に聞くとか専門書を参考にして欲しいです。今までのようにドア1ヶ所では使えません。吸心亭を造る時は、故岡野先生(当時佐伯で一番初めに茶室を造った方です。)と故鎌田先生の助言を参考にしました。 |
| | 清掃活動の重視。 |
| アクセス | 公共の駐車場やバスなどがスムーズになる施設だと、人が集まりやすく、発表などもしやすい。 |
| | 駐車場のスペースを十分にとってほしい。 |
| | 一方で津波の心配をす中で大きな建物を作るにしても中心に住んでる人は不便は感じられないでしょうが、宇目・直川・本匠などから出かけて行くには交通の便は悪く運転出来ない人は行けないし、車の運転が出来ても駐車場が広くなければ行かれないし、何を作っても中心部の物で過疎の進んだ場所に住む者に関係ないという感じ。 |

| | |
|----------|--|
| 市民交流 | 只今 86 歳 高齢者も参加できますように旧村ごとの学習や発表をまとめてたまに市内で交流を。 |
| | 一般市民も集える場にして欲しい。 |
| | 市民活動団体に参加するには、金銭的余裕が不可欠です。現在、どの団体も人数が減るばかりで苦慮しているところがほとんどです。県内外からの人の流入を作り、市民に潤いを与えるような運営を望みます。 |
| 広報・告知・連携 | たくさんの団体数だけ、もしくはイベント数があるものの、集客がいつも困難に見受けられます。合同企画などで人員、情報発信など上手く自然に連携できる手伝いをしてほしい。 |
| | 市内で活動しているグループの活動内容を発信したり発表したりできるとよいと思います。きっとそうなるでしょう。それには、建物だけでなく、職員（働く人）の笑顔だと思います。多くの市民は最初遠慮しながら行くでしょう。その時の対応で次に使うかが決まります。皆で、市を盛り上げる“風”をふかせてほしいと思います。働く人から… |
| その他 | 具体的にどの様な計画がどの程度すすんでいるのかあまりにも無知であることを反省しています。もっと多くの人々の生の声を聞ける場が欲しいものです。 |
| | 大分県で一番大きな佐伯市と云うけど映画館の一つもなく若者は大分まで出かけ映画をみる。若者の県外流出等は止まらないと思う。 |

20. その他、(仮称)大手前まちづくり交流館に対するご意見

図表20：その他、(仮称)大手前まちづくり交流館に対するご意見

(自由回答をカテゴリー分けして集計)

| カテゴリー | 内容 |
|--------|---|
| 交流・賑わい | 宮崎県児湯郡西米良村 人口は 1,200 人あまり、観光資源なし、交通不便…この村に年間 13 万人もの人が全国から訪れます。 一人の元役場職員が“平成の桃源郷へようこそ”と、あらゆる手段で全国へ発信し、“動ける者は 100 歳まで働こう”を合言葉に、村人もがんばっています。 佐伯市も、大手前から開放的、積極的な町になるよう、その起点となる場が交流館であってほしいと思います。 |
| | 佐伯市内の方々のみの交流館にとどまらず、佐伯市以外の人にも働きかけられるような集客力のあるココでしかない特色を出した場所にして欲しいと思います。 |
| | 文化芸術の発信拠点となる市民ホールの完成を楽しみにしています。学生の活動はもちろんのこと、市民ホールが佐伯市のまちおこしの起爆剤として活用されることを期待しています。多くのイベント、佐伯市、大分県外からの集客等で佐伯市の活性化を願っています。 |
| | 誰でも利用できる。市民だけでなく、市外、県外の方達、観光客も含む。 |
| | 佐伯のシンボルとして人の集う、憩いの場である交流館であってほしい。 |
| | 佐伯の発展を心から願います。 |
| | 大手前に今の佐伯文化会館に代わる新しい会館が出来ることを期待しております。芸能、文化等佐伯市民の学習、憩いの場として利用出来るような場を望みます。 |
| 経済効果 | 街が活性化して人が集まり仕事も増え買い物も便利になる事を楽しみにしています。 |
| 利用料金 | 利用金額がお手頃であってほしい。 |
| 座席 | 3 階に固定席がいるのか？ ホールは佐伯の中心部にある事から、かなりの座席数のあるホールを望みます。できれば可動式ではなく固定式のほうが音楽を演奏する時にはよいと思うのですが… |
| | 早期完成を希望します。現文化会館の老朽化が心配です。観客席は固定にしてほしい。(市民ホール) |

| | |
|-------------|---|
| 事業内容・ 運営 | 建設後、建造物に見合うだけのプロによる文化芸術公演が定期的開催されるような運営を望みます。 |
| | 本格的なコンサートや演劇が出来る施設にして欲しいです。(他の市や県外に行かなくても良くなる!!) |
| | 美術館や博物館が現状、佐伯市内にないため、定期的でもかまわないので、そのような作品に触れる機会があるとありがたい。 |
| | 小さな団体も大きなイベントも情報発信や発表ができるのととてもよいと思います。 |
| | 単独の会のイベントではなく、いろいろな団体とコラボしてイベントが開催できるような交流ができるとおもしろいのではないかと。佐伯市の文化レベルが向上できるようにできないものであろうか。関東地区のある市ではF46のフロアで土曜日には音楽のミニコンサートが無料で、新人たちの発表の場にしてた。このようなイベントが定期的実施できるような運営ができないものか。 |
| | せっかくたくさんのお金をかけてすばらしい建物がたつので、あとは運用です。 楽しい企画をどんどん考えてほしいと思います。職員の方々は盛り上がっている町がどういう事をしているのか見抜いてほしいと思います。そして、地元でがんばっている人、アンテナたてている人を見つけだしまくつなげてほしいと思います。 あの広場にたくさんの人があつまって楽しくすごしているのを見たいですね。 |
| | 交流館窓口の(男性・女性かかわらず)方々には接客にふさわしい人を希望します。 知識の高い明るい方を配属されます様期待致します。 |
| | 維持費や運営収支を十分に認識、公開しながら建設して頂きたいです。 |
| | 佐伯の子どもたちに感性育む拠点、次世代に誇れる施設であってほしい。 |
| | 嘗ての文化会館のように質の高い公演の開催。文化活動の推進拠点となるような施設にして欲しい。 |
| 施設の必要性 | この町にはお年寄りや障がい者が多くて若い人や子どもが少ないのに、本当にステージや楽屋が必要なのかどうか疑問に感じます。 見に来てくれる人は、よそから来るのでしょうか?心配です。 |
| | 集客の見込みが難しい施設建設は難しいのではないのでしょうか。 |
| | |

| | |
|-----------------------|--|
| 施設・設備 | <p>不満に思う意見があっても反映されない。食育活動室など既存の施設のものを利用して他のスペースを大きくとれないのか疑問。和楽や東公民館の調理室の稼働率はどのくらいでその不足分を新設するのなら理解できるがどうなのか。高校生も関わって時間をかけて作ろうとしているので市民の全てがよいものと思えるものになることを希望します。</p> |
| | <p>スタジオを作るなら鏡のついた部屋も作ると良いと思います。</p> |
| | <p>今度出来る文化会館に所作台と花道をお願い致します。所作台は今の文化会館のを再利用すれば良いと思います。</p> |
| | <p>茶人が気持ちよく使える茶室を造って欲しいです。何かの行事がある時は茶室を使用出来ます。汲心亭は造った当時、市は贅沢品を造ったと非難の目を向けられましたが、今は観光客の方々も利用してます。</p> |
| | <p>お茶会が出来るスペースをつくって下さい（和室）※茶室（20畳）、水屋別（6畳）。トレーニングルームを作ってください。</p> |
| | <p>佐伯市はホールフードフェスタなどを開催し食と環境問題、食と体の関係などのとりくみをおこなっています。キッチン、体にやさしい、電磁波など考慮したつくりにしてほしいです。</p> |
| | <p>佐伯市には、なかなか文化的な活動する集団が来佐していない。その理由には、それに対応できる施設・設備が十分にそなえられていないのではないかとと思われる。これからの時代を見通すと多機能を有した施設が必要のように思われる。</p> |
| | <p>何か起きたら避難できる場所にしてほしい。</p> |
| | <p>学生（小・中・高生）が発表するのに適した会場にしてほしい。（吹奏楽や合唱など）</p> |
| | <p>公園・緑地・大木の休み場。イベントが出来るような広い場所がほしい。</p> |
| <p>くつろげるスペースがほしい。</p> | |
| バリアフリー | <p>高齢者が中心部に外出した時、暑さ寒さから身を守る休息スペースを作ってほしい。</p> |
| | <p>高齢者、障害者が利用できるようにエレベーター、エスカレーターの設備を。</p> |
| | <p>佐伯市民（子どもから高齢者まで）が気軽に集える環境の提供を希望します。高齢化社会にむけて、高齢者の方々が立ち寄れるような施設がほしいです。</p> |
| | <p>交流館や文化会館を作るのであれば老いた者も若い者も行きやすい建物に。階段や坂が多くては年を重ねた者は行かない。若者を佐伯市に引き止める様な工夫を何か考えて下さい。</p> |

| | |
|-----|--|
| 駐車場 | 駐車場も少ないと誰もが声をあげてもどんな解決もされないと感じる。 |
| | 老朽化した、佐伯文化会館として行事を行う場合、一番心配なのは、遠方より来る人達の駐車場は現在の三余館横の駐車場だけですか？新しく新設する予定はあるのですか？今でも文化館の行事あるときは学校等の駐車場を頼っている状態ですが、心配です。 |
| | 駐車場もたっぷりお願いします。 |
| | 駐車場と総合案内だけはパーフェクトを希望する。 |
| | 駐車場が少ない。(33 台分) |
| | 駐車場が少ないと思う。 |
| 交通 | 大手前行きのバスが無いので。 |
| | 今の所、車で行くのに不便ではないでしょうか。広小路から入ると信号を2つ待ちます。 一方通行もあります。蒲江から行くと遠回りになります。 |
| | 教室に来られる方は子どもさんが中心なので送迎時の車の乗り入れが簡単であるといと思う。 |
| その他 | 現在、本校吟詠剣詩舞同好会のみ活動であるため、公共施設の利用は行っていないのですが、大分県内や他県との大会を本校が担当するようになった場合、利用させていただきたいと思います。 |